Pioneer sound.vision.soul

DVD プレーヤー

DV-S646A

DVD AUDIO

メールサービス登録のご案内

http://www.pioneer.co.jp/members/

お買い上げいただきました製品についての「お客様オンライン登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと、プレゼントや懸賞商品が当たるキャンペーン/イベント情報や各種製品情報等のご案内をさせていただきます。
ご登録は上記URLにアクセスしてご利用ください。
(インターネット対応携帯電話からもご利用できます。)

新規登録されたお客様には、毎月プレゼントを抽選にて差し上げております。詳しくは、上記URLにアクセスしてください。

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」「安全上のご注意」は、「保証書」「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意（絵表示について）

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

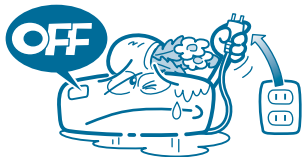
● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

⚠ 警告[異常時の処理]

プラグを抜く

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜く

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜く

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

もくじ

お使いになる前に 4

こんなことができます 4
本機の特長 5
付属品の確認 5
本機で再生できるディスクについて 6

各部の名称とはたらき 10

本体正面 10
本体表示窓 10
リモコン 12
本体後面 14

接続と準備 15

付属のケーブルを使ってテレビと接続する 15
AV機器と接続する(接続例) 16
音声ケーブルの接続のしかたを選ぶ 17
映像ケーブルの接続のしかたを選ぶ 19
[セットアップナビゲーター]を使って設定する 21

基本的な使いかた 25

ディスクを再生する 25
ディスクのメニュー画面を表示する 26
再生中に音声/字幕を切り換える 28
ディスクを一時停止/停止する 29

便利な使いかた 30

見たいチャプター(場面)/トラック(曲)にスキップする(頭出し) 30
ディスクを早送り/早戻しする(スキャン) 30
見たい/聞きたい場所を探す(サーチモード) 31
マルチダイヤルを使った特殊再生 33
画像をコマ送りで見る(コマ送り再生) 35
画像をスローで見る(スロー再生) 35
繰り返し再生する(リピート再生) 36
順番を変えて再生する(プログラム再生) 37
順不同に再生する(ランダム再生) 41
前に見たディスクのつづきを再生する(ラストメモリー) 42
よく見るDVDの設定を記憶させる(コンディションメモリー) 43
よく変更する初期設定の項目を記憶する(ファンクションメモリー) 44
映像のアングルを切り換える(マルチアングル) 45
ディスクの情報を見る 46

いろいろな設定 49

初期設定画面の操作のしかた 49
より細やかな設定をする 50
ドルビーデジタル音声を調節する 51
デジタル出力の設定をする 51
[音声2]の設定をする 53
[映像1]の設定をする 59
画質を調整する 63
[映像2]の設定をする 66
[言語]の設定をする 67
視聴制限をする(パレンタルロック) 71
[一般]の設定をする 74
すべての設定を出荷時に戻す 75

その他 76

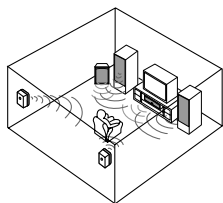
使用上の注意 76
困ったとき！？ 78
用語解説 81
保証とアフターサービス 83
仕様 84
初期設定画面の項目別さくいん 85
さくいん 86

お使いになる前に

こんなことができます

❖ 映画館のような迫力のあるサウンドが味わえるDVDオーディオ、ドルビー*[1]デジタル/DTS*[2]/MPEGデコーダー内蔵の高音質オーディオシステム

DOLBY DIGITAL

本機はDVDオーディオの高音質を再生可能にする192kHzサンプリング/24bitのDAC(デジタル/アナログコンバーター)を採用しています。
5.1チャンネルアナログ音声出力端子を装備し、さらにドルビーデジタルデコーダー、DTSデコーダー、およびMPEGデコーダーを内蔵しています。5.1チャンネル音声入力端子を持ったAVアンプなどと接続して映画館のような臨場感ある音声をお楽しみいただけます(**P.18**)。

❖ バーチャルサラウンド機能を搭載

TruSurround™ by SRS

2つのスピーカーだけでも5.1チャンネル音声の臨場感ある音声をお楽しみいただけます。
SRS TruSurround方式*[3]により、5.1チャンネルのデジタル音声データをダイレクトに処理します(**P.53**)。

❖ DNR内蔵ビデオエンコーダーを採用

本機は高画質DNR(デジタル・ビデオ・ノイズリダクション)内蔵のビデオエンコーダーを採用し、きめ細かな画質調整を行います。3種類の画質設定(テレビ(CRT)、プラズマ、プロフェッショナル)を選択することができ、さらにお好みに調整した画質を記憶することができます(**P.63**)。
また映像出力端子(2系統)、S映像出力端子(2系統)、DVD本来の高画質を引き出すコンポーネント映像出力端子(1系統)、およびD1/D2映像出力端子を装備しています。

❖ セットアップナビゲーター付きGUI

複雑な設定を画面に表示される質問に答えていくだけで簡単に設定できるセットアップナビゲーター機能を搭載しています。お手持ちのテレビやAVアンプなどに最適な設定を簡単に行うことができます(**P.21**)。
また初期設定の種類は、簡単な設定を行う[**ベーシック**]とより詳細な設定を行う[**エキスパート**]の2種類から選択することができます(**P.50**)。

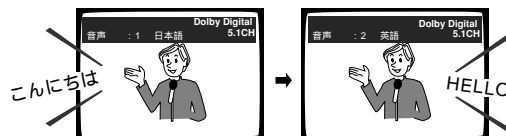
❖ DVD-RWディスク対応

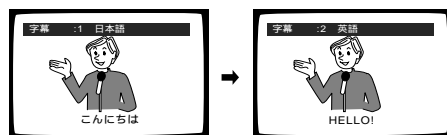
DVDレコーダーで記録されたディスクを再生することができます(**P.6**)。

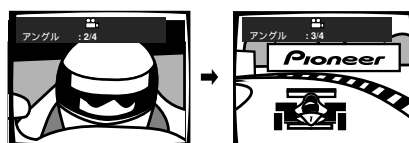
❖ MP3対応

MP3ファイル形式で圧縮された音楽データが記録されたCD-ROM、CD-R、またはCD-RWディスクを再生することができます(**P.7**)。

❖ お好みの音声言語が選択できます

DVDに収録された複数の音声言語から、お好きな言語を選択することができます(**P.28**)。

❖ お好みの字幕言語が選択できます

DVDに収録された複数の字幕言語から、お好きな字幕を選択することができます(**P.28**)。

❖ お好みのアングルが選択できます

DVDに収録された複数のアングルから、お好きなアングルを選択することができます(**P.45**)。

本機の特長

❖ プログレッシブ出力を備えた高品位映像システム

本機は525pの周波数の映像信号を出力するプログレッシブスキャン(順次走査)出力端子を装備しています。コンポーネント映像入力を持ったプログレッシブ(525p)入力対応テレビに接続すると、従来のテレビ方式であるインターレーススキャン(飛び越し走査)よりも2倍の情報量の、きめ細かな映像を再生します(**P.19, 59**)。
また、このプログレッシブ方式を利用して、DVDビデオ映画の再生に、オリジナルソースに忠実な画質を再現する「ピュアシネマ」モードを採用しています(**P.64**)。

❖ DVD ならではの高画質映像を引き出す D1/D2 端子、およびコンポーネント映像出力端子を装備

本機はD1/D2端子を装備しています。デジタル放送対応テレビなどに装備されているD 端子に専用ケーブル1本で接続することができます。さらにコンポーネント映像出力端子も装備しています。DVDに記録される輝度(Y)と色差(CB/PB、CR/PR)の3つの映像信号をそれぞれダイレクトに出力することで、DVDから鮮明な映像を引き出します(**P.19**)。

❖ レガート PRO 機能

ディスク(DVD、CD)のフォーマットにより失われた音声情報をアップサンプリング(DVD: 48kHz → 192kHz、CD: 44.1kHz → 176.4kHz)することで再現するデジタルフィルターを搭載しています。デジタルフィルターの特性は**[スタンダード]**、**[エフェクト1]**、**[エフェクト2]**、**[エフェクト3]**の4種類から選ぶことができます。また、オフにすることもできます(**P.53**)。

❖ Hi-Bit 機能

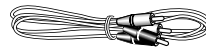
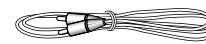
音声データのビット長を拡張(伸長)する機能です。16bit、または20bitデータを24bitに変換することにより、微少信号において滑らかで繊細な音声を楽しむことができます(**P.58**)。

❖ 省エネルギー設計

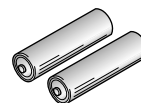
本製品は待機時消費電力を0.3Wに抑えた設計になっています。

付属品の確認

箱から出したら次の付属品がそろっていることを確認してください。

- 音声ケーブル

- 映像ケーブル

- 電源コード

- リモートコントロールユニット

- 単3形乾電池(R6P・2本)

- 保証書
- 安全上のご注意
- ご相談窓口・修理窓口のご案内
- 取扱説明書(本書)

*1 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権 1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

*2 DTSは米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。米国Digital Theater Systems, Inc. からの実施権に基づき製造されています。

*3 TruSurroundと(●)®記号はSRS Labs, Inc. の商標です。
TruSurround技術はSRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

本機で再生できるディスクについて

本機で再生できるディスクの種類

- 本機はNTSC(日本のテレビ方式)に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- 以下のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

■本機で再生できないディスクの種類

- リージョンが**「2」「ALL」**以外のDVDビデオ
- DVD-ROM ・DVD-RAM ・フォトCD
- CD-Gなど

ご注意

本機はアダプター(CD用)を使用しないで8cmCDを再生することができます。8cmアダプター(CD用)は使用しないでください。

***1 DVD-Rディスクの再生について**

本機はDVDビデオフォーマットで記録されたDVD-Rディスクを再生することができます。

***2 DVD-RWディスクの再生について**

- 本機はDVDビデオフォーマット、またはビデオレコーディングフォーマットで記録されたDVD-RWディスクを再生することができます。
- 1回だけ録画可能な映像素材を録画した部分(コピー禁止部分)は本機で再生することはできません。この場合、画面に「COPY PROTECT PROGRAM ,UNPLAYABLE」と表示されます。
- DVDレコーダーで編集した箇所を再生すると、そのつなぎ目で一瞬画面が静止画になることがあります。
- DVDレコーダーで録画、または編集したディスクを再生すると編集位置が多少ずれることがあります。
- タイトル名は最大20文字まで表示することができます(半角英数字、および半角カタカナのみ表示することができます)。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。また、DVDビデオフォーマット記録、およびビデオレコーディングフォーマット記録については**P.81**、**P.82**も合わせてご覧ください。

***3 CD-R/CD-RWディスクの再生について**

本機は音楽CDフォーマット、ビデオCDフォーマット、またはMP3の音楽データが記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

***4 (株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたディスクです(P.39)。**

MP3の再生について

- ISO9660CD-ROMファイルシステムに従って記録してください。
- MPEG1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数44.1kHz、または48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは**「UNPLAYABLE MP3 FORMAT」**と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)には対応していません(再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子(**P.82**)がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション(**P.82**)には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- フォルダー/トラックの名前は最大8文字まで表示します(半角英数字で入力された文字のみ)。半角英数字以外で入力されているフォルダー/トラックの名前は「F_001」/「T_001」のようにMP3ナビゲーター、またはプログラムの画面に表示されます。また、本体表示窓にも半角大文字英数字以外を表示できないことがあります。
- フォルダー/総トラック数はそれぞれ250まで対応しています。251以降のフォルダー/トラックを再生することはできません。
- 音質的には、記録ビットレート128kbpsを推奨します。

ご注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/DVD-RW、およびCD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります(原因:ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- 本機ではファイナライズしていないDVD-R/DVD-RWディスクを再生することはできません。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクでは、一部の時間情報が表示されないことがあります。
- 詳しいDVD-R/DVD-RW、およびCD-R/CD-RWディスクの取扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。

DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク	意味
②	記録されている音声の数
2	記録されている字幕言語の数
3	記録されているアングル数
16:9 LB	記録されている映像のアスペクト比
2 ALL	再生可能な地域番号を表わします。本機は地域番号「2」、または「ALL」と表示されたディスクを再生することができます。

DVDの操作制限について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。本機ではディスクによって禁止されている操作をしたときは画面に「ディスクによる禁止」マーク( )を表示します。また、メニューや再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、リピートやプログラムなどの一部の操作ができないことがあります。このような場合、本機では画面に「プレーヤーによる禁止」マーク( )を表示します。

著作権について

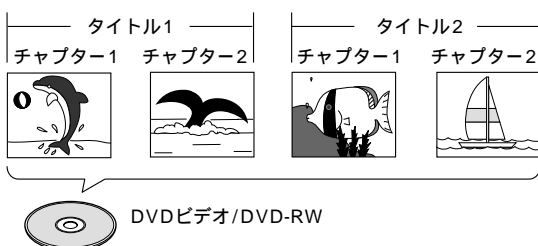
- ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本機には、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

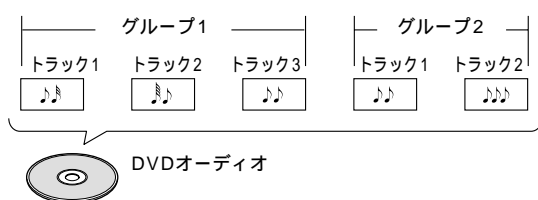
ディスクの構成について

DVD VIDEO **DVD-RW**

DVDビデオ、またはDVD-RWではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。また、ディスクによってはメニュー画面を持つものがあります。メニュー画面はどのタイトルにも属しません。映画などではふつう1つの映画が1つのタイトルに対応しています。カラオケディスクでは1曲が1タイトルとなっています。ただしこのような区切りになっていないディスクもありますので、サーチ機能やプログラム機能を使用する際はご注意ください。

タイトル1 タイトル2
チャプター1 チャプター2 チャプター1 チャプター2

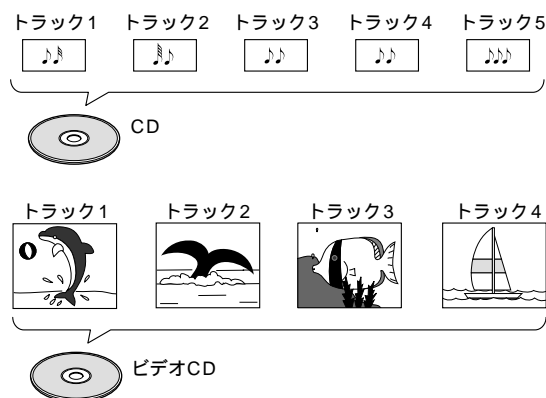
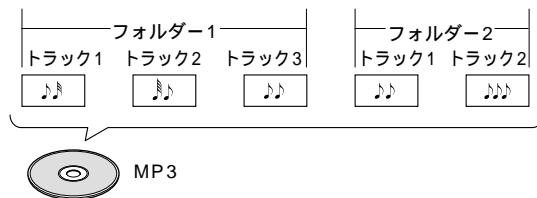
DVDビデオ/DVD-RW

DVD AUDIO

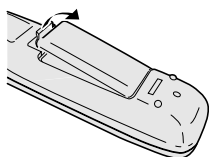
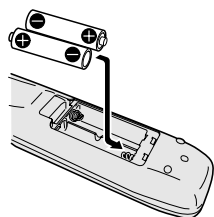
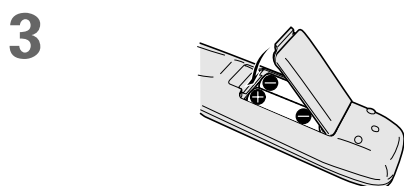
DVDオーディオではディスクをグループという単位で分け、さらにグループをトラックという単位で分けています。(一般的には1曲が1つのトラックに対応。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります)。また、ディスクによってはDVDビデオのようなメニュー画面や映像が記録されているものもあります。

CD **VIDEO CD**

CDやビデオCDではディスクをトラックという単位で分けています(一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。またさらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります)。

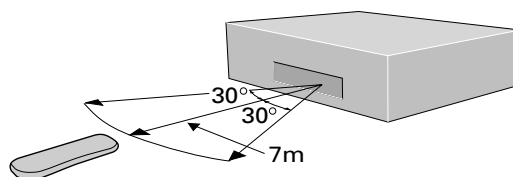
トラック1 トラック2 トラック3 トラック4

ビデオCD

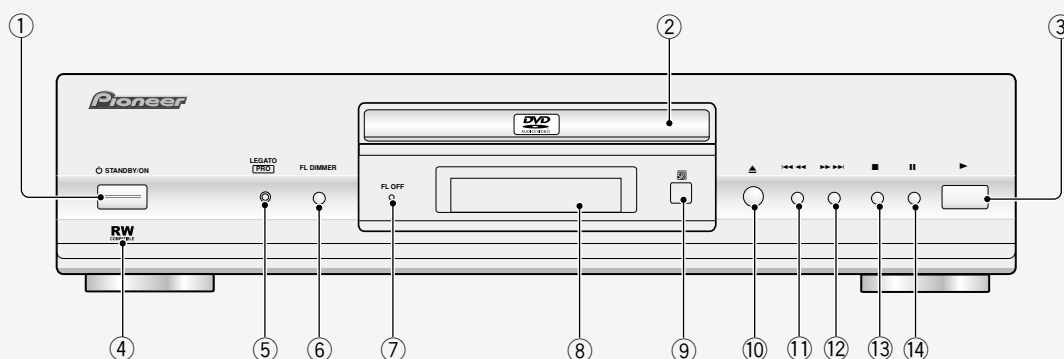
MP3

MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。MP3ファイルが入っているフォルダーには「F_001、F_002・・・」、フォルダー内のファイルには「T_001、T_002・・・」というように自動的に番号をつけます。

リモコンに乾電池を入れる

1 **裏ブタのタブを押しながら矢印の方向へ開く**

2 **ケース内に表記されている極性⊕(プラス)/⊖(マイナス)を合わせて、乾電池を正しく入れる**

3 **フタを矢印の方向に閉める**

ご注意
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1ヵ月以上）リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭きとってから新しい乾電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。H048 Ja

リモコンの使用範囲

- リモコンはプレーヤー本体前面部のリモコン受光部に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は約7m、またリモコン受光部を基準にして左右30˚までの範囲で操作できます。
- 後面のコントロール入力端子が他の機器に接続されているとき（**P.14**）は、その機器のリモコン受光部に向けて操作してください。本機に向けても操作することはできません。

ご注意:
リモコン受光部に直接日光や強い光をあてないようにしてください。誤動作の原因となります。

各部の名称とはたらき

本体正面

① ⏻**STANDBY/ONボタン**
電源をオン/オフします(**P.21, 25, 29**)。

② **ディスクテーブル**
ディスクを出し入れするときに、⑩**オープン/クローズ(⏏)ボタン**で開閉します(**P.25, 29**)。

③ **再生(►)ボタン**
ディスクを再生します(**P.25, 29**)。

④ **RW COMPATIBLE**
DVDレコーダーでビデオレコーディングフォーマット記録されたDVD-RWディスクが再生できる機能を示します。

⑤ **LEGATO PROインジケーター**
レガートPRO機能がオンのとき点灯します。

⑥ **FL DIMMERボタン**
本体表示窓の明るさを調整します。消灯から通常の点灯まで明るさを4段階に切り換えられます。表示窓を消灯すると、FL OFFインジケーターが点灯します。

⑦ **FL OFFインジケーター**
本体表示部を消灯すると点灯します。リモコンのディマーボタンで表示窓の明るさを調整できます(**P.13**)。

⑧ **表示窓**
本機の動作状況を表示します(**P.10**)。

⑨ **リモコン受光部**
リモコンの信号を受けます(**P.9**)。

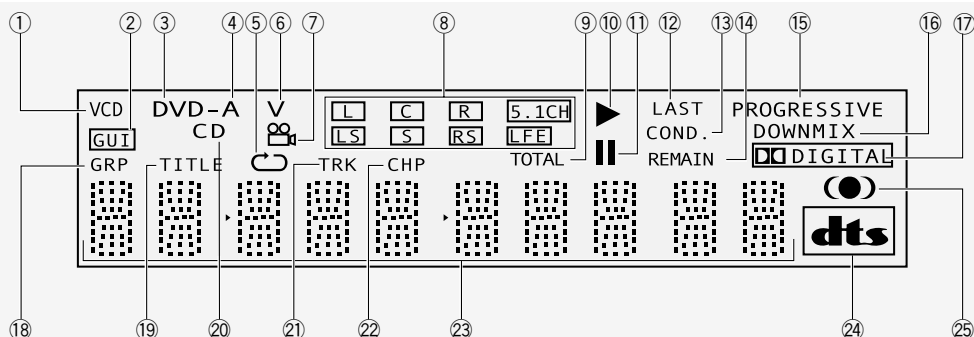
⑩ **オープン/クローズ(⏏)ボタン**
ディスクテーブルを開閉するときに押します(**P.25, 29**)。

⑪ **スキャン/前(|◄◄ ◄◄)ボタン**
映像や音声を早戻し、または頭出しをします(**P.30**)。

⑫ **スキャン/次(►► ►►|)ボタン**
映像や音声を早送り、または頭出しをします(**P.30**)。

⑬ **停止(■)ボタン**
ディスクの再生を止めます(**P.29**)。

⑭ **一時停止(II)ボタン**
再生中に押すと映像が静止画になり音声が一時停止します(**P.29**)。もう一度押すと再生を再開します。

本体表示窓

① **VCD**
ビデオCD を再生しているとき点灯します。

② **GUI**
初期設定、プログラム、画質調整、またはディスク情報などの画面が表示されているとき点灯します。

③ **DVD**
DVDを再生しているとき点灯します。

④ **DVD-A**
DVDオーディオを再生しているとき点灯します。

⑤
リピート再生中に点灯します(**P.36**)。

⑥ **V**
DVDビデオ、またはDVDオーディオの再生中、映像信号のある場面で点灯します。

⑦ **(アングル)**
DVDを再生しているとき、アングル変更が可能な場面で点灯します(**P.45**)。

⑧ **プログラムフォーマットインジケーター**
再生しているDVDに収録されている音声チャンネルに対応するインジケーターが点灯します。
L　：左フロントチャンネル
C　：センターチャンネル
R　：右フロントチャンネル
LS ：左サラウンドチャンネル
S　：サラウンドチャンネル(モノラル)
RS ：右サラウンドチャンネル
LFE：LFEチャンネル

5.1CHインジケーター
[音声出力]の設定を**[5.1チャンネル]**に設定しているとき点灯します(**P.22, 54**)。

⑨ **TOTAL**
タイトル、チャプターまたはトラックの総再生時間が表示されているとき点灯します(**P.46~48**)。

⑩ ►
ディスクを再生しているとき点灯します。

⑪ ❚❚
ディスクが一時停止しているとき点灯します。

⑫ **LAST**
ラストメモリー機能が働いているとき点灯します(**P.42**)。

⑬ **COND.**
コンディションメモリー機能が働いているとき点灯します(**P.43**)。

⑭ **REMAIN**
タイトル、チャプターまたはトラックの残り再生時間が表示されているとき点灯します(**P.46~48**)。

⑮ **PROGRESSIVEインジケーター**
映像出力でプログレッシブが選ばれているときに点灯します(**P.19, 59**)。

⑯ **DOWN MIX**
DVDオーディオやドルビーデジタル、DTS、またはMPEGなどのマルチチャンネル音声をダウンミックス(チャンネル変換)しているとき点灯します。 例えば、5.1チャンネル音声を2チャンネル音声に変換しているとき点灯します。

⑰ **DIGITAL**
ドルビーデジタル音声を選んで再生しているとき点灯します(ドルビーデジタル音声で記録されているDVDのみ)。

⑱ **GRP**
グループ番号を表示しているときに点灯します(DVDオーディオのみ)。

⑲ **TITLE**
タイトル番号が表示されているとき点灯します(DVDのみ)。

⑳ **CD**
CD を再生しているとき点灯します。

㉑ **TRK**
トラック番号が表示されているとき点灯します。

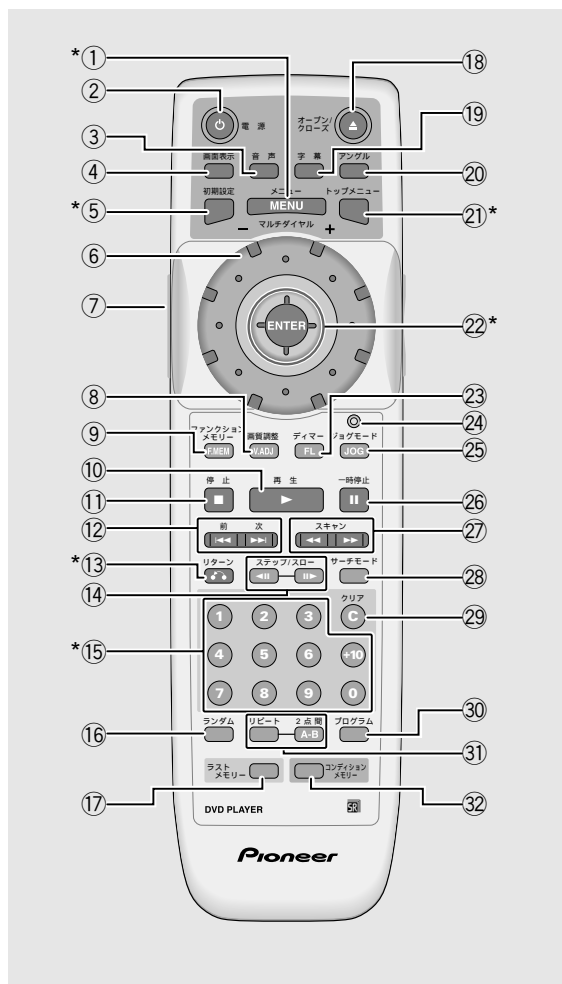
㉒ **CHP**
チャプター番号が表示されているとき点灯します。

㉓ **カウンター表示**
再生モード、ディスクの種類、タイトル、チャプター、トラック番号、経過時間などを表示します。

㉔ **DTS**
DTS音声を選んで再生しているとき点灯します(DTS音声で記録されているディスクのみ)。

㉕
TruSurround機能を選択しているとき点灯します(**P.53**)。

各部の名称とはたらき

リモコン

＊ マーク付きのボタンはメニュー画面の操作に使います。

① **メニューボタン***
DVDのメニュー画面を表示します。MP3ではMP3ナビゲーター画面を表示します(**P.26, 27**)。

② **電源(⏻)ボタン**
電源をオン/オフします(**P.25, 29**)。

③ **音声ボタン**
音声を切り換えます(**P.28**)。

④ **画面表示ボタン**
ディスクの情報を表示します(**P.46-48**)。

⑤ **初期設定ボタン***
初期設定画面を表示します(**P.21, 44, 49**)。

⑥ **マルチダイヤル**
スロー再生、スキャン、コマ送り再生などの特殊再生に使用します(**P.33, 34**)。

⑦ **ライティングボタン**
7つのボタン(⑧、⑨、⑩、⑪、㉓、㉕、㉖)を約6秒間点灯させます。暗い部屋などでお使いのとき便利です。

⑧ **画質調整ボタン**
ご使用になるモニターの種類に合わせて、画質の設定を**[テレビ(CRT)]**、**[PDP]**、**[プロフェッショナル]**の3種類から選ぶことができます。また、お好みの画質に調整して、その設定を記憶することができます(**P.63**)。

⑨ **ファンクションメモリーボタン**
初期設定画面の設定項目の中で、よく変更する項目を記憶することができます(**P.44**)。

⑩ **再生(►)ボタン**
ディスクの再生を開始します(**P.25, 29**)。

⑪ **停止(■)ボタン**
ディスクの再生を止めます(**P.29**)。

⑫ **前(I◄◄)/次(►►I)ボタン**
場面や曲の頭出しをします(**P.30**)。

⑬ **リターン(↶)ボタン***
初期設定画面やメニュー画面が表示されているとき押すと1つ前の項目に戻ります。

⑭ **ステップ/スロー(◄II/II►)ボタン**
◄II： 一度押すとコマ戻し再生します。
押し続けると逆方向にスロー再生します(**P.35**)。
II►： 一度押すとコマ送り再生します。
押し続けると前方向にスロー再生します(**P.35**)。

⑮ **数字ボタン***
見たい/聞きたい場所を探すとき、音声や字幕を選ぶとき、またはメニュー画面で項目を選ぶときなどに使います。

⑯ **ランダムボタン**
DVDビデオではタイトルやチャプター、DVDオーディオではグループやトラック、ビデオCD、CDまたはMP3ではトラックを順不同に再生します(**P.41**)。

⑰ **ラストメモリーボタン**
つづきから見たい場所を記憶したり、呼び出したりします(**P.42**)。

⑱ **オープン/クローズ(⏏)ボタン**
ディスクテーブルを開閉するときに押します(**P.25, 29**)。

⑲ **字幕ボタン**
DVDの字幕言語を切り換えます(**P.28**)。

⑳ **アングルボタン**
DVDビデオのアングルを切り換えます(**P.45**)。

㉑ **トップメニューボタン***
DVDソフトの最上層のメニュー画面を表示します(**P.26, 27**)。

㉒ **ジョイスティック/ENTERボタン***
設定項目を選択するときカーソルを上下左右に動かします。押すと、選択した項目を決定します。

㉓ **ディマーボタン**
本体表示窓の明るさを調整します。消灯から通常の点灯まで明るさを4段階に切り換えられます。表示窓を消灯すると、FL OFFインジケーターが点灯します。

㉔ **ジョグモードインジケーター**
マルチダイヤルの機能がコマ送りになっているとき点灯します(**P.34**)。

㉕ **ジョグモードボタン**
マルチダイヤルの機能をスロー/スキャンからコマ送りに切り換えます。マルチダイヤルを使ってコマ送り再生ができます(**P.34**)。

㉖ **一時停止(⏸)ボタン**
映像や音声を再生中に押すと、映像が静止画になり、音声が一時停止します。もう一度押すと再生を再開します(**P.29**)。

㉗ **スキャン(◀◀/▶▶)ボタン**
映像や音声の早送り/早戻しをします(**P.30**)。
◀◀：早戻し方向
▶▶：早送り方向

㉘ **サーチモードボタン**
サーチの種類を選ぶときに押します(**P.31**)。

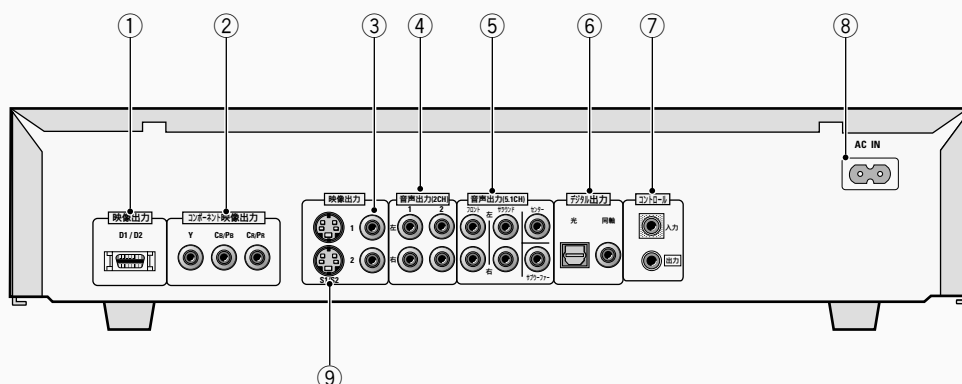
㉙ **クリアボタン**
リピート再生、ランダム再生、プログラム再生で設定した内容を取り消します(**P.36-41**)。

㉚ **プログラムボタン**
DVDビデオではタイトルやチャプター、DVDオーディオではグループやトラック、ビデオCDまたはCDではトラック番号、MP3ではフォルダーやトラック番号をプログラムして好きな順に再生します(**P.37-40**)。

㉛ **リピート/2点間A-Bボタン**
DVDビデオではタイトルやチャプター、DVDオーディオではグループやトラックを繰り返し再生します。ビデオCD、またはCDではトラックやディスク全体を繰り返し再生します。MP3ではフォルダー、トラックまたはディスク全体を繰り返し再生します(**P.36**)。

㉜ **コンディションメモリーボタン**
DVDビデオの設定を記憶します(**P.43**)。

各部の名称とはたらき

本体後面

① **D1/D2端子**
D映像入力端子のあるテレビと接続するときに、市販のD端子ケーブルを使って接続します(**P.19**)。

② **コンポーネント映像出力(Y、CB/PB、CR/PR)端子**
コンポーネント(Y、CB/PB、CR/PR)映像入力端子のあるテレビなどと接続するときに、市販のコンポーネント映像ケーブルまたは映像ケーブルを使って接続します(**P.19**)。

③ **映像出力端子**
テレビまたはAVアンプなどと接続するときに、付属の映像ケーブルを使って接続します(**P.15, 20**)。

④ **音声出力(2CH)端子**
2チャンネルのステレオアンプまたはテレビなどと接続するときに、付属の音声ケーブルを使って接続します(**P.15, 18**)。

⑤ **音声出力(5.1CH)端子**
5.1チャンネルアナログ音声入力端子のあるAVアンプと接続するときに、市販の音声ケーブルを使って接続します(**P.18**)。

⑥ **デジタル出力(同軸/光)端子**
デジタル入力端子のあるアンプなどと接続するときに、市販の同軸、または光デジタルケーブルを使って接続します(**P.16, 17**)。

⑦ **コントロール入力/出力端子**
SRマークの付いたパイオニア製AVアンプなどにつないで、AVアンプなどのリモコンで本機を操作できます。市販のミニプラグ付きケーブル(抵抗なし、3.5∅)を使って、本機のコントロール入力端子とAVアンプなどのコントロール出力端子を接続します。

⑧ **電源コード接続端子**
付属の電源コードを接続して、壁のコンセントから電源を供給します(**P.15, 16**)。

⑨ **S1/S2映像出力端子**
S映像入力端子のあるテレビまたはAVアンプなどと接続するときに、市販のS映像ケーブルを使って接続します(**P.20**)。本機のS映像出力端子は初期設定画面で**[S1]**、または**[S2]**を切り換えることができます(**P.62**)。

お知らせ
- システムコントロールする場合は、市販のミニプラグ付きケーブル以外に必ずデジタル(同軸)ケーブル、アナログ音声ケーブル、映像ケーブルのいずれかを使って接続してください。
- SRマーク付きのAVアンプなどとつないだときは、つないだ機器(AVアンプなど)にリモコンを向けて操作してください。本機にリモコンを向けて操作することはできません。
- SRマークのない機器やパイオニア以外の製品とは、システムコントロール接続はできません。

接続と準備

ご注意:
機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

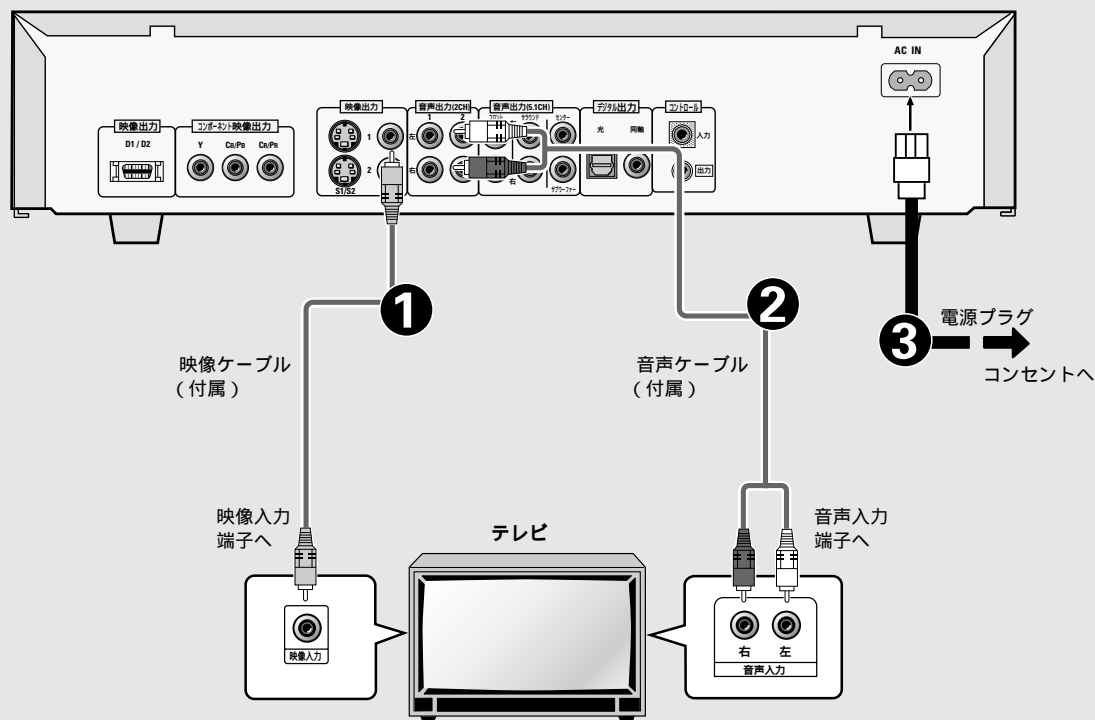
付属のケーブルを使ってテレビと接続する

❶ 付属の映像ケーブルを接続する

❷ 付属の音声ケーブルを接続する

左(白色)端子には白色のプラグを、右(赤色)端子には赤色のプラグをつなぎます。モノラル音声入力端子と接続するときは市販の専用ケーブルをお使いください。

❸ 付属の電源コードをコンセントへ接続する

接続が終わったら、[セットアップナビゲーター]を使って本機の設定を行ってください(P.21)。

お知らせ

- **本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。**
  本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。
- **本機の映像出力、および S1/S2 映像出力端子からはプログレッシブ出力されません。**

AV機器と接続する（接続例）

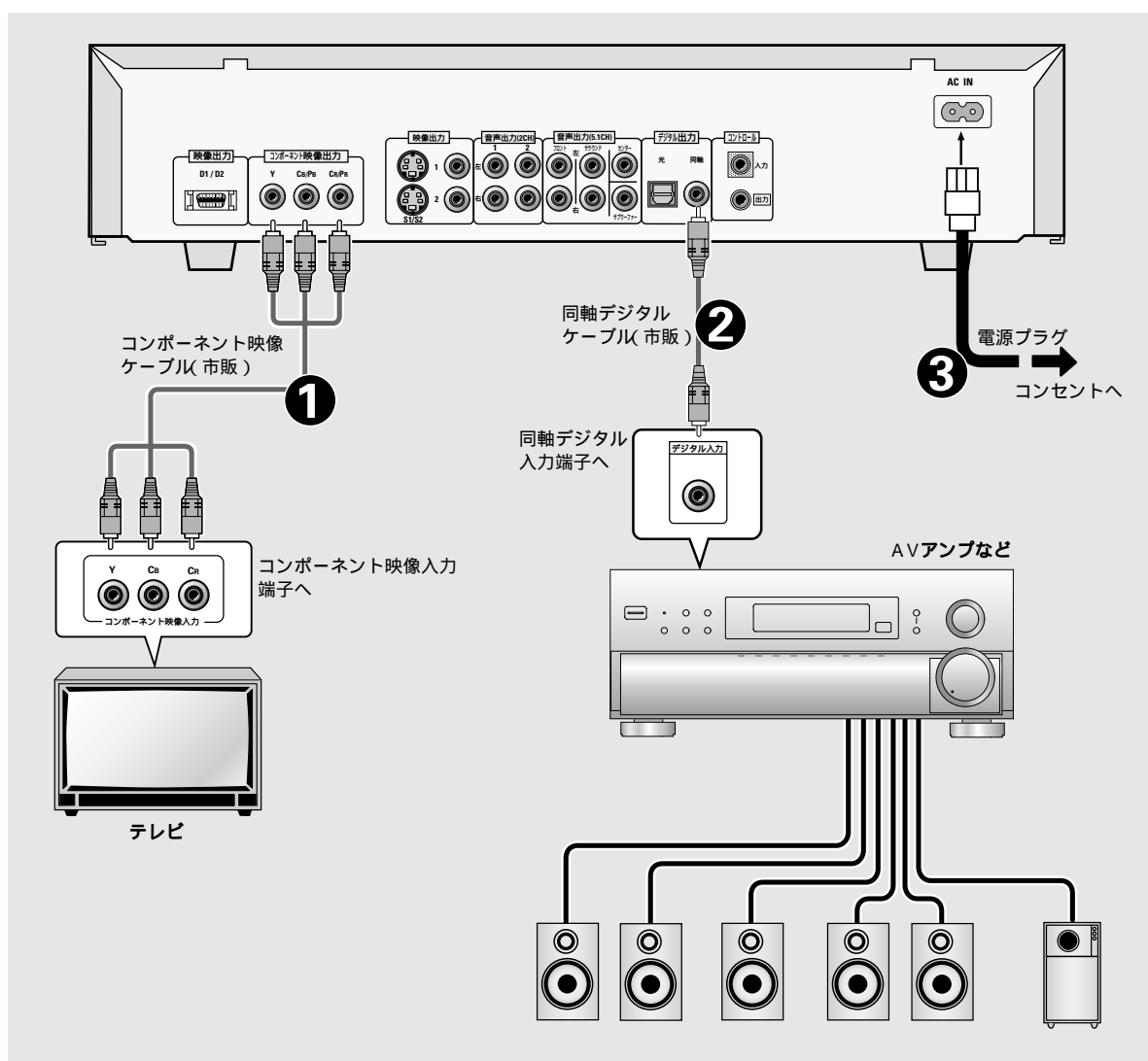
本機の性能を十分に楽しむための接続例です。**P.17-20**をご覧のうえ、お持ちのAV機器やケーブルに合わせて接続してください。

❶ 映像ケーブルを接続する

❷ 音声ケーブルを接続する

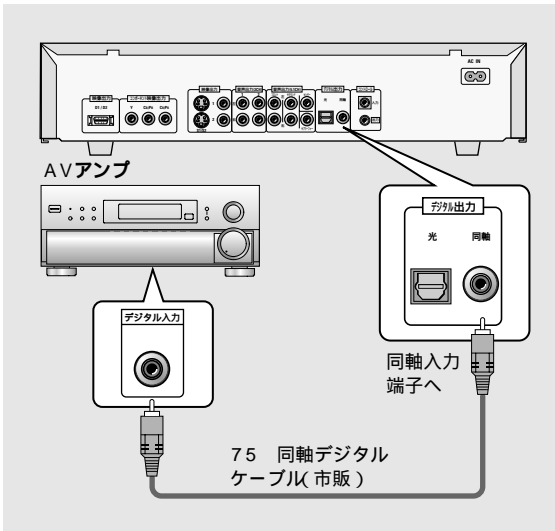
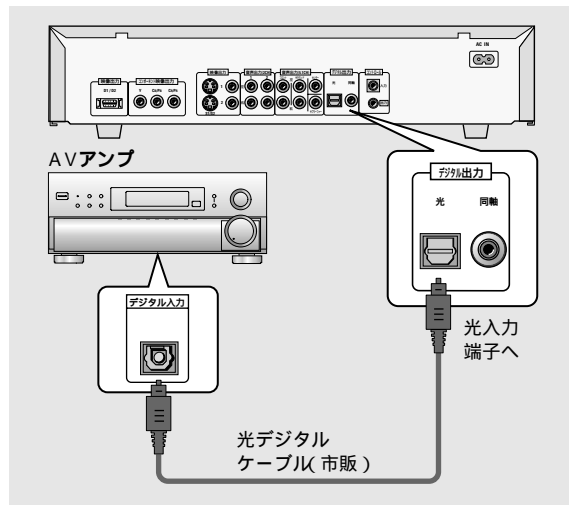
次のページをご覧ください。

❸ 付属の電源コードをコンセントへ接続する

接続が終わったら、[セットアップナビゲーター]を使って本機の設定を行ってください(P.21)。

音声ケーブルの接続のしかたを選ぶ

以下の3つのうち、どれか1つ接続すれば音声が出力されます。

市販の同軸デジタルケーブルで接続する

本機はドルビーデジタル、DTS、MPEGなどのデジタル音声をデジタル入力に対応したAVアンプ(各デコーダー内蔵アンプまたはデコーダー)とデジタル音声ケーブルでつなぐことにより、迫力あるデジタルサウンドをお楽しみいただけます。

市販の光デジタルケーブルで接続する

ご注意

本機の光端子はシャッター式です。光出力端子に接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと端子が変形してケーブルを抜いてもシャッターが閉まらなくなることがあります。

お知らせ

デジタル音声で出力するとき

- パイオニア製のアンプVSA-D10EX、VSA-D8EX、VSA-D3などをお使いのかたは、光デジタルケーブル、または同軸デジタルケーブルの接続をおすすめします。
- MD、CD-R(CD レコーダー)、DAT などのデジタル録音対応機器で、デジタル録音をするときも光デジタルケーブル、または同軸デジタルケーブルの接続をおすすめします。

デジタル出力でドルビーデジタル /DTS の 5.1 チャンネルを楽しむには

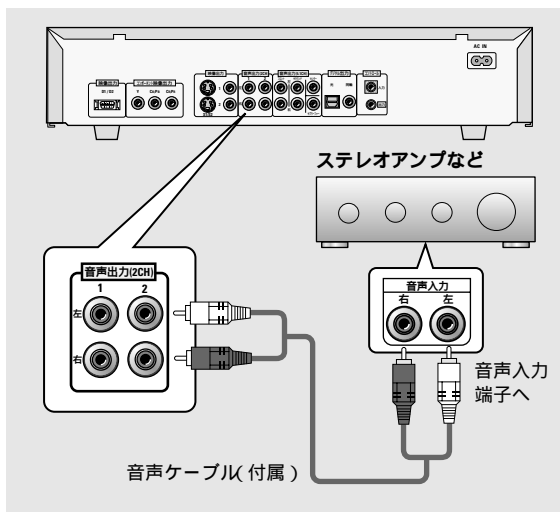
- ドルビーデジタル/DTSの5.1チャンネル音声をお楽しみいただくためには、ドルビーデジタル/DTSデコーダー内蔵AV アンプなどのほか、5 チャンネルスピーカー(フロント左右/センター/サラウンド左右)+サブウーファーが別途必要になります。

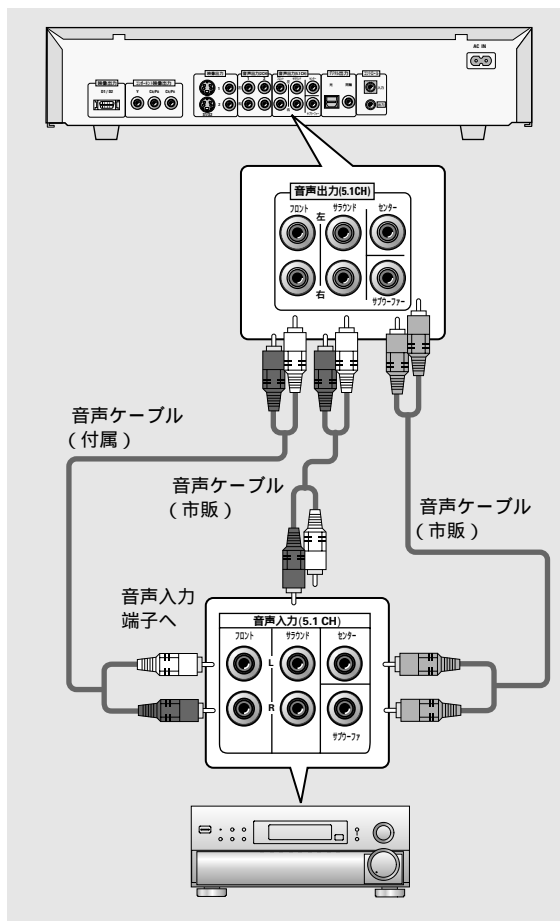
DVD オーディオのデジタル出力について

- DVDオーディオディスクのマルチチャンネル音声はデジタル出力されません。2チャンネル音声にダウンミックスして出力されます。マルチチャンネル音声をお楽しみいただくためには「***5.1 チャンネル接続***」(**P.18**)をしてください。
- DVDオーディオディスクの192kHz/176.4kHz音声はデジタル出力されません。96kHz/88.2kHz、または48kHz/44.1kHz に変換して出力されます。ディスクによってはデジタル音声が出力されないことがあります。

付属の音声ケーブルで接続する

■ 2 チャンネル接続

この接続をしたときは、**P.22**の**[アナログ端子]**の設定を**[2チャンネル]**にしてください。

■ 5.1 チャンネル接続

この接続をしたときは、**P.22**の**[アナログ端子]**の設定を**[5.1チャンネル]**にしてください。

お知らせ

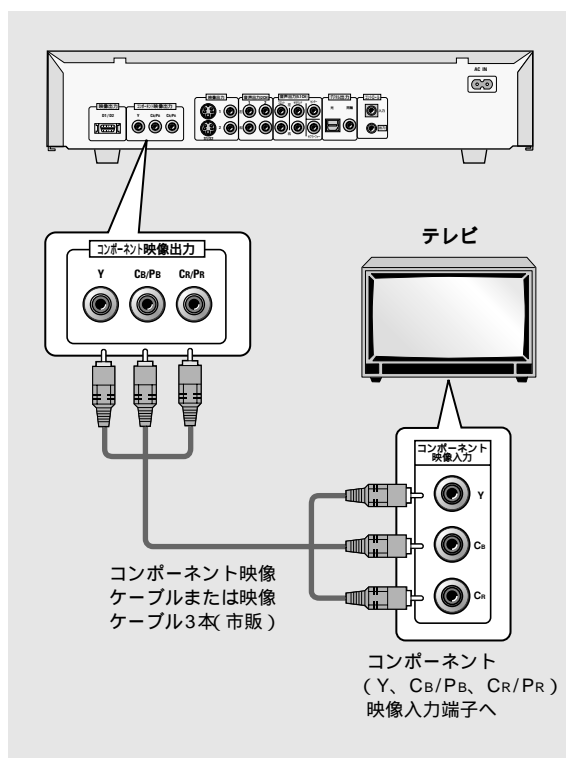
マルチチャンネル再生を楽しむには

- マルチチャンネル再生をお楽しみいただくためには、5.1 チャンネルアナログ音声入力端子のある AV アンプなどのほか、5 チャンネルスピーカー（フロント左右 / センター / サラウンド左右）＋サブウーファーが別途必要になります。

映像ケーブルの接続のしかたを選ぶ

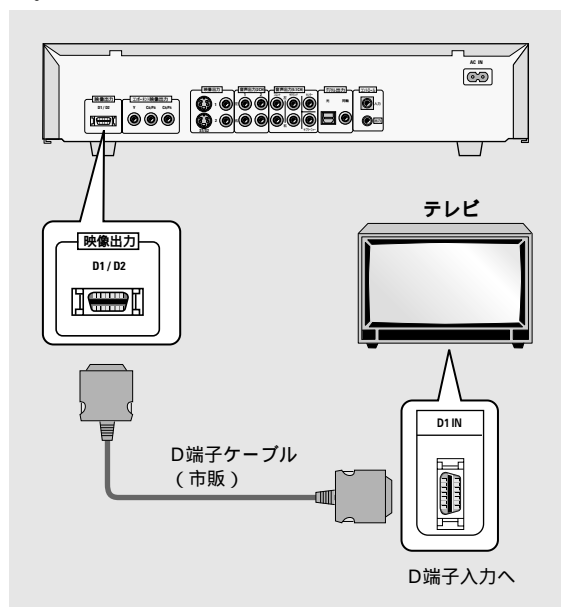
P.19-20のうち、どれか1つ接続すれば映像が出力されます。

市販のコンポーネント映像ケーブルで接続する

お使いのテレビなどにコンポーネント(Y/CB/CR)映像入力端子があるときは、この接続をおすすめします。本機の高品位な映像品質を楽しむときにもっとも適した接続です。

お知らせ

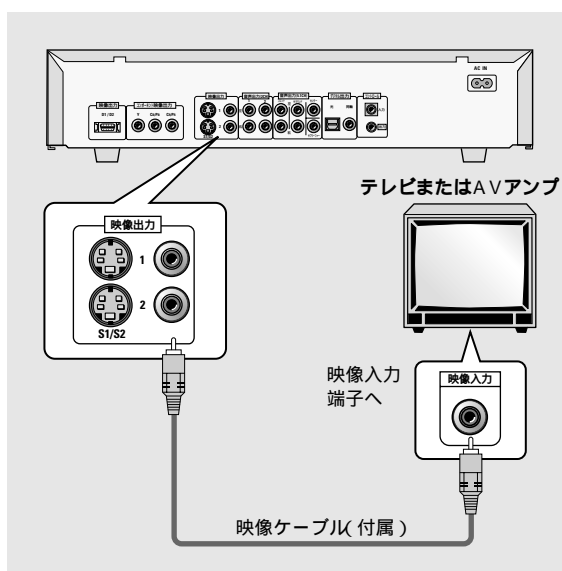
- ハイビジョン対応のコンポーネント(Y/PB/PR)映像入力端子に接続することはできません。
- **本機の映像出力は、ビデオデッキに接続しないでください。**本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。

市販のD端子ケーブルで接続する

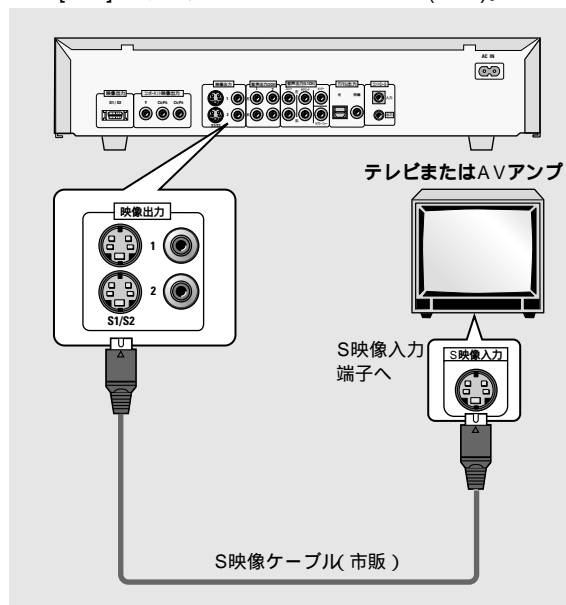
専用ケーブル1本で、コンポーネント映像ケーブルを使った接続と同等の映像品質を楽しむことができます。

■テレビのD端子入力について

本機のD1/D2端子は、接続するテレビのD1、D2、D3、またはD4のいずれの入力端子にも接続することができます。

D端子	方式
D4	525i(480i)、525p(480p)、1125i(1080i)、750p(720p)
D3	525i(480i)、525p(480p)、1125i(1080i)
D2	525i(480i)、525p(480p)、
D1	525i(480i)

i ：インターレース(飛び越し走査)を表しています。
p ：プログレッシブ(順次走査)を表しています。
(　)内は有効走査線数で数えた場合の別称です。

付属の映像ケーブルで接続する

市販のS映像ケーブルで接続する

付属の映像ケーブルを使った接続より、高品位な映像がお楽しみいただけます。初期設定画面で**[S1]**、または**[S2]**を切り換えることができます(**P.62**)。

お知らせ

本機の映像出力、および S1/S2 映像出力端子からはプログレッシブ出力されません。

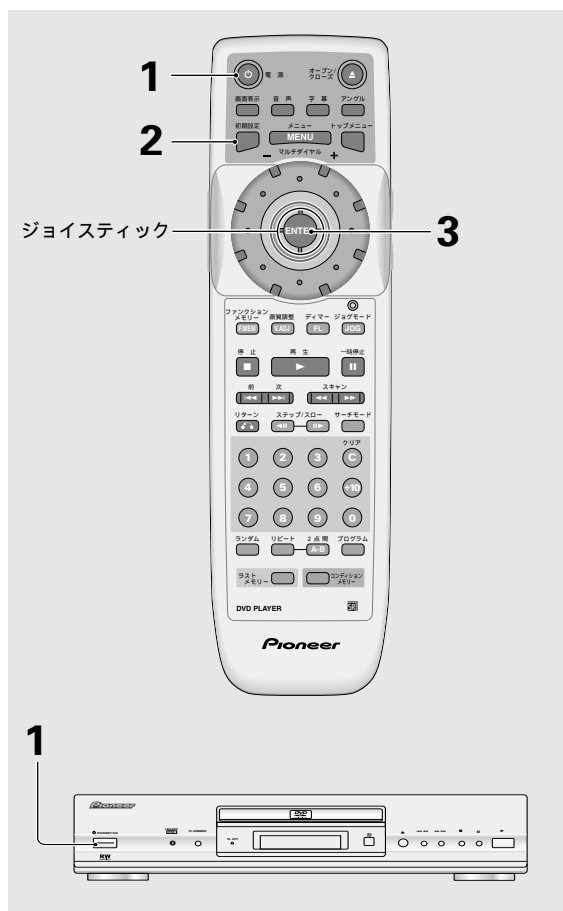
[セットアップナビゲーター]を使って設定する

[セットアップナビゲーター] により対話形式で本機の設定を行います。表示される質問に答えていくと、本機の設定が自動的に完了します。この機能を再生中に使うことはできません。

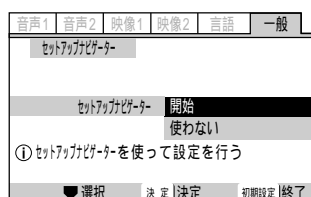
セットアップナビゲーターを開始すると以下の順に質問されます。

言語（画面表示言語）➡ テレビとの接続（テレビの種類）➡ アンプとの接続

お知らせ

ⓘマークは情報(information)を意味しています。画面に選択している項目の簡単な説明が表示されますので、設定内容がわからない場合は参考にしてください。

1 リモコンの電源ボタンを押す（本体は⏻スタンバイ/オンボタン）

すでにディスクが入っているときはディスクを取り出してください。

2 初期設定ボタンを押す

セットアップナビゲーター画面が表示されます。

開始：
セットアップナビゲーターを開始するとき選択します。

使わない：
セットアップナビゲーターの設定がすでに完了しているとき選択します。**[使わない]**を選ぶと次回から**初期設定ボタン**を押してもセットアップナビゲーターの画面は出なくなり、個別の設定をする画面が表示されます。詳しくは『***いろいろな設定***』(**P.49~75**)をご覧ください。

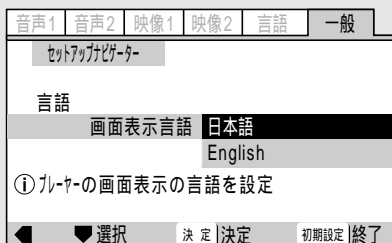
3 ENTERボタンを押す

セットアップナビゲーターを開始します。

■設定の途中で前の設定画面に戻るには

ジョイスティックを左に操作します。

画面に表示する言語を選ぶ

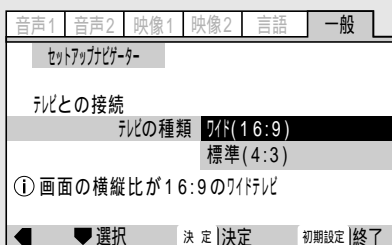
日本語、または英語を選ぶことができます。**ジョイスティック**を上下に操作して選び、**ENTERボタン**を押します。

日本語：
画面に表示される言語が日本語になります。

English：
画面に表示される言語が英語になります。

お知らせ

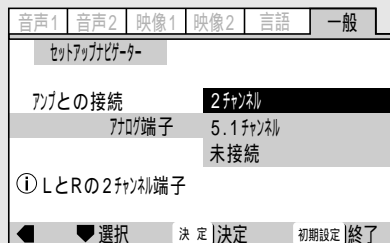
画面表示言語で選んだ言語が、字幕言語、および音声言語に自動的に選択されます(**P.67**)。

接続したテレビの種類を選ぶ

本機に接続したテレビの種類を設定します。**ジョイスティック**を上下に操作して選び、**ENTERボタン**を押します。

ワイド(16:9)：
ワイド (16:9)のテレビと接続したとき選択します。

標準(4:3)：
従来サイズ(4:3)のテレビと接続したとき選択します。

接続したアナログ端子を選ぶ

P.18で接続したアナログ音声出力端子のチャンネル数に合わせて設定します。**ジョイスティック**を上下に操作して選び、**ENTERボタン**を押します。

2 チャンネル：
本機の音声出力(フロント)端子に接続したとき選択します。

5.1 チャンネル：
本機のマルチチャンネル音声出力端子に接続したとき選択します。

未接続：
本機のアナログ音声出力端子に接続していないとき選択します。

アンプに接続したスピーカーを選ぶ

「***接続したアナログ端子を選ぶ***」の設定で**[5.1チャンネル]**を選択したときは、スピーカーの設定が必要になります。各スピーカーと接続してあるときは**[ある]**、接続してないときは**[ない]**を選択します。**ジョイスティック**を上下に操作して選び、**ENTERボタン**を押します。

[センタースピーカー]

[サラウンドスピーカー]

[サブウーファー]

ある：
スピーカーを接続しているとき選択します。
ない：
スピーカーを接続してないとき選択します。

アンプが対応しているデジタル信号を選ぶ

P.16, 17で接続したアンプがどのデジタル信号に対応しているかを設定します(お手持ちのアンプの取扱説明書も合わせてご覧ください)。**ジョイスティック**を上下に操作して選び、**ENTERボタン**を押します。

Dolby Digital：
本機と市販のデジタル音声ケーブルで接続しているAVアンプなどがドルビーデジタル対応のとき選択します。

Dolby Digital/DTS：
本機と市販のデジタル音声ケーブルで接続しているAVアンプなどがドルビーデジタルおよびDTS対応のとき選択します。

Dolby Digital/MPEG：
本機と市販のデジタル音声ケーブルで接続しているAVアンプなどがドルビーデジタルとMPEG対応のとき選択します。

Dolby D/DTS/MPEG：
本機と市販のデジタル音声ケーブルで接続しているAVアンプなどがドルビーデジタル、DTS、およびMPEG対応のとき選択します。

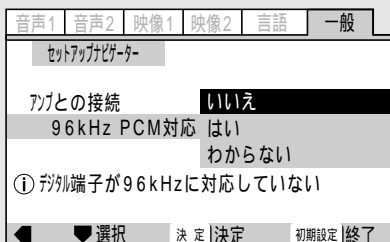
PCM：
本機と市販のデジタル音声ケーブルで接続しているアンプがステレオアンプ、またはドルビープロロジック対応アンプのとき選択します。

未接続：
付属のアナログ音声ケーブルのみでアンプなどと接続しているとき、またはアンプがどのデジタル信号に対応しているかわからないとき選択します。この項目を選択すると次の**[96kHz PCM対応]**の設定は必要がないため、次のページの『***セットアップナビゲーターを終了する***』へ移ります。

お知らせ

DTS音声に対応していないアンプと接続しているとき**[Dolby Digital/DTS]**または**[Dolby D/DTS/MPEG]**を選択するとノイズが発生することがあります。

接続したアンプが96kHz音声に対応しているかを選ぶ

本機と接続したアンプがリニアPCMの96kHzに対応しているか、対応していないかを設定します。**ジョイスティック**を上下に操作して選び、**ENTERボタン**を押します。

いいえ：
本機と接続したアンプがリニアPCMの96kHzに対応していないとき選択します。

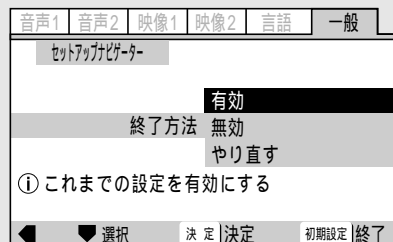
はい：
本機と接続したアンプがリニアPCMの96kHzに対応しているとき選択します。

わからない：
本機と接続したアンプがリニアPCMの96kHzに対応しているかどうかわからないとき選択します。

お知らせ

[いいえ]、**[わからない]**を選択したときは、DVDの音声がリニアPCMの96kHzであっても48kHzに変換した信号を出力します。

セットアップナビゲーターを終了する

今まで設定した項目を有効にして終了するか、無効にして終了するか、またはやり直すかを選択します。

有効：
これまでの設定内容を有効にして終了します。

無効：
これまでの設定内容を無効にして終了します。

やり直す：
セットアップナビゲーターを使って行った設定を**[画面表示言語]**の設定からやり直します。

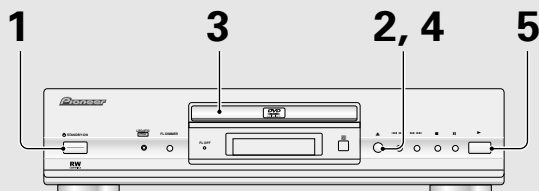
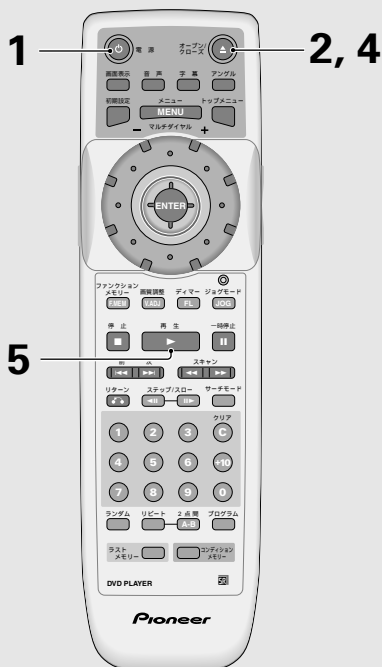
ジョイスティックを上下に操作して[有効]、[無効]、[やり直す]のいずれかを選び、決定ボタンを押す

- **[有効]**、または**[無効]**を選んだときは、初期設定画面が消えます。
- **[やり直す]**を選んだときは、**P.22**の**[画面表示言語]**の設定画面に戻ります。

お知らせ

- セットアップナビゲーターでは基本的な設定を行います。より細やかな設定は初期設定画面で行います(**P.49** 以降)。
- セットアップナビゲーターの設定を出荷時に戻すには、電源を待機状態(スタンバイ状態)にして、本体の**停止(■)ボタン**を押しながら本体の⏻**スタンバイ/オンボタン**を押してください(**P.75**)。

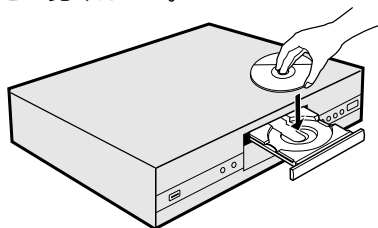
基本的な使いかた

ディスクを再生する DVD CD VIDEO CD DVD-RW MP3

1 リモコンの電源ボタンを押す（本体は⏻スタンバイ/オンボタン）

2 オープン/クローズ(▲)ボタンを押す

ディスクテーブルが開きます。

3 ディスクテーブルのガイドに合わせて、ディスクを置く

- レーベル面を上にして置いてください。両面に記録されているディスクのときは見たい面を下にして置いてください。
- 詳しいディスクの取り扱いについては**P.77**をご覧ください。

4 オープン/クローズ(▲)ボタンを押す

- ディスクテーブルが閉まります。DVDの中には、ディスクテーブルを閉めると自動的に再生を始めるディスクがあります。
- DVD-RW、またはMP3では、ディスク情報を読み込み中、画面に**「しばらくお待ち下さい」**と表示されます。表示が消えてから手順**5**に進んでください。

5 再生(▶)ボタンを押す

- 再生が始まります。
- プログラムメモリー(**P.39**)をしたディスクでは、自動的にプログラムした順に再生が始まります。

■ DVD のメニュー画面が表示されたとき（P.26 も合わせてご覧ください。）

以下の手順で操作します。

① **ジョイスティック、または数字ボタンで項目を選ぶ**

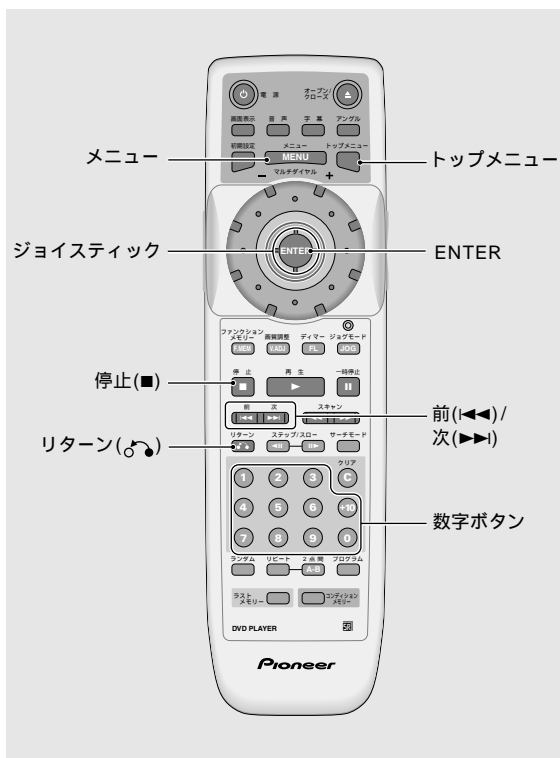
② **決定ボタンを押す**

■ VIDEO CD のメニュー画面が表示されたとき（P.27 も合わせてご覧ください。）

数字ボタンを押す

聞きたいトラック（曲）番号を押します。

ディスクのメニュー画面を表示する DVD VIDEO CD DVD-RW

メニュー画面付DVDでは、音声や字幕の言語を切り換えたり、特別に収録された映像などを見ることができます。プレイバックコントロール(PBC)機能付ビデオCDでは、メニュー画面で曲を選んで再生することができます。ディスクによってメニュー画面の操作方法が異なります。詳しいメニュー画面の操作方法についてはディスクに添付されている操作ガイドなどをご覧ください。

DVDのメニュー画面を表示する

1 メニューボタン、またはトップメニューボタンを押す

[例]

Main Menu
1 Highlight Clips
2 Chapter List
3 予告編
4 字幕
5 音声
6 本編Start

2 ジョイスティックを上下左右に動かして項目を選ぶ

リモコンの**数字ボタン**を押して項目を選ぶことができるディスクもあります。

3 決定ボタンを押す

VIDEO CD のメニュー画面を表示する

ビデオCDでは、メニュー画面に従って再生することをPBC(プレイバックコントロール)再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドも合わせてご覧ください。

1 PBC再生対応ディスクを入れる

再生が自動的に始まったときは、**停止(■)ボタン**を押してください。

2 停止中に再生(▶)ボタンを押す

メニュー画面が表示され、PBC再生が始まります。

[例]

3 数字ボタンで再生したいトラック(曲)を選ぶ

再生が始まります。再生中に**リターン( )ボタン**を押すとメニュー画面に戻ります。

■ **メニュー画面のページをめくる、または戻すには前(⏮)、または次(⏭)ボタンを押す。**

■ **メニュー画面を出さずに（PBC 再生を解除して）再生するには**

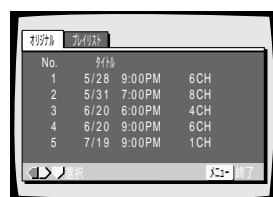
停止中に以下のいずれかのボタンを押して、再生するトラックを選びます。

- **前(⏮)、または次(⏭)ボタンで選ぶ。**
- **数字ボタンで選ぶ。**

DVD-RW のメニュー画面を表示する

DVD-RWにプレイリストを設定しているときは、**[オリジナル]**、または**[プレイリスト]**を選んで再生することができます。

1 メニューボタンを押す

[例]

2 ジョイスティックを左右に動かして[オリジナル]、または[プレイリスト]を選ぶ

- プレイリストが作成されていないときは、メニュー画面に**[プレイリスト]**は表示されません。
- 再生中に**[オリジナル]**と**[プレイリスト]**を切り換えることはできません。ディスクを停止してから切り換えてください。

3 ジョイスティックを上下に動かしてタイトル名を選ぶ

4 決定ボタンを押す

再生が始まります。

■ **映像を確認してから再生するには(プレビュー)**
停止中に確認したいタイトルを選んでカーソル(▶)ボタンを押す。

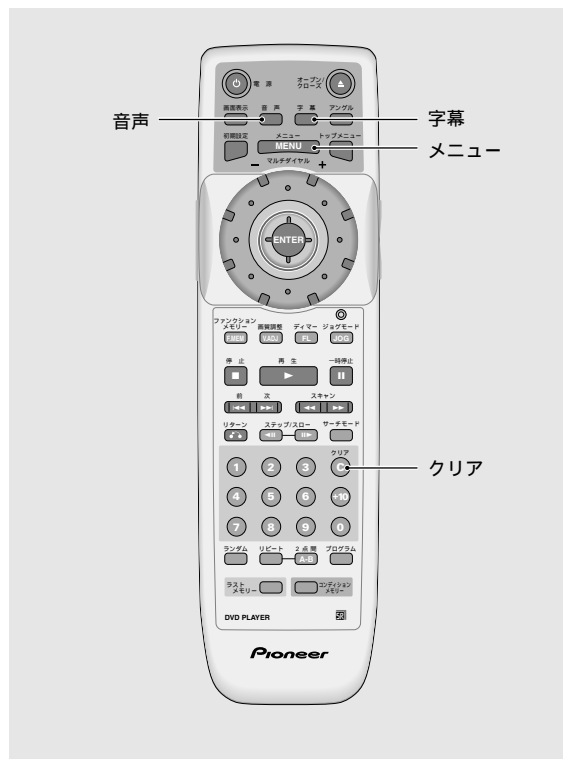
タイトルの先頭の画像を表示します(ディスクナビマークで設定した画像ではありません)。

■ **メニュー画面のページをめくる、または戻すには前(⏮)、または次(⏭)ボタンを押す。**

お知らせ

オリジナルとは
DVD レコーダーで録画して作られたタイトルを「オリジナル」といいます。
プレイリストとは
オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを「プレイリスト」といいます。

再生中に音声/字幕を切り換える

DVDの中には、再生中にリモコンの**音声ボタン/字幕ボタン**で音声/字幕を切り換えることができないディスクがあります(画面に⊘が表示されます)。このようなときはディスクのメニュー画面で切り換えてください(**P.26**)。

再生中に音声を切り換える

DVD CD VIDEO CD DVD-RW MP3

複数の言語で音声が記録されているDVDでは、再生する**音声言語**を変更することができます。音声が二重音声(二カ国語)で録画されているDVD-RWでは、**主音声、副音声、主/副音声**を切り換えることができます。ビデオCD、CD、またはMP3では**ステレオ、1/L(左)、2/R(右)**を切り換えることができます。

再生中に音声ボタンを押す

現在選択している音声が表示されます。押すたびに音声が切り換わります。

再生中に字幕を切り換える

DVD

複数の言語で字幕が記録されているDVDでは、表示する字幕を変更することができます。

再生中に字幕ボタンを押す

現在選択している字幕が表示されます。押すたびに字幕表示が切り換わります。

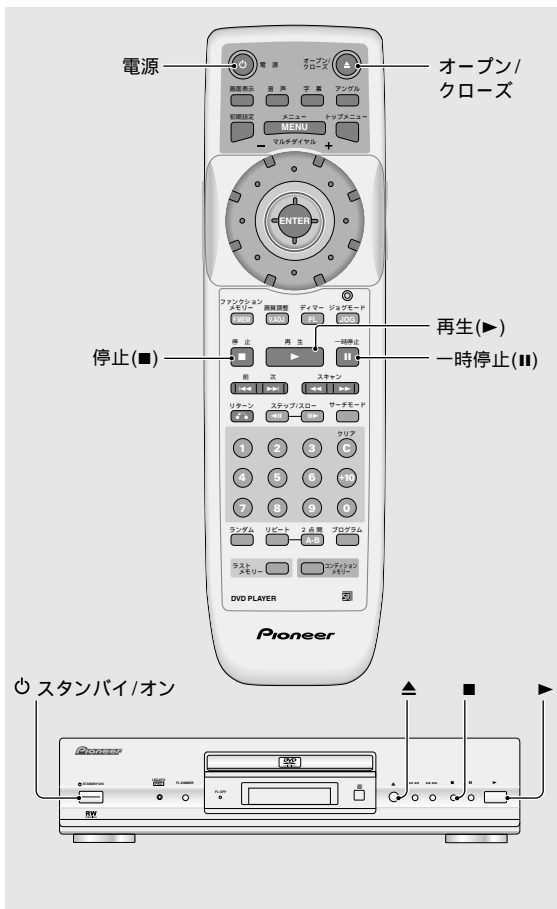
■ 字幕を消すには

以下のいずれかの操作をします。

- **字幕ボタンを押した後にクリアボタンを押す。**
- **字幕ボタンを押してオフを選ぶ。**

お知らせ

- ここで切り換えた音声、または字幕の設定は、以下のようなとき初期設定画面(**P.49**)の設定に戻ります。
  - リジューム機能(**P.29**)を解除したとき
  - ディスクを取り出したとき
- 音声がステレオで録画されている DVD-RW では、主音声と副音声の切り換えはできません。
- 再生中のディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。
- カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。

ディスクを一時停止/停止する DVD VIDEO CD DVD-RW MP3

ディスクを一時停止する(静止画再生)

再生中に一時停止(❚❚)ボタンを押す

■通常の再生に戻すには

一時停止中(静止画再生中)に以下のいずれかを押します。

- **再生(►)ボタン押す。**
- **一時停止(❚❚)ボタンを押す。**

ディスクを停止する

再生中に停止(■)ボタンを押す

DVDビデオ、ビデオCD、およびDVD-RWでは、本体の表示窓に"**RESUME**"と表示され、停止した場所を記憶します(リジューム機能)。**DVDオーディオ、CDおよびMP3では、リジューム機能は働きません。**

■停止した場所から再生するには

再生(►)ボタンを押す。

■リジューム機能を解除するには

以下のいずれかの操作をします。

- **ディスクを取り出す。**
- **停止中に停止(■)ボタンを押す。**

ディスクを取り出す

オープン/クローズ(⏏)ボタンを押す

ディスクテーブルが開きます。

電源を切る

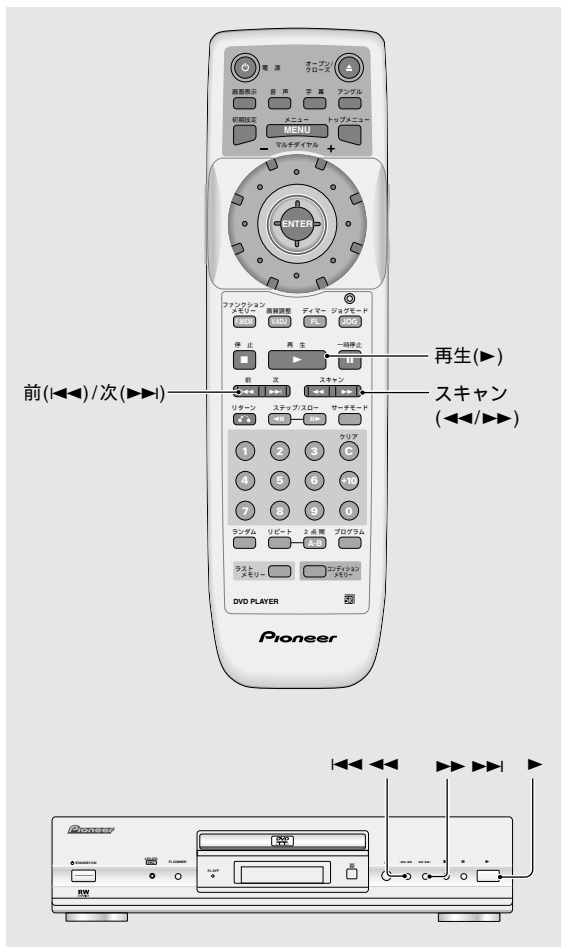
電源ボタンを押す

(本体は⏻**スタンバイ/オンボタン**)

お知らせ

- DVDでは、停止中に**前(I◄◄)ボタン**、または**次(►►I)ボタン**を押すと、それまで再生していたタイトルの始めから再生します。リジューム機能を解除しているとき**再生(►)ボタン**を押すとタイトル１の始めから再生します。
- リジューム機能はディスクを取り出すと解除されます。ディスクの入れ替えをしても、停止した場所や再生中の設定を記憶させておきたいときはラストメモリー機能(**P.42**)をお使いください。

お使いになる前に
各部の名称とはたらき
接続と準備
基本的な使いかた
便利な使いかた
いろいろな設定
その他

便利な使いかた

見たいチャプター(場面)/トラック(曲)にスキップする(頭出し)

DVD　CD　VIDEO CD　DVD-RW　MP3

チャプター(場面)/トラック(曲)を頭出しします。 押した回数だけスキップします。

■ 見たいチャプター(場面)/ トラック(曲)に進むには

再生中に次(►►I)ボタンを押す。
(本体では►► ►►Iボタン)

■ 見たいチャプター(場面)/ トラック(曲)に戻るには

再生中に前(I◄◄)ボタンを押す。
(本体ではI◄◄ ◄◄ボタン)

ディスクを早送り/早戻しする(スキャン)

DVD　CD　VIDEO CD　DVD-RW　MP3

早送りする

再生中にスキャン(►►)ボタンを押し続ける(本体では►► ►►Iボタン)

- スキャン中は画面に「►►1」が点滅します。
- 1回押すと早送りを続けます。

早戻しする

再生中にスキャン(◄◄)ボタンを押し続ける(本体ではI◄◄ ◄◄ボタン)

- スキャン中は画面に「◄◄1」が点滅します。
- 1回押すと早戻しを続けます。

通常の再生に戻す

見たい/聞きたい場所で指を離す

早送り/早戻しの速さを変える

DVDビデオ/DVD-RWでは3段階(**1** → **2** → **3**)、DVDオーディオでは2段階(**2**→ **3**)、ビデオCD/CDでは(**1**→ **2**)に切り換えることができます。MP3では1段階のみとなります。

■ 早送りの速さを変えるには

再生中にスキャン(►►)ボタンを押す
押すたびに速さが以下のように切り換わります。

►►1 → ►►2 → ►►3
→ 速い

■ 早戻しの速さを変えるには

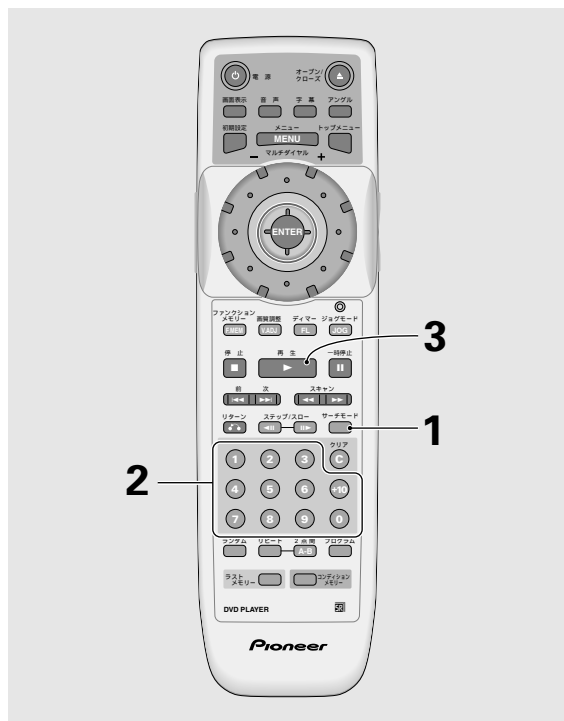
再生中にスキャン(◄◄)ボタンを押す
押すたびに速さが以下のように切り換わります。

◄◄1 → ◄◄2 → ◄◄3
→ 速い

■ 通常の再生に戻すには

再生(►)ボタンを押す

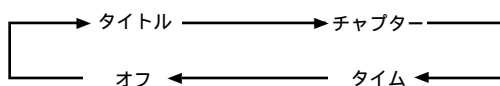
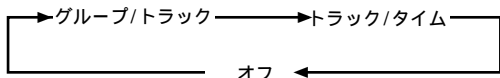
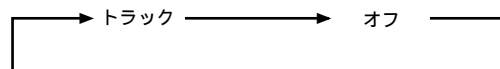
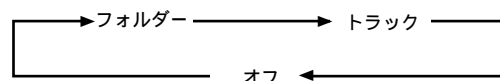
見たい/聞きたい場所を探す(サーチモード) DVD CD VIDEO CD DVD-RW MP3

DVD/DVD-RWのタイトル/チャプター(場面)、DVDオーディオのグループ/トラック、ビデオCD/CDのトラック(曲)、MP3のフォルダー/トラック(曲)、さらに再生を開始する時間を指定(タイムサーチ)して、見たい/聞きたい場所を探すことができます。

1 サーチモードボタンを押す

サーチの種類を選びます。押すたびに以下のように切り換わります。

DVD VIDEO　DVD-RW

DVD AUDIO　VIDEO CD

グループ/トラック → トラック/タイム → オフ

CD

MP3

2 希望のタイトル/グループ、チャプター、フォルダー、トラック、または再生を開始したい時間を数字ボタンで選ぶ

■タイトル/グループ/フォルダー、またはチャプター(場面)/ トラック(曲)番号で探す

[例]

- 3を選ぶには、**3**を押します。
- 10を選ぶには、**1**と**0**を押します。
- 37を選ぶには、**3**と**7**を押します。

■時間で探す(タイムサーチ)

[例]

- 21分43秒を選ぶには、**2**、**1**、**4**、**3**と押します。
- 1時間14分(=74分00秒)を選ぶには、**7**、**4**、**0**、**0**と押します。

3 再生(►)ボタンを押す

指定した場所から再生します。

お知らせ

- DVDオーディオの中には静止画が入っているものがあります(**P.82**)。静止画の種類によっては**サーチモードボタン**を押すと、静止画の番号「ページ」を指定して探すことができます。
- ディスクによってはメニューを使ってサーチできるものもあります。メニュー画面を表示させて選択してください(**P.26, 27**)。
- ディスクによってサーチ機能を禁止しているものがあります。その場合は⊘マークが画面に表示されます。
- DVDまたはビデオCDでは指定時間より少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- DVDでは、停止中にタイムサーチはできません。
- ビデオCDのPBC再生中、タイムサーチはできません。PBC再生を解除してください(**P.27**)。
- DVDオーディオ、CD、およびMP3ではタイムサーチはできません。

MP3ナビゲーターを使って聞きたいトラック(曲)を探す

1 メニューボタンを押す

ＭＰ3ナビゲーター画面が表示されます。

[例]

現在再生中のフォルダー番号ートラック番号　**選択しているフォルダー内の総トラック数**

総フォルダー数

2 ジョイスティックを上下に動かして聞きたいフォルダーを選ぶ

ジョイスティックを上/下に押し続けると、前/次のフォルダーの選択画面に切り換わります。

■ さらにトラック(曲)を選んで再生するには

[例]　**プログラムマーク**

以下の手順で操作します。

① **ジョイスティックを右に動かす。**
選択項目がトラックの欄に移動します。

② **ジョイスティックを上下に動かして聞きたいトラックを選ぶ。**
ジョイスティックを上/下に押し続けると、前/次のトラックの選択画面に切り換わります。

③ **選んだトラックをプログラムして再生したいときはプログラムボタンを押す。**

- 押した回数だけプログラムします。
- **「プログラムマーク( )」**が表示されます。プログラム再生するには**メニューボタン**を押してＭＰ３ナビゲーター画面を消してから、『***MP3をプログラム再生する***』(**P.40**)をご覧ください。

3 決定ボタンを押す

選んだフォルダー/トラックを再生します。
本機に対応していないフォルダー/トラックを選んだときは**「UNPLAYABLE MP3 FORMAT」**と表示され、自動的にそのフォルダー/トラックを飛ばして再生を始めます。

ダイレクトサーチ

数字ボタンを押すだけで見たい/聞きたい場所を探すことができます。

■ DVD のタイトル / グループ、またはチャプター(場面)をダイレクトサーチするには

以下の操作をします。

- **停止中に希望のタイトル/グループを数字ボタンで選ぶ。**
- **再生中に希望のチャプターを数字ボタンで選ぶ。**

[例]

- ３を選ぶには、**3**を押します。
- １０を選ぶには、**+10**と**0**を押します。
- ３７を選ぶには、**+10**、**+10**、**+10**と**7**を押します。

■ CD VIDEO CD MP3 のトラック(曲)をダイレクトサーチするには

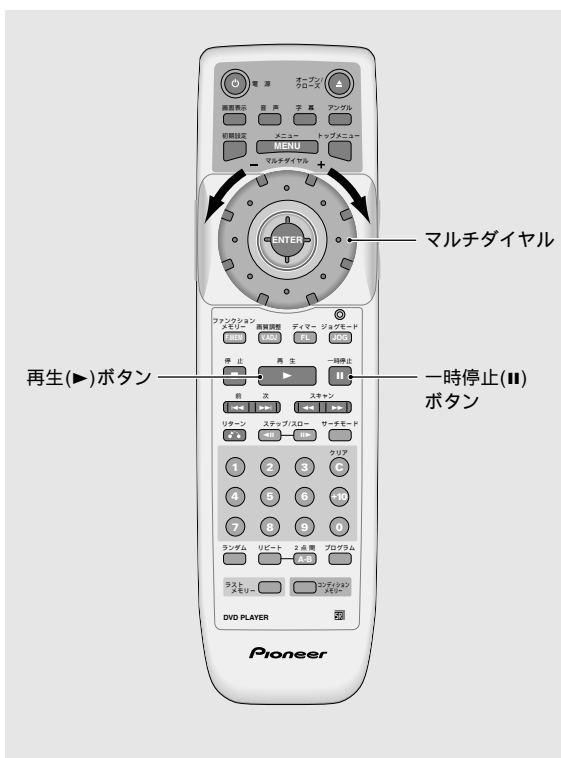
希望のトラックを数字ボタンで選ぶ。

■ DVD-RW のタイトルをダイレクトサーチするには

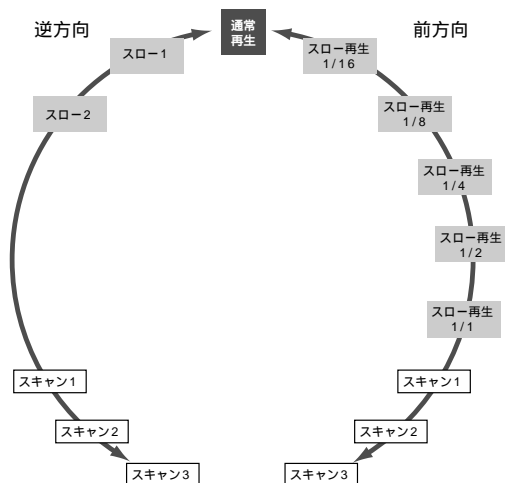
希望のタイトルを数字ボタンで選ぶ。

マルチダイヤルを使った特殊再生

DVD　CD　VIDEO CD　DVD-RW　MP3

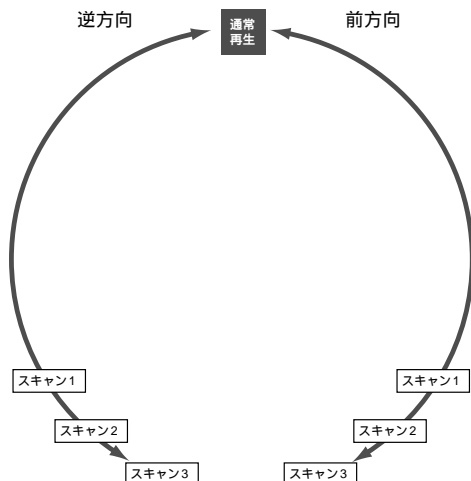
マルチダイヤルを使って、再生する速度を様々に変えて楽しむことができます。速度を変える再生には「スロー再生」、「コマ送り再生」と「スキャン」があります。特殊再生中は音声が出力されません。

スロー再生/スキャン

■マルチダイヤルをゆっくり回したとき

マルチダイヤルを左右にゆっくり回すと、下記のように再生速度を変えることができます。

■特殊再生の方向をすばやく変えたいとき

例えば、前方向のスロー再生中にすぐに逆方向のスロー再生をしたいときなどは、**一時停止(II)ボタン**を押してからマルチダイヤルを反対の方向に回すと、再生方向が変わります。

■マルチダイヤルをすばやく回したとき

マルチダイヤルを左右にすばやく回すと、下記のようにスキャンの速度を変えることができます。

お知らせ

- DVD ビデオ /DVD-RW では 3 段階(**1 → 2 → 3**)、DVDオーディオでは2段階(**2 → 3**)、ビデオCD/CDでは(**1 → 2**)に切り換えることができます。MP3 では 1 段階のみとなります。
- CD、およびMP3ではスキャンのみできます。スキャン中は音声が出力されます。
- ビデオ CD では逆方向のスロー再生はできません。
- DVD ではタイトルによってスロー再生ができないものもあります。その場合はマークまたはマークが画面に表示されます。
- ディスクによっては逆方向のスロー再生がスムーズにできないことがあります。
- 逆方向のスロー再生時は通常の再生時より画質が落ちることがあります。
- 逆方向のスロー再生または逆方向のスキャン中、字幕は表示されません。
- ディスクによってはチャプターの変わり目などで自動的に通常の再生に戻ってしまうことがあります。

お使いになる前に
各部の名称とはたらき
接続と準備
基本的な使いかた
便利な使いかた
いろいろな設定
その他

■ **通常の再生に戻すには**

- スロー再生またはスキャン中、マルチダイヤルを現在再生している方向の逆へすばやく回すと通常の再生に戻ります。
- スロー再生、またはスキャン中に**再生(►)ボタン**を押しても通常の再生に戻ります。

コマ送り再生

ジョグモードボタンを押してジョグモードインジケーターを点灯させると、マルチダイヤルを使ってコマ送り再生を楽しむことができます。

1 ジョグモードボタンを押す

ジョグモードインジケーターが点灯します。

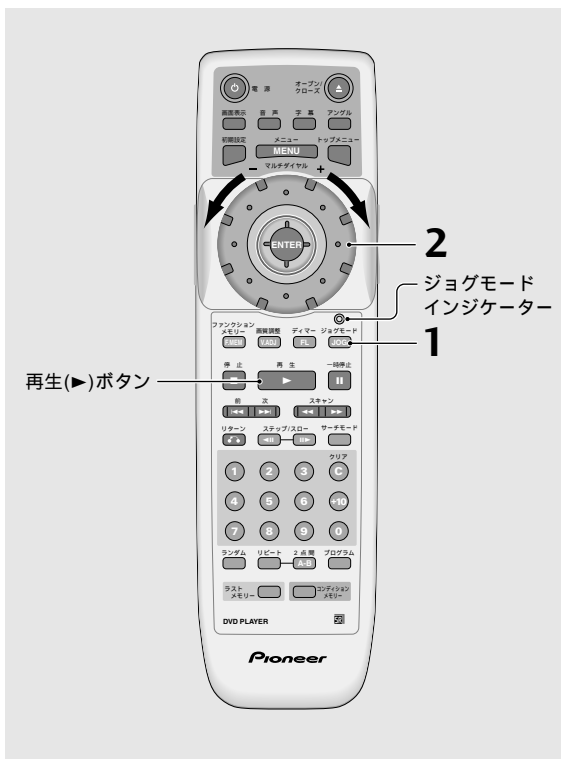
2 マルチダイヤルを回す

- 右に回すとコマ送り、左に回すとコマ戻しをします。
- 回す速度に合わせて再生の速度も変わります。
- 回すのを止めると一時停止になります。

■ **通常の再生に戻すには**

再生(►)ボタンを押します。

■ **コマ送り再生を解除するには**

ジョグモードボタンを押します。
ジョグモードインジケーターが消えます。

お知らせ

- DVD ではタイトルによってコマ送り再生、コマ戻し再生ができないものもあります。このようなときテレビ画面上にが表示されます。
- ビデオ CD ではコマ戻し再生ができません。
- コマ戻し再生時は通常の再生時より画質が落ちることがあります。

画像をコマ送りで見る(コマ送り再生)

DVD VIDEO CD DVD-RW

一時停止中(静止画再生中)にステップ/スロー(II►)を押す

押すたびにコマ送りします。

■ 逆方向にコマ送り再生するには

一時停止中(静止画再生中)にステップ/スロー(◄II)を押す。

- 押すたびに逆方向へコマ送りします。
- ビデオCDでは逆方向のコマ送り再生はできません。

■ 通常の再生に戻すには

再生(►)ボタンを押す。

画像をスローで見る(スロー再生)

DVD VIDEO CD DVD-RW

1 再生中にステップ/スロー(II►)ボタンを押す

一時停止(静止画)になります。

2 ステップ/スロー(II►)ボタンを押し続ける

「1/16」と表示されます。指を離してもスロー再生を続けます。

■ 逆方向にスロー再生するには

一時停止中(静止画再生中)にステップ/スロー(◄II)ボタンを押し続ける。

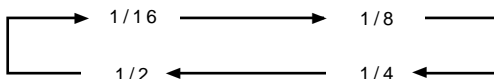
ビデオCDでは逆方向のスロー再生はできません。

■ 通常の再生に戻すには

再生(►)ボタンを押す。

スロー再生の速さを変える

スロー再生中にステップ/スロー(II►)ボタンを押す

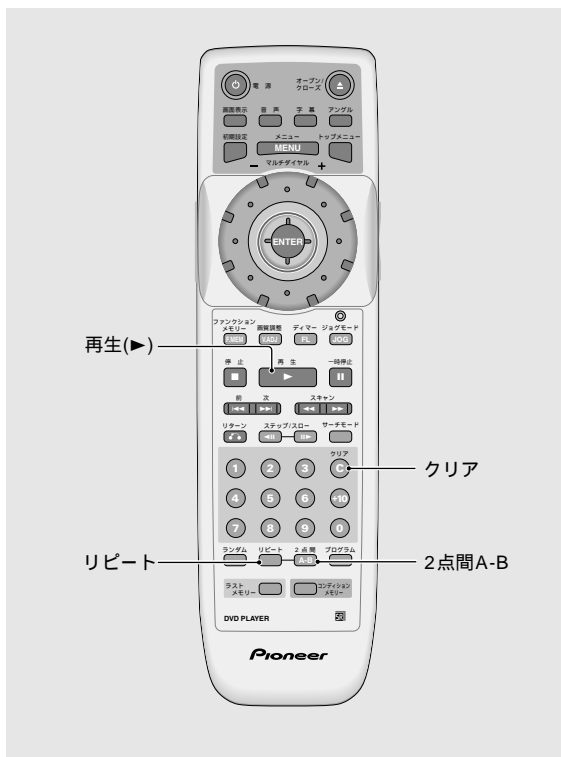
押すたびに以下のように速さが変わります。

■ 逆方向のスロー再生の速さを変えるには

スロー再生中にステップ/スロー(◄II)ボタンを押す。

押すたびに**[スロー1]⟺[スロー2]**が切り換わります。

お知らせ

- DVDオーディオの中には、静止画が入っているものがあります(**P.82**)。静止画の種類によっては、**ステップ/スロー(◄II/II►)ボタン**で静止画を進めたり、戻したりすることができます。
- マルチダイヤルを使ってもスロー再生やコマ送り再生を楽しむことができます(**P.33, 34**)。
- 静止画、コマ送り、スロー再生中は音声が出力されません。
- 静止画の画像にブレがあるときは、初期設定画面の**[ポーズモード]**を**[フィールド]**に切り換えてください(**P.66**)。
- ディスクによっては、逆方向のコマ送り再生中、画像が揺れることがあります。
- ディスクによっては、静止画再生、コマ送り再生、スロー再生のできないディスクもあります。その場合は マークまたは マークが画面に表示されます。
- スロー再生、コマ送り再生については**「*マルチダイヤルを使った特殊再生*」**の**お知らせ**もあわせてご覧ください(**P.33, 34**)。

繰り返し再生する(リピート再生) DVD CD VIDEO CD DVD-RW MP3

再生中のチャプター(場面)/トラック(曲)を繰り返す

■ DVD CD VIDEO CD DVD-RW MP3 を再生しているとき

リピートボタンを1回押す。

再生中のタイトル/グループ/フォルダーを繰り返す

■ DVD DVD-RW MP3 を再生しているとき

リピートボタンを2回押す。

再生中のディスクを繰り返す

■ CD VIDEO CD を再生しているとき

リピートボタンを2回押す。

■ MP3 を再生しているとき

リピートボタンを3回押す。

指定した範囲を繰り返す(A-Bリピート)

DVD CD VIDEO CD DVD-RW

■指定した範囲を繰り返し再生するには

以下の手順で操作します。

① **再生中に繰り返したい範囲の始めで2点間A-Bボタンを押す。**

② **繰り返したい範囲の終わりで2点間A-Bボタンを押す。**

■指定した箇所に戻って再生するには

① **再生中に戻る先として指定したい箇所で2点間A-Bボタンを押す。**

② **戻りたいときに再生(►)ボタンを押す。**

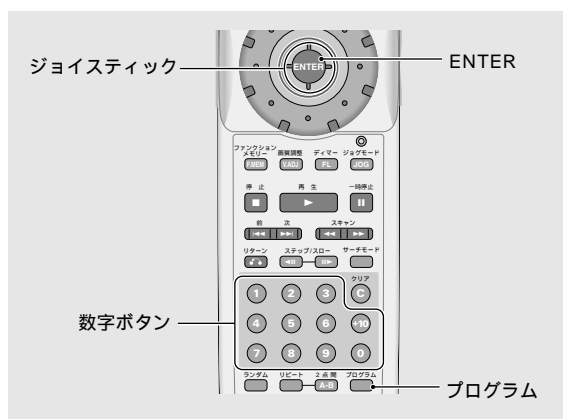
通常の再生に戻す

クリアボタンを押す、またはリピートボタンを押してオフを選ぶ

お知らせ

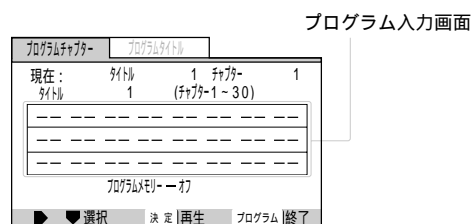
- DVDではタイトル/グループによってはリピート再生のできないものがあります。そのときは、マークが表示されます。
- DVD-RWでは異なるタイトルをまたいでA-Bリピート再生することはできません。
- ビデオCDのPBC再生中はリピート再生できません。PBC再生を解除してから**リピートボタン**を押します(**P.27**)。
- MP3ではA-Bリピート再生できません。
- プログラム再生中(**P.37**)に**リピートボタン**を押すと、プログラムを繰り返し再生します。
- リピート再生中にアングルを切り換える(**P.45**)とリピート再生は解除されます。

順番を変えて再生する（プログラム再生） DVD CD VIDEO CD MP3

DVDのタイトル/チャプター(場面)、DVDオーディオのグループ/トラック、ビデオCD/CDのトラック(曲)、MP3のフォルダー/トラック(曲)を希望の順番に並べ換えて再生します。最大24ステップまでプログラムできます。

DVD CD VIDEO CD のタイトル/グループ、チャプター(場面)、またはトラック(曲)をプログラムする

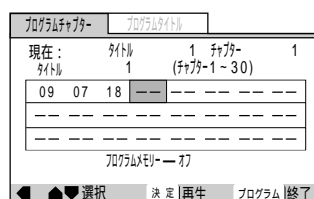
1　プログラムボタンを押す

- プログラム画面が表示されます。
- DVDのときは**ジョイスティック**を左右に操作して[**プログラムチャプター**]、または[**プログラムタイトル**]を選びます。ビデオCD、またはCDのときは手順3に進みます。

[例]DVDのプログラム画面

2　ジョイスティックを下に操作する

- プログラム入力画面に移動します。
- [**プログラムチャプター**]の画面でタイトル番号を変えたいときは、以下の手順で操作します。
  ① **プログラム入力画面の最上段でカーソル(▲)ボタンを押す。**
  ② **数字ボタンを押してタイトルを指定する。**

2　プログラム再生したい順にタイトル/グループ、チャプター、またはトラックを数字ボタンで指定する

[例]
9、7、18の順にプログラムするには、**9、7、+10、8**と押します。

3　ENTERボタン、または再生(▶)ボタンを押す

- プログラムした順に再生が始まります。
- プログラム再生しないでプログラム画面を終了するには**プログラムボタン**を押します。
- プログラム画面が自動的に消えたときはプログラムの内容が無効になります。有効にするには**ENTERボタン**、または**再生(▶)ボタン**を押してプログラム再生を始めるか、または**プログラムボタン**を押してプログラム画面を終了してください。

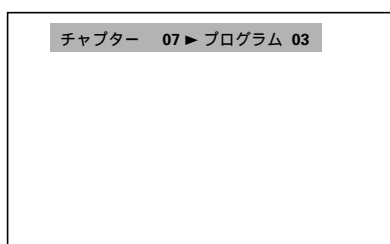
お知らせ

- DVD-RW をプログラム再生することはできません。また、DVD の中にもプログラム再生をすることができないものがあります。このようなディスクのときは画面に マークが表示されます。
- ビデオ CD の PBC 再生中にプログラム再生することはできません。PBC 再生を解除してください(**P.27**)。
- チャプターをプログラムするときは、同じタイトル内のチャプターのみプログラムすることができます。
- チャプターが変わるときに、プログラムしていないチャプターの画面が見えることがあります。これは故障ではありません。

再生中のチャプター(場面)/トラック(曲)を確認しながらプログラムする

1 プログラムしたいチャプター、またはトラックを再生中にプログラムボタンを1秒以上押す

- 以下の画面が表示されるまで押し続けてください。
- さらにプログラムに追加したいときはこの操作を繰り返します。

チャプター　07 ▶ プログラム　03

2 プログラムボタンを押す

- プログラム画面の内容を確認します。再生を始めるには**ENTERボタン**を押します。
- プログラム再生しないでプログラム画面を終了するには**プログラムボタン**を押します。

お知らせ

- すでに[**プログラムタイトル**]が入力されているときは、チャプターではなくタイトルがプログラムされます。
- チャプタープログラムされているタイトルと現在再生しているタイトルが異なるときは が表示され、プログラムを入力することができません。
- すでにプログラムが入力されているときは、そのプログラムの後ろに追加されます。
- すべてのプログラム(24ステップ)が入力されているときは が表示され、プログラムを追加することはできません。

プログラムの内容を確認する

プログラムボタンを押す

DVDでは、**ジョイスティック**を左右に操作して[**プログラムチャプター**]、または[**プログラムタイトル**]を選びます。

プログラムを挿入する

1 プログラム入力画面で挿入したい場所をジョイスティックを上下左右に操作して指定する

2 数字ボタンでプログラムしたいタイトル、チャプター/トラックを選ぶ

一時停止をプログラムする

プログラム入力画面で一時停止(II)ボタンを押す

「**II**」が表示されます。一時停止をプログラムすると、次にプログラムしたタイトル、チャプター/トラックの始めで一時停止します。

お知らせ

- プログラムの最初と最後に一時停止をプログラムすることはできません。
- 一時停止を連続して2回以上プログラムすることはできません。

通常の再生に戻す

プログラム再生中にクリアボタンを押す

プログラムを消去する

■プログラムの内容を 1 つずつ消去するには

① **プログラム入力画面で消去したい番号をジョイスティックを上下左右に操作して選ぶ。**

② **クリアボタンを押す。**
指定された番号が消去され、後ろの番号が1つ前に移動します。

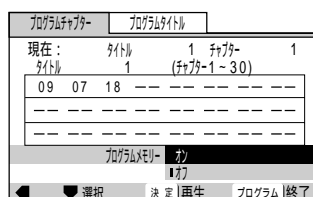
■プログラムした内容をすべて消去するには

以下のいずれかの操作をします。

- **ディスクを取り出す。**
- **停止中にクリアボタンを押す。**

DVD のプログラムを記憶する（プログラムメモリー）

本機はディスクを取り出しても、最大24枚までDVDビデオのプログラムを記憶することができます。プログラムを記憶すると、次に同じディスクを再生したとき、プログラム再生を開始します。記憶されたディスクが24枚を超えると、自動的に古いディスクの記憶から消去されます。

1 プログラム画面で[プログラムメモリー]の[オン]をジョイスティックを上下左右に操作して選ぶ

2 ENTERボタンを押す

プログラム画面が自動的に消えたときはプログラムの内容が無効になります。有効にするには**ENTERボタン**、または**再生(▶)ボタン**を押してプログラム再生を始めるか、または**プログラムボタン**を押してプログラム画面を終了してください。

■記憶したプログラムを消去するには

以下の手順で操作します。

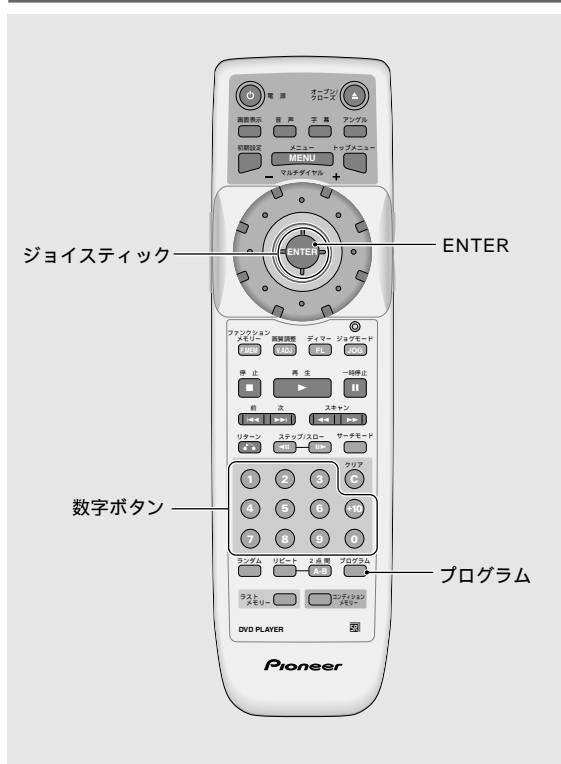
① **[プログラムメモリー]の[オフ]を選ぶ。**

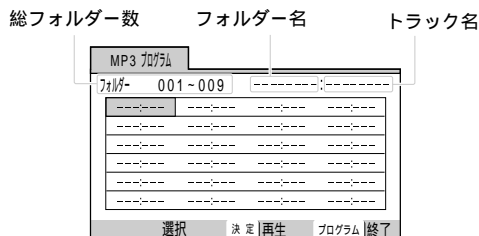
② **ENTERボタンを押す。**
プログラム入力画面に数字は残ったままです。

お知らせ

エフディスクについて

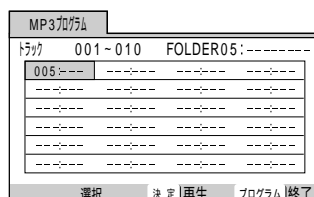
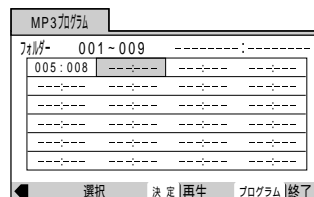
この機能を使うと、(株) フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたエフディスクをお客様のお好み順に再生することができます。また、ディスク内の最大 24 個のチャプターを指定した順に並び替えてプレーヤーのメモリーに記録することにより、次回ディスクを挿入すると自動的にその順番に再生することもできます。最大 24 枚のディスクについてお好み順を記録しておくことができ、各ディスクで指定した並び順がプレーヤー内に記録されます。

MP3 をプログラム再生する

1 プログラムボタンを押す

- プログラム画面が表示されます。
- すでにMP3ナビゲーターでトラックをプログラムしているときはフォルダー、およびトラック番号がプログラム画面に表示されます。

2 プログラム再生したい順にフォルダー/トラック番号を数字ボタンで指定する

■ フォルダー＝5、トラック＝8をプログラムするには

以下の手順で操作します。

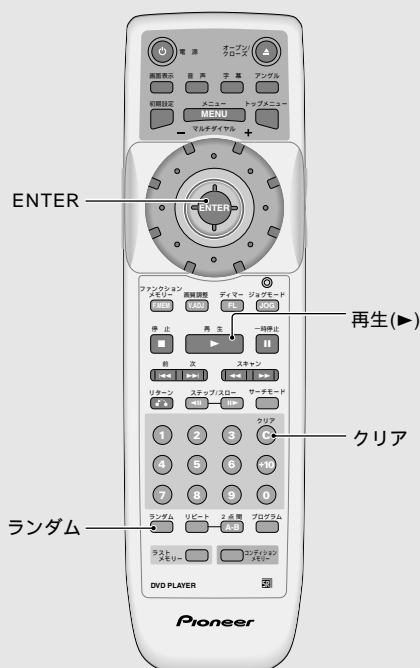
① **数字ボタンの5を押す。**
フォルダー5がプログラムされます。

② **数字ボタンの8を押す。**
トラック8がプログラムされます。

- さらにプログラムするには手順2の操作を繰り返します。
- 2桁以上の数字を入力するときは**+10**を使います。

3 決定ボタンを押す

- プログラムした順に再生を始めます。
- プログラム再生をしないでプログラム画面を終了するときは**プログラムボタン**を押します。

お知らせ

- MP3 ナビゲーターでもトラックをプログラムすることができます(**P.32**)。
- フォルダー名、またはトラック名が半角英数字以外でつけられているときは、**「F_001」**、**「T_001」**のように番号で表示されます。半角英数字以外を表示することはできません。

順不同に再生する(ランダム再生) DVD CD VIDEO CD MP3

DVD を順不同に再生する

■再生中のタイトル内のチャプター(場面)/ グループ内のトラック(曲)を順不同に再生するには

以下の手順で操作します。
① **ランダムボタンを押す。**
② **ENTERボタンを押す。**
すべてのチャプター/トラックの再生が終了すると自動的に停止します。

■再生中のタイトル / グループを順不同に再生するには

以下の手順で操作します。
① **ランダムボタン2回を押す。**
② **ENTERボタンを押す。**
すべてのタイトル/グループの再生が終了すると自動的に停止します。

CD VIDEO CD MP3 を順不同に再生する

■ トラック(曲)を順不同に再生するには

再生中にランダムボタンを押す。
すべてのトラックの再生が終了すると自動的に停止します。

通常の再生に戻す

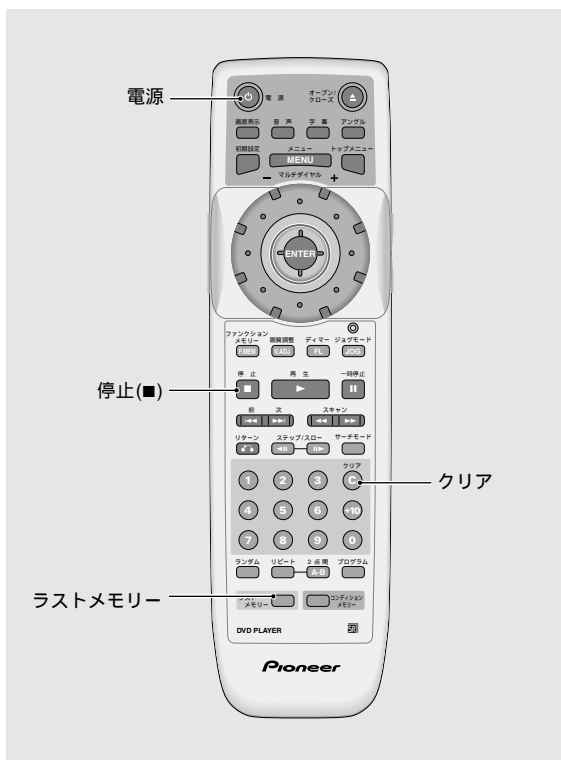
クリアボタンを押す

現在再生されているタイトル/グループ、チャプター、またはトラックから通常の再生に戻ります。

お知らせ

- DVD-RWをランダム再生することはできません。また、DVDにもランダム再生できないものがあります。
- ランダム再生中に**次(►►I)ボタン**、または**ランダムボタン**を押すと、順不同に次の曲または場面を選んで再生します。
- ランダム再生中に**前(I◄◄)ボタン**を押すと、現在再生中の曲または場面を始めから再生し直します。
- ビデオCDのPBC再生中はランダム再生することはできません。PBC再生を解除してください(**P.27**)。
- チャプター、またはトラックをプログラム再生中(**P.37**)にランダム再生することはできません。
- ランダム再生を繰り返すことはできません。

前に見たディスクのつづきを再生する(ラストメモリー) DVD VIDEO VIDEO CD

つづきから見る場所、およびそのときの設定内容をDVDビデオは5枚まで記憶させておくことができます。リジューム機能(**P.29**)と違い、ディスクを取り出しても記憶は消去されません。ビデオCDは1枚記憶させておくことができます。ビデオCDではディスクを取り出すと記憶が消去されます。

つづきから見る場所を記憶する

1 再生中にラストメモリーボタンを押す

- 画面に「**ラストメモリー**」と表示されます。
- 押すたびに記憶する場所が変わります。

2 電源ボタンを押して電源を切る、または停止(■)ボタンを押す

つづきから見る

1 つづきから見る場所を記憶させたディスクを入れる

DVDビデオにはディスクを入れると自動的に再生を始めるものがあります。このときは、**停止(■)ボタン**を押してください。

2 ラストメモリーボタンを押す

記憶している場所から再生を始めます。

ラストメモリーを消去するには

1 つづきから見る場所を記憶させたディスクを入れる

DVDビデオには、ディスクを入れると自動的に再生を始めるものがあります。このときは、**停止(■)ボタン**を押してください。

2 ラストメモリーボタンを押す

記憶している場所から再生を始めます。

3 ラストメモリーボタンを押す

画面に「**ラストメモリー**」と表示されます。

4 画面に「ラストメモリー」と表示されている間にクリアボタンを押す

表示窓の「**LAST**」インジケーターが消灯します。

お知らせ

- DVD-RWではラストメモリーすることができません。また、DVDビデオにもラストメモリーできないものがあります。
- DVD ビデオでは、記憶された枚数が 5 枚を超えると古い記憶から消去されます。
- ビデオ CD の PBC 再生中は、ラストメモリー再生ができない場所があります。PBC 再生を解除してください(**P.27**)。

よく見るDVDの設定を記憶させる(コンディションメモリー) DVD VIDEO

よく見るDVDビデオの設定内容を最大15枚まで記憶させることができます。電源を切ったり、ディスクを取り出しても記憶は消去されません。

ディスクが入っている状態でコンディションメモリーボタンを押す

画面に**「コンディションメモリー」**と表示されます。記憶できる設定は以下の6つです。

- ・音声言語(**P.28**)
- ・字幕言語(**P.28**)
- ・マルチアングル(**P.45**)
- ・画質調整(**P.63**)
- ・画面表示(**P.66**)
- ・視聴制限(**P.71**)

記憶してあるディスクを入れると画面に**「コンディションメモリー」**と表示され、自動的に記憶された設定になります。表示窓には**「COND.」**インジケーターが点灯します。

■コンディションメモリーを消去するには

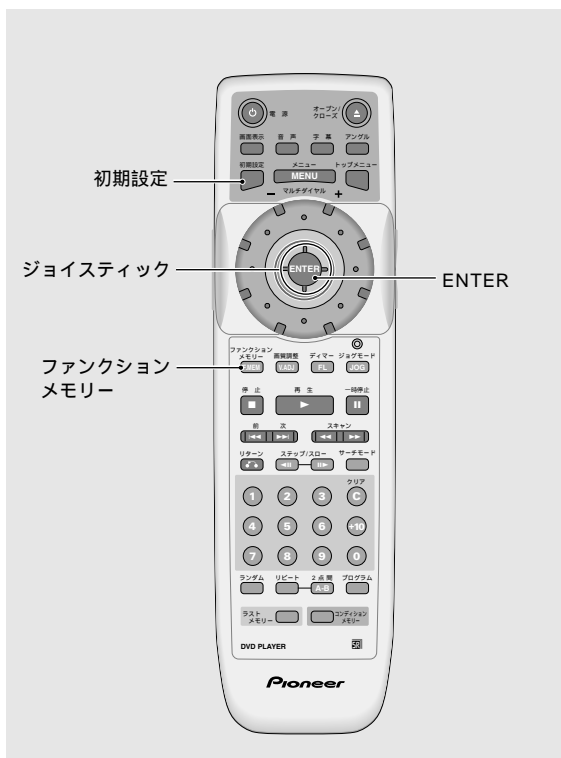
① **コンディションメモリーボタンを押す。**
画面に**「コンディションメモリー」**と表示されます。

② **画面に「コンディションメモリー」と表示されている間にクリアボタンを押す。**
表示窓の**「COND.」**インジケーターが消灯します。

お知らせ

- DVD-RWではコンディションメモリーすることができません。また、DVDビデオにもコンディションメモリーできないものがあります。
- 一度記憶された設定は、何度再生しても保持されます。
- 記憶された枚数が15枚を超えると古い記憶から消去されます。
- ディスクによってはコンディションメモリーで記憶された設定が自動的に切り換わるものがあります。

よく変更する初期設定の項目を記憶する (ファンクションメモリー)

初期設定の項目をすぐに呼び出すのに便利です。5項目まで記憶させることができます。

記憶のしかた

1　初期設定ボタンを押す

2　記憶したい項目を選ぶ

3　ファンクションメモリーボタンを押す

記憶されると、項目の左側に**「FM」**が表示されます。

4　手順2〜3を繰り返す

5　初期設定ボタンを押す

呼び出しかた

1　初期設定画面が出てない状態でファンクションメモリーボタンを押す

項目のリストを表示します。

2　項目を選び、ENTERボタンを押す

初期設定画面が表示されます。この画面で設定や変更ができます。

3　初期設定ボタンを押す

■記憶した内容を消すには

1. **初期設定ボタンを押します。**
2. **消したい項目を選びます。**
3. **ファンクションメモリーボタンを押します。**
   項目の左側の**「FM」**表示が消えます。
4. **初期設定ボタンを押します。**

お知らせ

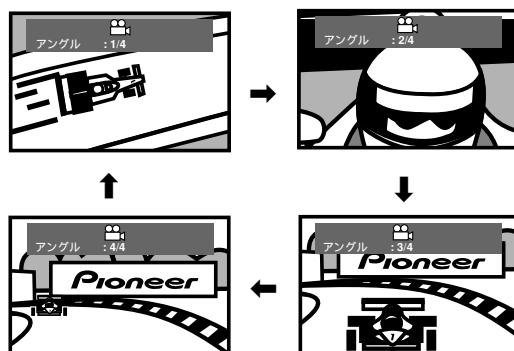
- 5 項目を超えて記憶させようとすると、画面にメッセージまたは が表示されます。その場合は、記憶した内容を消してから記憶してください。
- ディスク再生中に設定できない項目(灰色表示の項目)を記憶することはできません。このとき画面にメッセージまたは が表示されます。詳しくは、**P.87** の**「*初期設定画面の項目別さくいん*」**をご覧ください。

映像のアングルを切り換える（マルチアングル） DVD

複数の方向（アングル）から映した映像を収録したDVDは、再生中にアングルを切り換えることができます。複数のアングルが収録されたDVDビデオのジャケットには🎥マークが付いています。

1 再生中、🎥マークが表示されたら、アングルボタンを押す

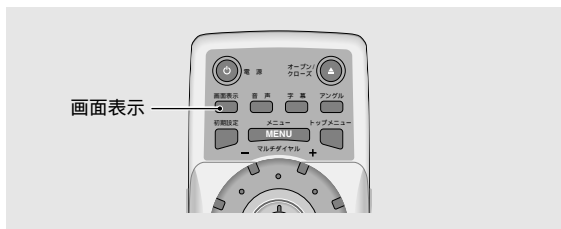
2 さらにアングルボタンを押して、お好みのアングルを選ぶ

押すたびに、アングルが切り換わります。

お知らせ

- ディスクによっては🎥マークが表示されてもアングルを切り換えることができないものがあります。
- 複数のアングルが収録されている場所にくると、🎥マークが画面に表示されます。
- 一時停止中にアングルを切り換えると、一時停止は解除されます。
- 一部の DVD ビデオでは、ディスクのメニュー画面でもアングルを切り換えることができます。
- 🎥マークを表示させたくないときは、初期設定画面の［**アングルインジケーター**］を［**オフ**］にします（**P.66**）。

お使いになる前に
各部の名称とはたらき
接続と準備
基本的な使いかた
便利な使いかた
いろいろな設定
その他

ディスクの情報を見る DVD VIDEO CD VIDEO CD DVD AUDIO DVD-RW MP3

DVD/DVD-RWのタイトル/チャプター情報、ビデオCD/CDのトラック情報、またはMP3のフォルダー/トラック情報を見ることができます。停止中にはトータル情報が表示され、再生中にはより細かなディスク情報が見られます。表示される情報の内容はディスクの種類(DVD、DVD-RW、ビデオCD、 CD、およびMP3)によって異なります。

再生中にディスクの情報を見る

再生中に画面表示ボタンを繰り返し押す

押すたびに以下のようなディスク情報が画面上部に表示されます。**画面表示ボタン**を押し続けている間、ディスクの残り時間を表示します。

■ DVD VIDEO の情報を見る

タイトルによってはチャプターや時間が表示されないものがあります。

現在のタイトル番号－チャプター番号　現在のタイトル経過時間

再生　2-2　0.30
タイトル　-121.13/121.43

タイトルの残り時間　タイトルの総時間

↓

現在のタイトル番号－チャプター番号　現在のタイトル経過時間

再生　2-2　0.30
チャプター　0.10/　5.43

チャプターの経過時間　チャプターの総時間

↓

↓

■ DVD AUDIO の情報を見る

現在のグループ番号－トラックー番号　現在のトラック経過時間

再生　2-2　0.30
トラック　-121.13/121.43

トラックの残り時間　トラックの総時間

↓

現在のグループ番号－トラック番号　現在のトラック経過時間

再生　2-2　0.30
グループ　0.10/　5.43

グループの経過時間　グループの総時間

↓

現在のグループ番号－トラック番号　現在のトラック経過時間

再生　2-2　0.30
転送レート:　8.6

転送レート[1]のレベルメーター　転送レートのレベル

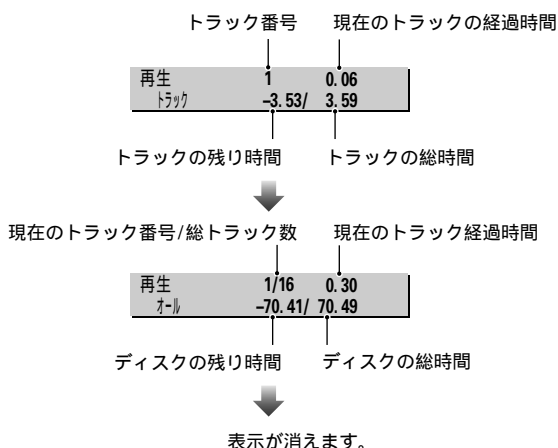
↓

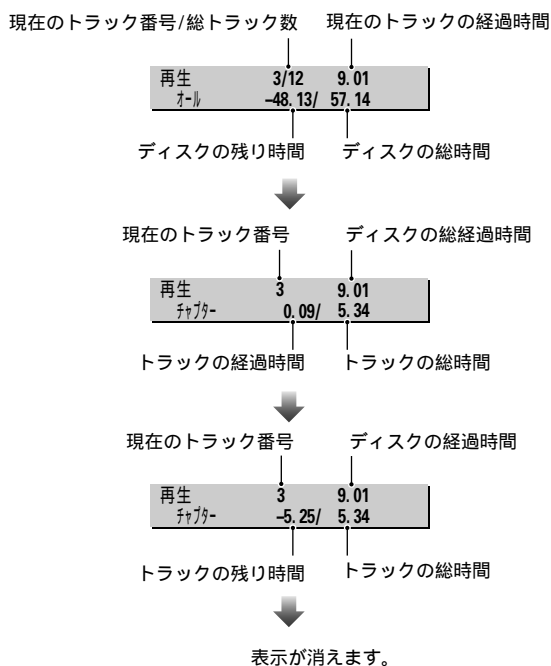
表示が消えます。

*1 転送レートとは、DVDに記録されている画像の情報量を示す値です。転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが、画質が良いとはかぎりません。

*2 24コマフィルムのプログレッシブ映像信号が記録されているときに表示されます。

■ CD の情報を見る

ファイナライズしていないCD-Rを再生中は、表示されないディスク情報があります。

■ VIDEO CD の情報を見る

ビデオCDのPBC再生中は、表示されないディスク情報があります。

■ DVD-RW の情報を見る

*1 P.46をご覧ください。
*2 「PL」と表示されたときは、プレイリストを再生していることを表わしています(P.27)。

現在のタイトル番号－チャプター番号　現在のタイトルの経過時間
オリジナルを再生しています*2

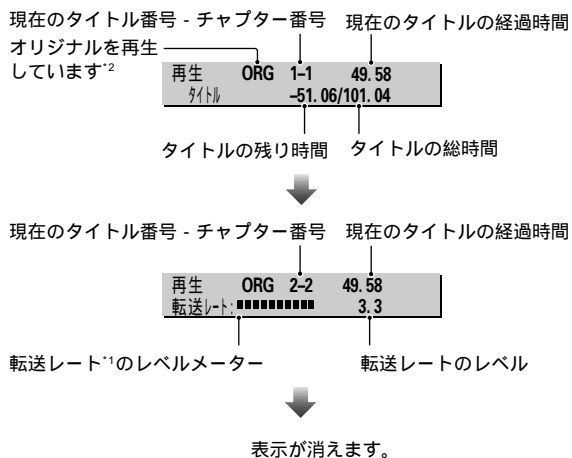
再生 ORG 1-1 49.58
タイトル -51.06/101.04

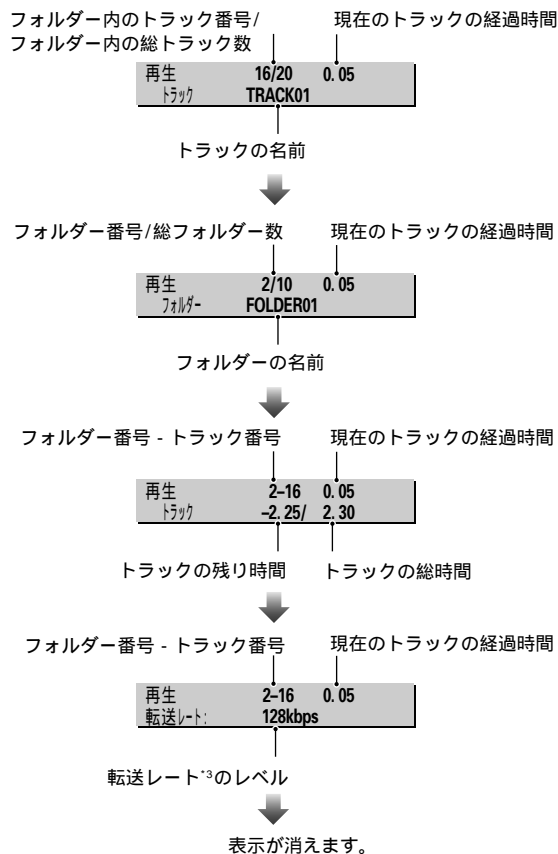
タイトルの残り時間　タイトルの総時間

現在のタイトル番号－チャプター番号　現在のタイトルの経過時間

再生 ORG 2-2 49.58
転送レート: ▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮ 3.3

転送レート*1のレベルメーター　転送レートのレベル

表示が消えます。

■ MP3 の情報を見る

*3 転送レートとは、MP3情報量を示す値です。

停止中にディスクの情報を見る

停止中に画面表示ボタンを押す

- ディスク情報の画面が表示されます。
- ディスクの情報が2ページ以上あるときは、**ジョイスティック**を右に操作すると次の画面が表示されます。

■ DVD VIDEO の情報を見る

タイトル番号、およびそれぞれのタイトル内のチャプター数が表示されます。

情報が2ページあり、現在の画面がその1ページ目であることを表します。

■ DVD AUDIO の情報を見る

グループ番号、およびそれぞれのグループ内のトラック数が表示されます。

インフォメーション: DVD

グループ	トラック	グループ	トラック
01	1~30	06	1~10
02	1~21	07	1~13
03	1~46	08	1~ 5
04	1~12	09	1~ 4
05	1~ 8		

1/2 画面表示 終了

ボーナスグループは、キーナンバーを入力する前は灰色で表示されます。入力方法については**P.74**をご覧ください

■ CD VIDEO CD の情報を見る

トラック番号、およびそれぞれのトラックの総時間が表示されます。

■ DVD-RW の情報を見る

ディスクの名前、オリジナル、およびプレイリストのタイトル数が表示されます。ディスクの名前が半角英数字、または半角カタカナ以外でつけられているときは文字が「・」で表示されます。

DVD-RWに名前を付けていると表示されます。

■ MP3 の情報を見る

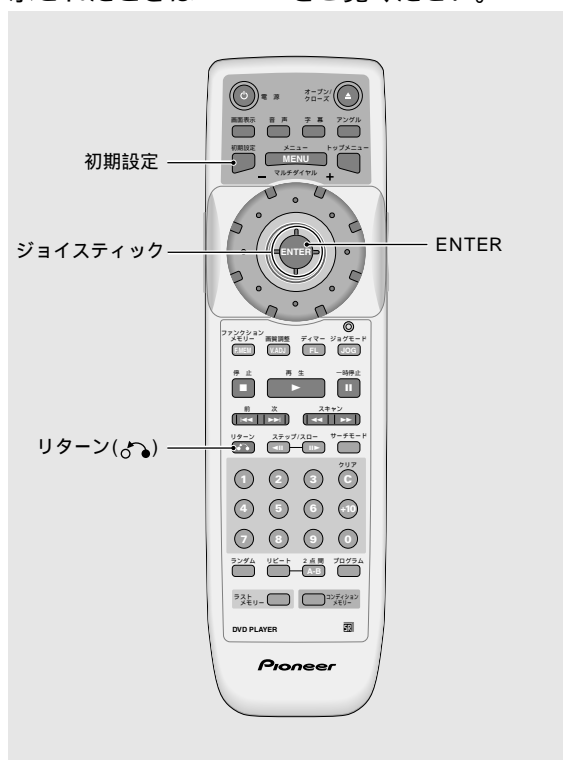
フォルダー番号、およびそれぞれのフォルダー内のトラック数が表示されます。

■ ディスク情報を消すには

画面表示ボタンをもう一度押します。ディスク情報の画面が消えます。

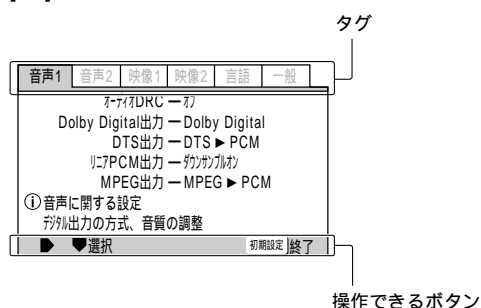
いろいろな設定

初期設定画面の操作のしかた

セットアップナビゲーター (**P.21**)よりも多くの設定をすることができます。工場出荷時の設定を変更したいとき、またはお好みの設定にしたいときに行います。ここでは初期設定画面の基本的な操作方法や使用するボタンの位置について説明します。セットアップナビゲーターを使った設定を行っていないときはセットアップナビゲーターの画面が表示されます。セットアップナビゲーターの画面が表示されたときは**P.21~24**をご覧ください。

電源が入っていることを確認してください(P.25)。

1 初期設定ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

[例]

2 ジョイスティックを左右に操作してタグ([音声1]、[音声2]、[映像1]、[映像2]、[言語]、[一般])を選ぶ

3 ジョイスティックを上下に操作して設定したい項目を選ぶ

4 ジョイスティックを右に操作して選択肢の欄にカーソルを移動させる

5 ジョイスティックを上下に操作して設定したい選択肢にカーソルを合わせる

6 決定ボタンを押す

他の項目の設定を変更するときは、手順**2~7**を繰り返します。

7 初期設定ボタンを押す

初期設定画面が消えます。

お知らせ

- 初期設定を操作すると、リジューム機能(**P.29**)が解除される場合があります。
- 初期設定を終了してから再び初期設定画面を表示させると、前回設定していた初期設定画面を表示します。

いろいろな設定

■ ディスクに種類によって変更することができる / できない設定

ディスクの種類(DVD/ビデオCD/CD/MP3)によって、変更できる設定が異なります。本機では選択項目の左にあるインジケーターの色で確認することができます。以下の表をご覧ください。変更した設定はすぐに有効になります。

インジケーターの色	ディスクの種類
青色	DVDのみ
橙色	CD/DVDオーディオ
黄色	DVD/ビデオCDのみ
緑色	ディスクの種類にかかわらず設定することができます。

■ DVD にのみ設定できる項目

DVD以外のディスク(ビデオCD/CD/MP3)が入っているとき、DVDにのみ設定できる項目を選ぶと、画面の右上に青いDVDマークが表示されます。

■ 再生中に変更できない項目

再生中に設定を変更できない項目は、灰色で表示されます。

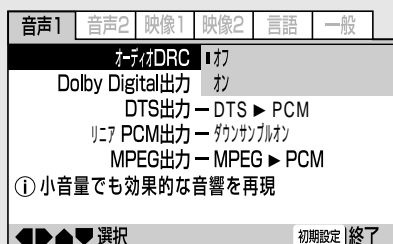
より細やかな設定をする

初期設定画面には**[ベーシック]**と**[エキスパート]**の2種類があります。**[初期設定モード]**を**[エキスパート]**に設定すると、より細やかな設定をすることができます。この取扱説明書では、エキスパートで設定する項目に エキスパート がついています。**初期設定画面の操作のしかたについてはP.49をご覧ください。**

エキスパート：
より細やかな設定を表示します。

ベーシック：
基本的な設定を表示します。選択している項目の簡単な説明(ⓘ)が表示されます(**出荷時の設定**)。

ドルビーデジタル音声を調節する

音声の強弱の幅(ダイナミックレンジ)を調節します。オーディオDRC(ダイナミックレンジコントロール)を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。例えば、テレビの会話などが聞きづらいときや深夜に映画を見るようなときに変更します。

オフ：
オーディオ DRC を解除します。高音質のスピーカーで臨場感が得られます(**出荷時の設定**)。
オン：
爆発音などの大音量を抑え、台詞などが聞きやすくなります。

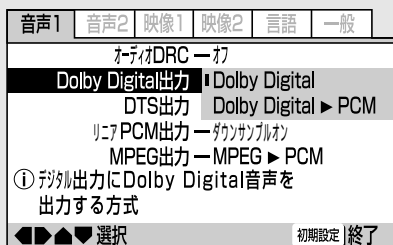
お知らせ

- オーディオ DRC はドルビーデジタル音声にのみ働きます。
- ディスクによっては効果の少ないものがあります。
- オーディオ DRC はデジタル出力(光、同軸)端子から出力される音声にも効果があります。ただし、**[Dolby Digital 出力]**を**[DolbyDigital▶PCM]**に設定して(**P.51**)、さらに**[デジタル出力]**を**[オン]**に設定してください。
- オーディオ DRC の効果は、お使いのスピーカーまたは AV アンプの音量設定などによっても変わります。実際に設定を切り換えながら、一番効果的な設定をお選びください。

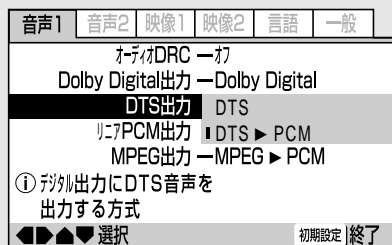
デジタル出力の設定をする

本機に接続したアンプが対応しているデジタル信号の種類を選択することができます。お手持ちのアンプの取扱説明書もあわせてお読みください。**初期設定画面の操作のしかたについてはP.49をご覧ください**。

ドルビーデジタル出力

接続したアンプがドルビーデジタルに対応していない場合は、設定を**[Dolby Digital▶PCM]**にします。

Dolby Digital：
ドルビーデジタル対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選びます(**出荷時の設定**)。
Dolby Digital▶PCM：
Dolby Digital 信号をリニア PCM 信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していないアンプと接続したときに選びます。

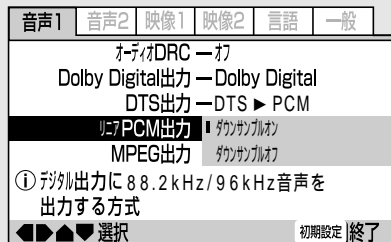
DTS出力

接続したアンプがDTS対応のときは、設定を**[DTS]**にします。

DTS：
DTS 対応アンプ、またはデコーダーと接続したときに選びます。
DTS ▶ PCM：
DTS 信号をリニア PCM 信号に変換して出力します。DTS に対応していないアンプと接続したときに選択します(**出荷時の設定**)。

ご注意

DTSに対応していないアンプに接続しているとき[DTS出力]の設定で[DTS]を選択するとノイズが発生することがあります。

リニアPCM出力

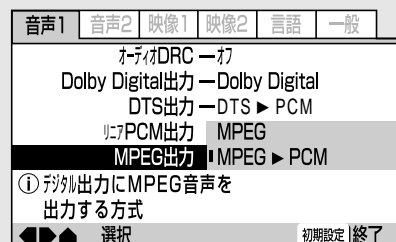
接続したアンプが96kHz対応のときは、設定を**[ダウンサンプルオフ]**にします。

ダウンサンプルオン：
各系統の音声周波数を 48kHz/44.1kHz にダウンサンプルして出力します。96kHz に対応していないアンプなどと接続したときに選びます(**出荷時の設定**)。

ダウンサンプルオフ：
96kHz 対応アンプまたは DAC と接続したときに選びます。

お知らせ

- **[ダウンサンプルオフ]**に設定していても、ディスクによっては、48kHz/44.1kHz に強制的に変換されたり、デジタル出力されないことがあります。
- DVDオーディオの 192/176.4kHzサンプリング音声のとき、**[ダウンサンプルオフ]**に設定していてもデジタル出力は強制的に 96/88.2kHz にダウンサンプルされます。

MPEG出力

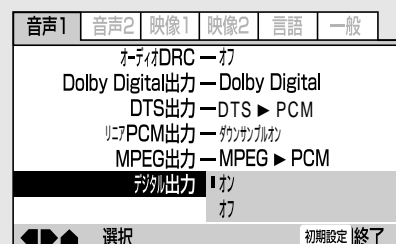
接続したアンプがＭＰＥＧ対応のときは、設定を**[MPEG]**にします。

MPEG：
MPEG 対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。

MPEG▶PCM：
MPEG 信号をリニア PCM 信号に変換して出力します。MPEG に対応していないアンプと接続したときに選びます(**出荷時の設定**)。

お知らせ

DVD オーディオでは、ダウンミックスを禁止しているものがあります。この場合、デジタル音声は出力されません。

デジタル出力をオン/オフする エキスパート

デジタル音声出力端子から音声信号を出力しないように設定することができます。

オン：
後面のデジタル出力端子から音声を出力します(**出荷時の設定**)。

オフ：
後面のデジタル出力端子から音声が出力されません。

[音声2]の設定をする

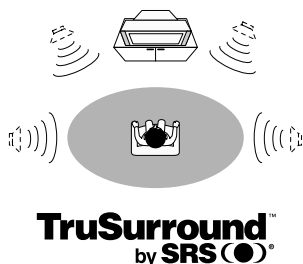
初期設定画面の操作のしかたについてはP.44をご覧ください。

サラウンド(立体音場)にする

この機能は、音声出力(2CH)端子に接続しているときのみ働きます。DVDオーディオ音声、DTS音声、リニアPCM96kHz 音声、CD、またはMP3を再生しているときは働きません。初期設定画面の操作のしかたについては**P.49**をご覧ください。

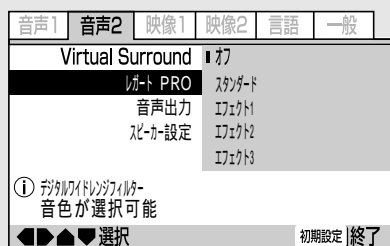
オフ：
働きません(**出荷時の設定**)。
TruSurround：
立体音場(サラウンド)になります。

■ TruSurround について

本機はSRS社のTruSurround技術により、サラウンドエンコードされたステレオ音声やマルチチャンネル音声を処理して、2つの前面スピーカーのみで、より臨場感のある立体音場が再現できるバーチャルサラウンド(仮想立体音場)を実現しています。

お知らせ

- DVDのドルビーデジタル、またはビデオCDの2ch音声ディスクで[**TruSurround**]を選択するとデジタル出力端子の音声レベルが小さくなります。また、ドルビーデジタル2ch以外のディスクで[**音声1**]の[**Dolby Digital出力**]の設定を[**Dolby Digital►PCM**]にしているとき、[**TruSurround**]を選択するとデジタル出力端子から音声が出力されなくなります。
- ディスクによってはサラウンド効果の少ないものがあります。

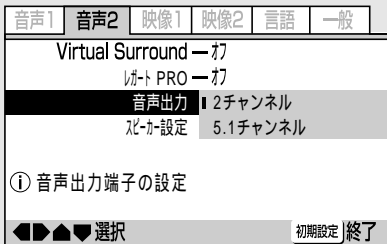
レガートPRO機能

4種類の音色の中から、お好みやお聞きになる曲に合わせて設定してください。それぞれの音色の特徴は下記をご覧ください。

オフ：
働きません(**出荷時の設定**)。
スタンダード：
臨場感があり、音に芯があるように感じられる音色です。
エフェクト1：
明るく華やかな音色です。
エフェクト2：
量感があり、柔らかく落ち着いた音色です。
エフェクト3：
重厚でバランスのとれた音色です。

お知らせ

- レガートPRO機能の切り換えによるオーディオ用デジタルフィルタの設定は、主に音声帯域外の特性を変化させています。
- 試聴環境によっては、音色の変化が分かりにくいことがあります。
- レガートPRO機能の効果はフロントスピーカーから出力される音声にのみ有効です。
- レガートPRO機能は192kHzで収録されたDVDオーディオには効果がありません。

音声出力の設定

AVアンプの5.1チャンネルアナログ音声入力端子と接続したときに、設定を**[5.1チャンネル]**にします。

2 チャンネル：
音声出力(フロント)端子に接続したとき選択します(**出荷時の設定**)。
5.1 チャンネル：
マルチチャンネル音声出力端子に接続したとき選択します。

お知らせ

DVDビデオのスライドショー(**P.82**)の再生中に音声を切り換えると、しばらくの間(最大約 30 秒間)音声が途切れることがあります。

■ 出力される音声について

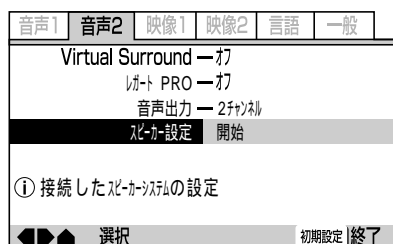
音声の種類		出力モード	音声出力(5.1CH)			
			フロント左/右	センター	サラウンド左/右	サブウーファー
DVD	ドルビーデジタル	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2
		2CH	2CHダウンミックス左/右	–	–	–
	ドルビーデジタルカラオケ	5.1CH	左/右	–	–	–
		2CH	左/右	–	–	–
	リニアPCM(DVDビデオ)	5.1CH	左/右	–	–	–
		2CH	左/右	–	–	–
	リニアPCM(DVDオーディオ)	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2
		2CH	2CHダウンミックス *1 左/右	–	–	–
	MPEG	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2
		2CH	左/右	–	–	–
	DTS	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2
		2CH	2CHダウンミックス左/右	–	–	–
CD		5.1/2CH	左/右	–	–	–
ビデオCD		5.1/2CH	左/右	–	–	–
DVD-RW		5.1/2CH	左/右 *3	–	–	–

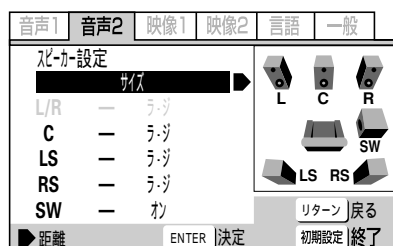
*1 DVDオーディオではダウンミックスを禁止しているものがあります。その場合は、[2チャンネル]に設定していてもダウンミックスされません。また、ダウンミックスを禁止しているディスクではデジタル音声は出力されません。
*2 超低域成分
*3 モノラル音声のときもフロント左/右から出力されます。

- 表の■の部分は音声が出力されません。
- ディスクに一部のチャンネルが記録されていない場合は、そのチャンネルから音声は出力されません。

スピーカーの設定をする

音声出力(5.1CH)端子にAVアンプを接続しているときに設定します。また適切なサラウンド効果を得るために、接続しているスピーカーまでの距離を設定します。**デジタル出力端子にAVアンプを接続しているときは、AVアンプ側でスピーカーの設定をしてください。**

音声1 音声2 映像1 映像2 言語 一般
Virtual Surround ― オフ
レガート PRO ― オフ
音声出力 ― 2チャンネル
スピーカー設定 開始
ⓘ 接続したスピーカーシステムの設定
選択 初期設定 終了

1 ジョイスティックを上下左右に操作して[音声2]➡[スピーカー設定]➡[開始]と選び、ENTERボタンを押す

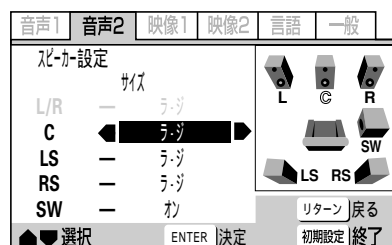
設定画面になります。

2 ジョイスティックを上下に操作してスピーカーの種類を選びカーソルを下へ移動する

フロントスピーカー(L/R)のサイズは**[ラージ]**に固定されます。

C　：センタースピーカー
LS　：左サラウンドスピーカー
RS　：右サラウンドスピーカー
SW　：サブウーファー

3 ジョイスティックを左右に操作してスピーカーのサイズ、または接続しているか、していないかを選ぶ

LSとRSは同時に切り換わります。

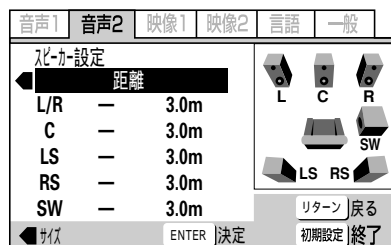
音声1 音声2 映像1 映像2 言語 一般
スピーカー設定
サイズ
L/R ― ラージ
C ラージ
LS ― ラージ
RS ― ラージ
SW ― オン
選択 ENTER 決定 リターン 戻る 初期設定 終了

ラージ　：大きいスピーカーに接続しているときに選択します(目安としてコーンサイズ12cm以上)。(出荷時の設定)

スモール：小さいスピーカーに接続しているときに選択します(　目安としてコーンサイズ12cm未満)。

オフ　：接続していないときに選択します。

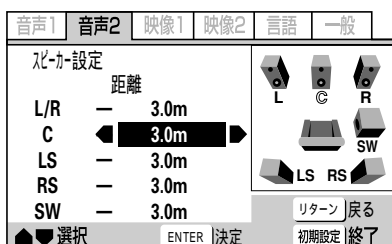
オン　：サブウーファー(SW)を接続しているときに選択します。

4 ジョイスティックを上に操作して[サイズ]の位置にカーソルを戻す

5 ジョイスティックを右に操作して[距離]にする

6 ジョイスティックを上下に操作してスピーカーの種類を選びカーソルを下へ移動する

7 ジョイスティックを左右に操作してスピーカーの距離を設定する

リスニングポジションから各スピーカーまでの距離を設定します。設定した距離に合わせて、各スピーカーから出力されるディレイタイム(遅延時間)が設定されます。設定できる範囲は以下のとおりです。

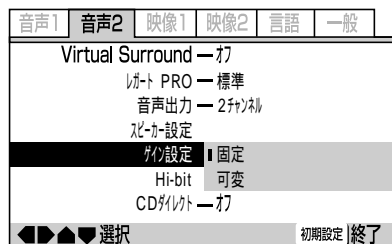
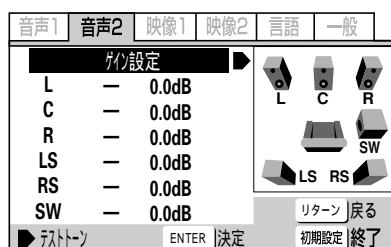
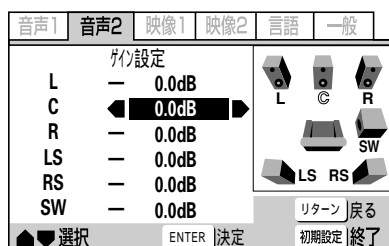
[L/R]　　　：0.3m～9m
[C]、[SW]　：[L/R]の距離から－2m～+2m
[LS]、[RS]：[L/R]の距離から－6m～+2m

* マルチチャンネル再生では、スピーカーの距離の設定はすべてのスピーカーは同一サイズ、リスニングポジションから等距離にあることが理想です。それが不可能な場合、各スピーカーにディレイタイム(遅延時間)を設定することで、仮想的に理想の視聴空間を実現します。

8 ENTERボタンを押して設定を決定する

お知らせ

- 設定するスピーカーは、画面上で文字が青く表示されている箇所です。
- **[オン]**に設定すると、画面上でスピーカーの絵が黄色くなります。
- **[SW(サブウーファー)]**を**[オン]**にすると、LFE(超低音の効果音)はサブウーファーから出力します。
- DVDオーディオの場合は、スピーカーの設定に関係なく、常に**[ラージ]**で再生されます。
- DVDオーディオの場合は、**[C(センター)]**、**[LS(左サラウンド)]**、および**[RS(右サラウンド)]**のいずれかを**[オフ]**に設定すると、強制的に2CHにダウンミックスされた音声が出力されます(ただしダウンミックスを禁止しているDVDオーディオを除く)。

スピーカーの出力レベルを調整する(ゲイン設定) エキスパート

音声出力(5.1CH)端子にAVアンプを接続している場合に設定します。各スピーカーの出力を設定して、それらを確認することができます。出荷時の設定は**[固定]**です。出力レベルを調整するときは**[可変]**を選びます。

■ [可変]を選んだとき

1 ジョイスティックを上下に操作してスピーカーの種類を選ぶ

2 ジョイスティックを左右に操作して出力レベルを設定する

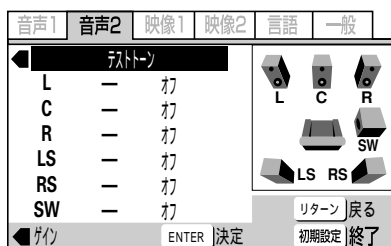
－6.0dB～6.0dBまで0.5dB単位で調整します。

L　：左フロントスピーカー
C　：センタースピーカー
R　：右フロントスピーカー
LS　：左サラウンドスピーカー
RS　：右サラウンドスピーカー
SW　：サブウーファー

3 ジョイスティックを上に操作して[ゲイン設定]の位置にカーソルを戻す

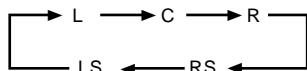
テストトーンを聞くときは手順4へ、テストトーンを聞かずに設定を終了するときは手順7へ進みます。

4 ジョイスティックを右に操作して、[テストトーン]にする

[音声出力]が**[5.1チャンネル]**に設定されていないとテストトーンは出力されません。

5 ジョイスティックを上下に操作してスピーカーの種類を選ぶ

6 ジョイスティックを左右に操作して、設定した出力レベルを確認する（テストトーン）

音の出ているスピーカーは文字が黄色で表示されます。

オフ　：テストトーンは出ません。
オン　：テストトーンが出ます。
オート：テストトーンが以下の順で出ます。

■テストトーンを聞きながら出力レベルを微調整する

1 ジョイスティックを上に操作して[テストトーン]の位置にカーソルを戻す
2 ジョイスティックを左に操作して[ゲイン設定]にする
3 ジョイスティックを操作してテストトーンが出ているスピーカーを選び出力レベルを調整する

■テストトーンを止める

[テストトーン]の選択肢から[オフ]を選ぶ

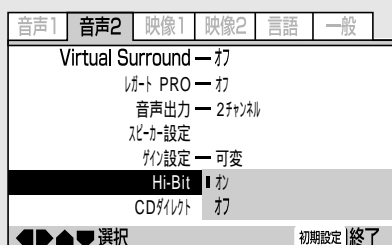
ENTERボタンを押して設定を決定する

お知らせ

- ゲイン設定は**[音声出力]**を**[5.1 チャンネル]**に設定しているときのみ有効です。
- **[可変]**を選んだとき、すべてのスピーカーの出力レベルは一律－6.0dBに設定されます。その数値から、**[C(センター)]**、**[LS(左サラウンド)]**、**[RS(右サラウンド)]**、および**[SW(サブウーファー)]**の各出力レベルを－6.0dB～6.0dBの範囲で調整します。したがって、**[可変]**で設定できる最大出力レベル(6.0dB)とは、[固定]と同じ出力レベルになります。
  そのため、**[可変]**を選んだときはほとんどの場合、[固定]の出力レベルより小さくなります。
- **[音声出力]**の設定(**P.54**)が**[2 チャンネル]**のときや、ディスクを再生しているとき、ディスクテーブルが開いているときは、テストトーンは出力されません。
- **[CDデジタルダイレクト]**の設定(**P.58**)を**[オン]**にしてCDを再生しているときは、ゲイン設定は無効になります。

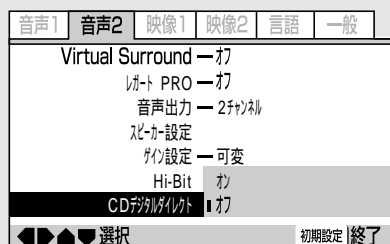
お使いになる前に
各部の名称とはたらき
接続と準備
基本的な使いかた
便利な使いかた
いろいろな設定
その他

Hi-Bit機能 エキスパート

16～20ビットの音声データを24ビットにすることにより、低レベルでも滑らかで繊細な音質を楽しむことができます。

オン：
Hi-Bit 機能が有効になります(**出荷時の設定**)。
オフ：
働きません。

よりよい音質でCDを聞く（CDデジタルダイレクト） エキスパート

CD

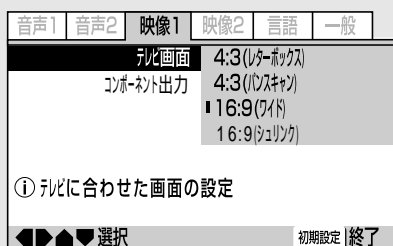
CD再生のときこの設定を**[オン]**にすることで、CD再生に不要な回路をバイパスできるため、高音質の再生が楽しめます。

オン：
CD 再生に不要な回路をバイパスします。
オフ：
DTS CD の再生に必要な回路を経由します(**出荷時の設定**)。

ご注意
DTS CDを再生するとき、この設定を**[オン]**にするとノイズが発生しますので、ご注意ください。

[映像1]の設定をする

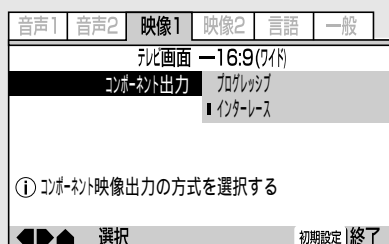
初期設定画面の操作のしかたについてはP.49をご覧ください。

テレビにあわせて映像の縦横比を選ぶ

本機に接続したテレビにあわせて設定します。ワイドテレビに接続しているときは**[16:9(ワイド)]**に設定します。DVDの映画の多くは、ワイドテレビに対応しており、画面の比率(一般にアスペクト比と呼ばれています)が横16：縦9で記録されています。従って、DVDを従来サイズのテレビで見ると、映像が横4：縦3となり縦長になってしまいます。このような見えかたをなくすために、従来サイズのテレビをお使いのときは、**[4:3(レターボックス)]**、または**[4:3(パンスキャン)]**に設定してください。この設定を再生中に変更することはできません。詳しくは**P.60-61**の表をご覧ください。

4:3(レターボックス)：
従来サイズのテレビと接続し、レターボックス方式(次のページ)で見たいときに選択します。
4:3(パンスキャン)：
従来サイズのテレビと接続し、パンスキャン方式(次のページ)で見たいときに選択します。
16:9(ワイド)(出荷時の設定)：
ワイド(16:9)テレビと接続したとき選択します。
16:9(シュリンク)：
接続しているプログレッシブ対応テレビでアスペクトの切り換えができないとき選択します(4:3 の映像が横長(16:9 の映像)になってしまっているが、テレビ側で4:3 の映像に切り換えることができないとき)。

お知らせ
アスペクトの切り換えができるか、できないかはディスクによって異なります。詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください。

映像の出力方式を切り換える

コンポーネント接続したテレビがプログレッシブ入力対応のとき、インターレーススキャンとプログレッシブスキャンのどちらの方式で出力するかを切り換えます。

プログレッシブ：
きめ細かな映像が得られる高画質モードで、プログレッシブ入力対応のテレビまたはプロジェクターのときに設定します。
インターレース：
プログレッシブ入力対応でないテレビまたはプロジェクターのときに設定します(**出荷時の設定**)。

お知らせ
プログレッシブ入力対応でないテレビと接続しているときは、**[プログレッシブ]**を選択しないでください。映像が出力されません。選択してしまったときは映像出力、または S1/S2 映像出力端子に一度、映像ケーブルを接続してください。

■ 本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について

現在一部のプログレッシブ対応テレビは当プレーヤーと完全な互換が取れていない為、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は当プレーヤーの出力をインターレースに切り換えてください。また当社のプログレッシブ対応テレビと当プレーヤーとの互換性についてご質問のある場合は当社のテクニカルサポートセンター(0088-22-8102)へお問い合わせください。

* 当プレーヤーと互換が取れている当社のプログレッシブ対応テレビ
PDP-502HD　PDP-503PRO
PDP-503HD　PDP433HD-U
PDP-433HD-S

■映像の見えかた

[従来サイズのテレビのとき]

DVDに記録されている映像	本機の設定	映像の見えかた
16:9のディスク	4:3(レターボックス)	○ 上下に帯がつきますが正しく見えます
	4:3(パンスキャン)	○ 画面の左右が切れますが正しく見えます
	16:9(ワイド)	× 縦長に見えます このように見える場合は、本機の設定を[**4:3(レターボックス)**]、または[**4:3(パンスキャン)**]に切り換えてください。
4:3のディスク	4:3(レターボックス) 4:3(パンスキャン) 16:9(ワイド) いずれの設定でも	○ 正しく見えます

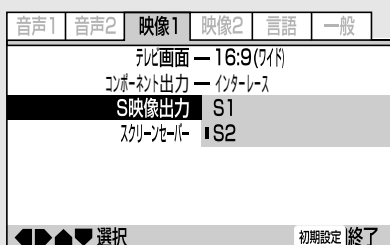
［ワイドテレビのとき］

DVDに記録されている映像	本機の設定	テレビの設定	映像の見えかた
16:9のディスク	16:9（ワイド）	ノーマル	× 縦長に見えます
		フル	○ 正しく見えます ディスクによっては上下に帯がつくことがあります。
4:3のディスク	16:9（ワイド）	ノーマル	○ 左右に帯がつきますが正しく見えます
		フル	× 横長に見えます このように見える場合は、テレビ側の設定をノーマルに切り換えてください。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

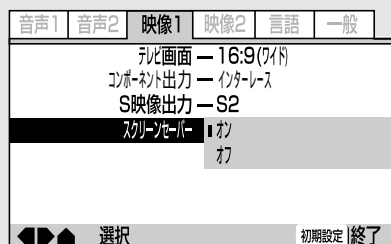
プログレッシブ対応テレビ側でアスペクトの切り換えができないとき、16:9（シュリンク）を選択します。

DVDに記録されている映像	本機の設定	テレビの設定	映像の見えかた
4:3のディスク	16:9シュリンク （プログレッシブ出力のみに有効）	フル	○ 左右に帯がつきますが正しく見えます

S映像出力を切り換える エキスパート

S映像出力端子から出力される映像信号を切り換えることができます。本機とテレビをS映像端子でつないでいるとき、映像を横方向に引き伸ばしてしまうことがあります。このようなときは**[S1]**を選択してください。

S2：
S2 映像信号が出力されます(**出荷時の設定**)。
S1：
S1 映像信号が出力されます。

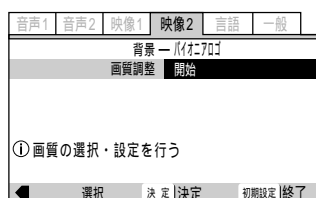
スクリーンセーバーを設定する エキスパート

スクリーンセーバーは、一時停止中など同じ画像が長時間表示されるときの画像の焼き付き(残像現象)を防ぐための機能です。約5分同じ画像が表示されるとスクリーンセーバー機能が働きます。

オン：
スクリーンセーバー機能が働きます(**出荷時の設定**)。
オフ：
スクリーンセーバー機能が働きません。

画質を調整する DVD VIDEO CD DVD-RW

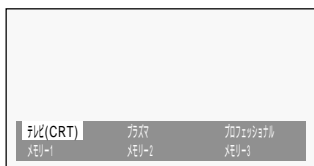
テレビやプラズマディスプレイなど、お使いのモニターの種類に合わせた画質を選ぶことができます。また画質の設定項目をそれぞれお好みに調整して、さらにその設定を記憶しておくこともできます。再生中にテレビの画面を見ながら画質を調整することができます。**初期設定画面の操作のしかたについてはP.49をご覧ください。**

あらかじめ設定されている画質を選ぶ

1 ジョイスティックを上下左右に操作して[映像2]➡[画質調整]➡[開始]と選ぶ

リモコンの**画質調整ボタン**を押して、画質調整画面を表示することもできます。

2 ENTERボタンを押す

画質調整画面が表示されます。

3 [ビデオメモリー選択]を選び、ENTERボタンを押す

4 ジョイスティックを上下左右に操作して好みの画質を選ぶ

- **テレビ(CRT)：**
  テレビ(CRT)モニターに適した画質です。
- **プラズマ：**
  プラズマディスプレイに適した画質です。
- **プロフェッショナル：**
  プロ用モニターに適した設定で、本機による映像信号調整処理を抑えた画質です
- **メモリー1/メモリー2/メモリー3：**
  好みで調整した画質設定を記憶させることができます。次のページの『***好みの画質に調整する***』をご覧ください。

5 ENTERボタンを押す

画質調整画面が消えます。自動的に画質調整画面が消えたときは設定した内容が無効になります。

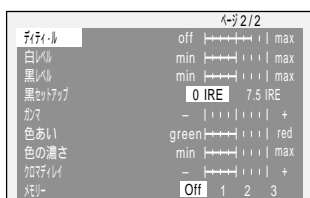
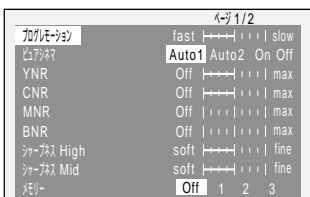
好みの画質に調整する

1 ジョイスティックを上下左右に操作して[映像2]➡[画質調整]➡[開始]と選び、ENTERボタンを押す

- 画質調整画面が表示されます。
- リモコンの**画質調整ボタン**を押して、画質調整画面を表示することもできます。

2 ジョイスティックを上下に操作して[ビデオ設定]を選び、ENTERボタンを押す

3 ジョイスティックを上下に操作して調整する項目を選ぶ

画面表示ボタンを押すと、調整項目の一覧を画面に表示します。もう一度押すと上の画面に戻ります。

■設定項目一覧

プログレモーション：
プログレッシブスキャン映像に効果を与える設定で、動画向き、静止画向きの映像に調整します。プログレッシブが出力されているときのみ調整することができます。

ピュアシネマ：
プログレッシブスキャン回路とDNRの動作をフィルム素材のDVDの再生に最適な設定にします。通常は[Auto1]に設定しますが、映像が不自然なときは[Auto2]、[On]、または[Off]にします(次のページの「***ピュアシネマモードについて***」をご覧ください)。

YNR：
輝度(Y)信号のノイズを軽減します。

CNR：
色(C)信号のノイズを軽減します。

MNR：
映像のモスキートノイズ(MPEG圧縮時に映像の輪郭部分に発生するノイズ)を軽減します。

BNR：
映像のブロックノイズを軽減します。

シャープネス High：
高域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。

シャープネスMid：
中域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。

ディテール：
画像の輪郭を強調します。

白レベル：
白色のレベルを調整します。

黒レベル：
黒色のレベルを調整します。

黒セットアップ：
黒色の浮きを補正し、立体感のある引き締まった映像を再現します。

ガンマ：
画像の暗い部分の見えかたを強調します。

色あい：
緑色と赤色のバランスを調整します。

色の濃さ：
色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。

クロマディレイ：
映像の輝度(Y)信号と色(C)信号のずれを調整します。

4　ジョイスティックを左右に操作して各項目のレベルを調整する

5　手順3~4を繰り返してすべての項目を調整する

設定した内容を記憶させたいときは**ジョイスティック**を上下に操作して[**メモリー**]を選び、**ジョイスティック**を左右に操作して[**1**]、[**2**]、[**3**]のいずれかを選んで記憶させてください。すでに画質設定が記憶されているときは新しい設定内容が上書きされます。

6　ENTERボタンを押す

画質調整画面が消えます。なお、**ENTERボタン**を押さないと、調整した内容を[**メモリー**]に記憶することができません。

お知らせ

- ディスクやテレビ(モニター)によっては効果がはっきりしないことがあります。
- [**テレビ画面**]の設定を[**レターボックス(4:3)**]または[**パンスキャン(4:3)**]にしてDVDを再生しているときに調整項目一覧を表示させると、画面が[**ワイド(16:9)**]に切り換わることがあります。これは故障ではありません。画面を閉じると元の設定に戻ります。

■ピュアシネマモードについて

DVDの映像信号には次の2種類があります。

- 「ビデオ素材」といわれる映像情報を毎秒30コマで記録した信号
- 「フィルム素材」といわれる映像情報を毎秒24コマで記録した信号

フィルム素材である映画フィルムは毎秒24コマ(24Hz)で記録されており、この「ピュアシネマ」モードは、そのような毎秒24コマで記録された映像情報を毎秒60コマのプログレッシブ画面に変換する際に、ディスクに記録された処理情報をもとにオリジナルの映画フィルムに忠実な走査線の構成をします。それにより原画に近い鮮明な映像を楽しむことができます。
この設定は通常、[**Auto1**]でお楽しみください。
ディスクによっては輪郭がギザギザになったり、ブレて見えたりすることがあります。そのような場合は設定を[**Auto2**]、[**Off**]、または[**On**]に変更してご覧ください。
フィルム素材の(毎秒24コマで記録された)DVDが再生されているときは、それをディスクの情報画面で確認することができます。

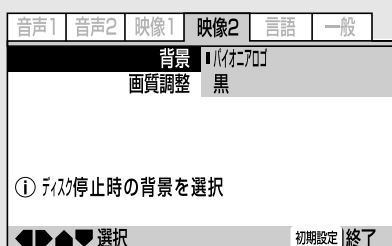
24コマフィルムのプログレッシブ映像信号が記録されている場合に、「#」が表示されます。

ディスクの情報画面を表示するには、画面表示ボタンを押します。繰り返し押すと上記の画面(転送レート表示画面)になります(詳しくはP.46をご覧ください)。

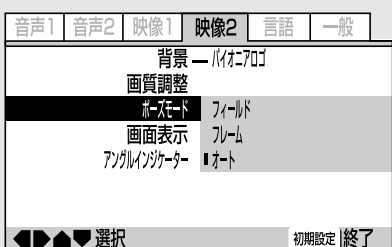
[映像2]の設定をする

初期設定画面の操作のしかたについてはP.49をご覧ください。

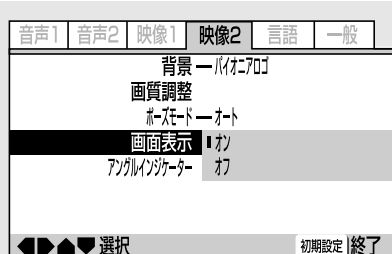
背景を選ぶ

ディスクが停止しているときの画面の背景を選びます。

パイオニアロゴ：
パイオニアロゴを背景に表示します(**出荷時の設定**)。
黒：
黒色の背景色を表示します。

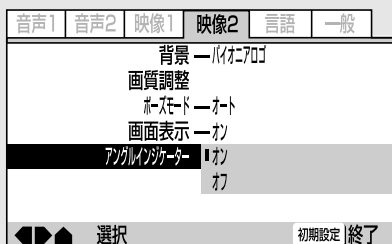
静止画像を切り換える エキスパート

DVDを一時停止したときの画像のブレをなくし、画像を鮮明に見ることができます。ディスクによっては**[フィールド]**を選択しても画質が鮮明にならないことがあります。

フィールド：
静止画状態のとき、画像のブレをなくします。
フレーム：
通常モードです。
オート：
フィールドとフレームを自動的に切り換えます(**出荷時の設定**)。

画面表示をオン/オフする エキスパート

本機が表示する初期設定画面などを表示するか、しないかを設定します。

オン：
画面表示をします(**出荷時の設定**)。
オフ：
画面表示をしません。

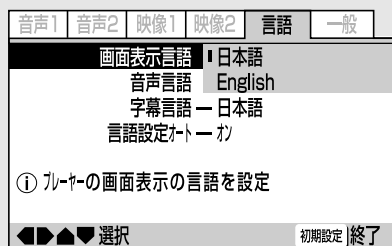
アングルマークを表示する エキスパート

再生中に画面に表示されるマークを表示させたくないとき設定を変更します。

オン：
画面にマークを表示します(**出荷時の設定**)。
オフ：
画面にマークを表示しません。

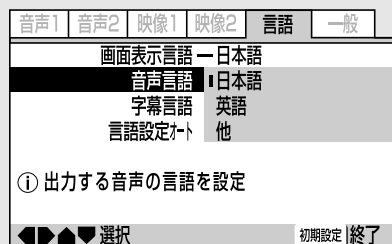
[言語]の設定をする

DVDの中には1枚のディスクに複数の字幕や音声を収録し、ユーザーが目的に合わせて好きなように選べる機能を持っているものがあります。ここでは初期設定画面の**[言語]**にあるさまざまな言語と字幕に関する設定を行います。**初期設定画面の操作のしかたについてはP.49をご覧ください**。

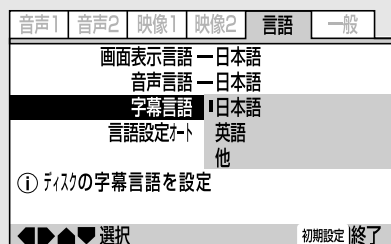
画面表示言語を設定する

初期設定画面などに表示する言語を切り換えます。

日本語：
画面表示の言語が日本語になります(**出荷時の設定**)。
English：
画面表示の言語が英語になります。

音声言語を設定する

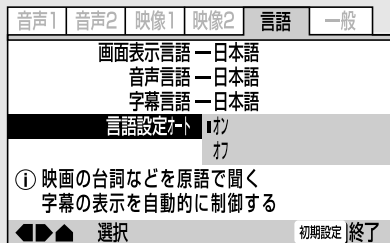
音声言語を選びます。この設定を再生中に変更することはできません。

日本語：
音声言語が日本語になります(**出荷時の設定**)。
英語：
音声言語が英語になります。
他：
136 言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは次のページの『***字幕言語 / 音声言語 / DVD 言語の設定で[他]を選んだとき***』をご覧ください。

字幕言語を設定する

表示する字幕言語を選びます。この設定を再生中に変更することはできません。

日本語：
日本語の字幕を表示します(**出荷時の設定**)。
英語：
英語の字幕を表示します。
他：
136 言語の中から任意の字幕を選びます。詳しくは次のページの『***字幕言語 / 音声言語 / DVD 言語の設定で[他]を選んだとき***』をご覧ください。

音声、または字幕言語の設定で選択した言語がディスクに記録されていないときはディスクのオリジナルの言語が選択されます。

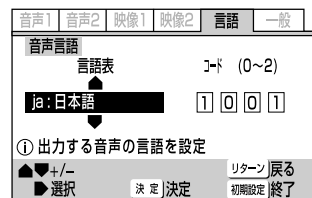
音声と字幕を自動的に設定する

音声と字幕を自動設定にするか、または初期設定で設定した音声/字幕にするかを選びます。この設定を再生中に変更することはできません。

オン：
[音声言語]と**[字幕言語]**が同じとき、および字幕表示がオンのとき有効となります(**出荷時の設定**)。一般の洋画DVDでは音声はオリジナル言語、字幕は日本語が選択され、邦画DVDでは音声は日本語、字幕はオフになります。ただし、ディスクによってはこのように動作しないものもあります。
オフ：
再生中の音声のオート設定が解除され、**[音声言語]**と**[字幕言語]**で設定している音声と字幕になります。

■ 字幕言語/音声言語/DVD言語の設定で [他] を選んだとき

P.69の言語コード表を見ながら操作します。DVDに収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

1 [他]を選び、ENTERボタンを押す

言語選択画面が表示されます。
[例] 音声言語の場合

2 [言語表]、または[コード]を選ぶ

- 言語によっては言語コードしか表示されないものがあります。詳しくは言語コード表(**P.69**)をご覧ください。
- コードの(　)の中の数字は、設定できる数字の範囲を示しています。

■ [コード]で言語を選ぶとき

以下のいずれかの操作をします。
[例] フランス語を選ぶ場合

- **数字ボタンの0、6、1、8を押す。**
- **1ケタごとにジョイスティックを上下に操作して数字を選択する(ジョイスティックを左右に操作してケタを移動します。)**

■ [言語表]で言語を選ぶとき

[例] フランス語を選ぶ場合
ジョイスティックを下に2回操作します。

3 ENTERボタンを押す

■言語コード表

言語名（言語コード）	入力コード
Japanese (ja)	1001
English (en)	0514
French (fr)	0618
German (de)	0405
Italian (it)	0920
Spanish (es)	0519
Chinese (zh)	2608
Dutch (nl)	1412
Portuguese (pt)	1620
Swedish (sv)	1922
Russian (ru)	1821
Korean (ko)	1115
Greek (el)	0512
Afar (aa)	0101
Abkhazian (ab)	0102
Afrikaans (af)	0106
Amharic (am)	0113
Arabic (ar)	0118
Assamese (as)	0119
Aymara (ay)	0125
Azerbaijani (az)	0126
Bashkir (ba)	0201
Byelorussian (be)	0205
Bulgarian (bg)	0207
Bihari (bh)	0208
Bislama (bi)	0209
Bengali (bn)	0214
Tibetan (bo)	0215
Breton (br)	0218
Catalan (ca)	0301
Corsican (co)	0315
Czech (cs)	0319
Welsh (cy)	0325
Danish (da)	0401
Bhutani (dz)	0426
Esperanto (eo)	0515
Estonian (et)	0520
Basque (eu)	0521
Persian (fa)	0601
Finnish (fi)	0609
Fiji (fj)	0610
Faroese (fo)	0615
Frisian (fy)	0625
Irish (ga)	0701
Scots-Gaelic (gd)	0704
Galician (gl)	0712
Guarani (gn)	0714

言語名（言語コード）	入力コード
Gujarati (gu)	0721
Hausa (ha)	0801
Hindi (hi)	0809
Croatian (hr)	0818
Hungarian (hu)	0821
Armenian (hy)	0825
Interlingua (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
Inupiak (ik)	0911
Indonesian (in)	0914
Icelandic (is)	0919
Hebrew (iw)	0923
Yiddish (ji)	1009
Javanese (jw)	1023
Georgian (ka)	1101
Kazakh (kk)	1111
Greenlandic (kl)	1112
Cambodian (km)	1113
Kannada (kn)	1114
Kashmiri (ks)	1119
Kurdish (ku)	1121
Kirghiz (ky)	1125
Latin (la)	1201
Lingala (ln)	1214
Laothian (lo)	1215
Lithuanian (lt)	1220
Latvian (lv)	1222
Malagasy (mg)	1307
Maori (mi)	1309
Macedonian (mk)	1311
Malayalam (ml)	1312
Mongolian (mn)	1314
Moldavian (mo)	1315
Marathi (mr)	1318
Malay (ms)	1319
Maltese (mt)	1320
Burmese (my)	1325
Nauru (na)	1401
Nepali (ne)	1405
Norwegian (no)	1415
Occitan (oc)	1503
Oromo (om)	1513
Oriya (or)	1518
Panjabi (pa)	1601
Polish (pl)	1612
Pashto, Pushto (ps)	1619
Quechua (qu)	1721

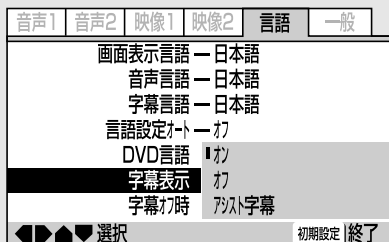
言語名（言語コード）	入力コード
Rhaeto-Romance (rm)	1813
Kirundi (rn)	1814
Romanian (ro)	1815
Kinyarwanda (rw)	1823
Sanskrit (sa)	1901
Sindhi (sd)	1904
Sangho (sg)	1907
Serbo-Croatian (sh)	1908
Sinhalese (si)	1909
Slovak (sk)	1911
Slovenian (sl)	1912
Samoan (sm)	1913
Shona (sn)	1914
Somali (so)	1915
Albanian (sq)	1917
Serbian (sr)	1918
Siswati (ss)	1919
Sesotho (st)	1920
Sundanese (su)	1921
Swahili (sw)	1923
Tamil (ta)	2001
Telugu (te)	2005
Tajik (tg)	2007
Thai (th)	2008
Tigrinya (ti)	2009
Turkmen (tk)	2011
Tagalog (tl)	2012
Setswana (tn)	2014
Tonga (to)	2015
Turkish (tr)	2018
Tsonga (ts)	2019
Tatar (tt)	2020
Twi (tw)	2023
Ukrainian (uk)	2111
Urdu (ur)	2118
Uzbek (uz)	2126
Vietnamese (vi)	2209
Volapük (vo)	2215
Wolof (wo)	2315
Xhosa (xh)	2408
Yoruba (yo)	2515
Zulu (zu)	2621

DVDのメニュー言語を設定する エキスパート

DVDの中にはメニューを持っているものがあります。そのメニューを表示するときの言語を選びます。この設定を再生中に設定することはできません。

字幕言語に連動：
[字幕言語]で選択されている言語でメニュー画面が表示されます(**出荷時の設定**)。
日本語：
日本語でメニュー画面が表示されます。
英語：
英語でメニュー画面が表示されます。
他：
136 言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは**P.68** の『***字幕言語 / 音声言語 /DVD 言語の設定で[他]を選んだとき***』をご覧ください。

字幕表示をオン/オフする エキスパート

字幕を表示する、字幕を表示しない、またはアシスト字幕を表示するのいずれかを選びます。この設定を再生中に変更することはできません。

オン：
字幕を表示します(**出荷時の設定**)。
オフ：
字幕を表示しません。ただし、DVD の中には強制的に字幕を表示するものがあります(右の段落)。
アシスト字幕：
[アシスト字幕]は例えば、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。この項目を選ぶと、アシスト字幕を表示します。ただし、アシスト字幕はディスクに収録されている場合のみ表示します。

強制的に表示される字幕の言語を設定する エキスパート

DVDの中には、**[字幕表示]**を**[オフ]**にしても、強制的に字幕が表示されるものがあります。そのときの字幕の言語を選びます。この設定を再生中に変更することはできません。

音声連動：
再生されている音声の言語で字幕を表示します。
選択字幕：
初期設定画面の**[字幕言語]**で選択されている言語で字幕を表示します(**出荷時の設定**)。

視聴制限をする(パレンタルロック) DVD

暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベルを設けたものがあります(ディスクのジャケットなどの表示で確認できます)。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを6に設定しておくと、レベル7、レベル8のディスクを再生するためにはあらかじめ登録した暗証番号の入力が必要です。
初期設定画面の操作のしかたについてはP.49をご覧ください。

暗証番号を登録する

1 ジョイスティックを上下左右に操作して[一般]➡[視聴制限]➡[暗証番号]を選ぶ

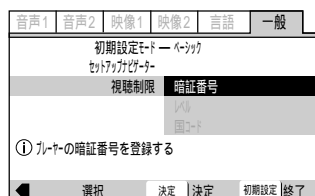
最初に暗証番号を登録します。暗証番号を登録していないと**[レベル]**、および**[国コード]**を選択することはできません。

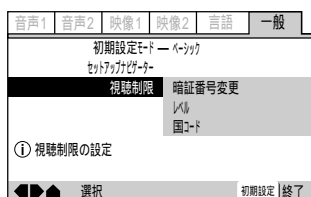
2 ENTERボタンを押す

[暗証番号登録]の画面が表示されます。

3 暗証番号を4桁で入力する

以下のいずれかの操作をします。

- **数字ボタンを押す。**
- **ジョイスティックを上下に操作して1ケタごとに数字を選ぶ(ジョイスティックを左右に操作してケタを移動します)。**

4 ENTERボタンを押す

以下の初期設定画面が表示されます。

暗証番号変更：
暗証番号を変更します。
レベル：
視聴制限のレベルを変更します。
国コード：
国コードを変更します。

お知らせ

- 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、出荷時の設定に戻して(**P.75**)、再度設定してください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

レベルを変更する

1 [レベル]を選び、ENTERボタンを押す

[暗証番号入力]の画面が表示されます。

2 すでに登録している暗証番号を4桁で入力する

3 ENTERボタンを押す

視聴制限レベルの設定画面が表示されます。
出荷時は**[オフ]**に設定されています。

4 ジョイスティックを左右に操作してレベルを選び、ENTERボタンを押す

視聴制限のレベルが設定されます。

■ 視聴制限できる DVD を再生するには

視聴制限されたディスクを再生すると暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。暗証番号を入力しないと再生することができません。以下の手順で操作します。

① **数字ボタンを押して、4桁の暗証番号を入力する。**
② **ENTERボタンを押す。**

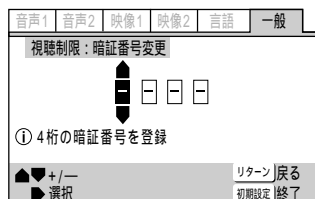
暗証番号を変更するには

1 [暗証番号変更]を選び、ENTERボタンを押す

暗証番号入力の画面が表示されます。

2 すでに登録している暗証番号を4桁で入力する

3 ENTERボタンを押す

暗証番号変更の画面が表示されます。

4 新しい暗証番号を4桁で入力する

5 ENTERボタンを押す

暗証番号が変更されます。

国コードを変更する

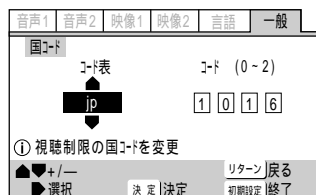
国コード表を見ながら操作します。

1 **[国コード]を選び、ENTERボタンを押す**

[暗証番号入力]の画面が表示されます。

2 **すでに登録している暗証番号を4桁で入力する**

3 **ENTERボタンを押す**

国コード設定画面が表示されます。

4 **[コード表]、または[コード]を選ぶ**

コードの(　)の中の数字は、設定できる数字の範囲を示しています。

■ [コード]で国コードを選ぶとき

以下のいずれかの操作をします。

[例] 日本を選ぶ場合

- **数字ボタンの1、0、1、6を押す。**
- **1ケタごとにジョイスティックを上下に操作して数字を選択する(ジョイスティックを左右に操作してケタを移動します。)**

■ [コード表]で国コードを選ぶとき

[例] 日本を選ぶ場合

ジョイスティックを下に操作して[jp]を選びます。

5 **ENTERボタンを押す**

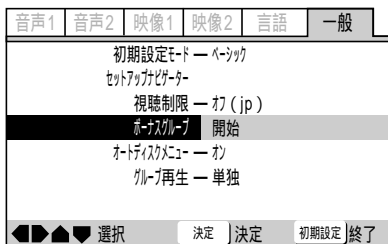
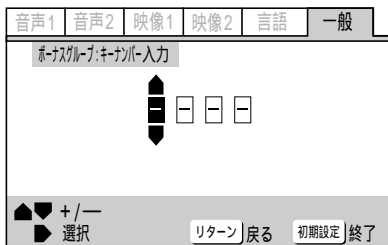
■国コード表

国名	入力コード	国コード
アメリカ	2119	us
アルゼンチン	0118	ar
イギリス	0702	gb
イタリア	0920	it
インド	0914	in
インドネシア	0904	id
オーストラリア	0121	au
オーストリア	0120	at
オランダ	1412	nl
カナダ	0301	ca
韓国	1118	kr
シンガポール	1907	sg
スイス	0308	ch
スウェーデン	1905	se
スペイン	0519	es
タイ	2008	th
台湾	2023	tw
中国	0314	cn
チリ	0312	cl
デンマーク	0411	dk
ドイツ	0405	de
日本	1016	jp
ニュージーランド	1426	nz
ノルウェー	1415	no
パキスタン	1611	pk
フィリピン	1608	ph
フィンランド	0609	fi
ブラジル	0218	br
フランス	0618	fr
ベルギー	0205	be
ポルトガル	1620	pt
香港	0811	hk
マレーシア	1325	my
メキシコ	1324	mx
ロシア	1821	ru

[一般]の設定をする

ボーナスグループの設定をする エキスパート

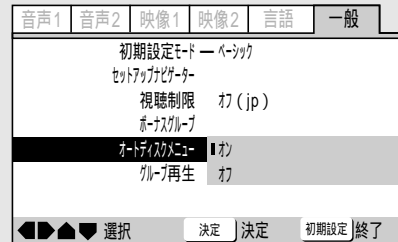
DVD AUDIO

DVDオーディオの中には、「ボーナスグループ」とよばれるグループを持つものがあります。このボーナスグループを再生しようとすると、4桁のキーナンバーの入力を求める画面が表示されますが、この設定であらかじめキーナンバーを入力しておくことができます。この設定は再生中に選択することができません。

キーナンバー入力画面

お知らせ

ディスクが取り出されるか、または電源が切られると、入力されたキーナンバーの記憶は消去されます。ボーナスグループを再生するときはもう一度キーナンバーを入力してください。

メニュー画面を自動的に表示する(オートディスクメニュー) エキスパート

DVD

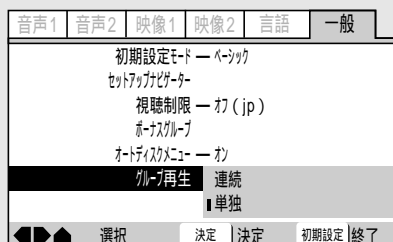
ディスクを入れたあと、自動的にメニュー画面を表示させたいときに設定します。

オン :
メニュー画面を自動的に表示します(**出荷時の設定**)。

オフ :
メニュー画面を自動的に表示しません。

お知らせ

ディスクによっては**[オートディスクメニュー]**の設定 で**[オン]**を選択していても自動的に再生を始めるものがあります。

グループ単位で再生する（グループ再生）エキスパート

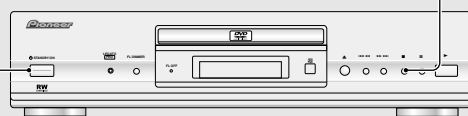
DVD AUDIO

連続：
すべてのグループを続けて再生します。

単独：
選択したグループのみ再生します(**出荷時の設定**)。

お知らせ

- ディスクのメニュー画面からも再生したいグループだけを選択することができます。
- **[単独]**を選択しているとき、ディスクのメニュー画面からすべてのグループを再生する項目を選択しても、1つのグループのみを再生することがあります。
- **[グループ再生]**の設定で**[単独]**を選択しているとき、**スキャン(◀◀/▶▶)ボタン**、または**前(|◀◀)/次(▶▶|)ボタン**を使って、他のグループをまたいで早戻し/早送り、または頭出しすることはできません。グループサーチでグループを選択してください(**P.31**)。

すべての設定を出荷時に戻す

すべての設定内容を出荷時の状態に戻します。

1 本機を待機状態（スタンバイ状態）にする

2 停止（■）ボタンを押しながら、本体の⏻スタンバイ/オンボタンを押す

すべての設定内容が出荷時の状態に戻ります。

ご注意

この操作を行うと、プログラムメモリー(**P.39**)、ラストメモリー(**P.42**)、コンディションメモリー(**P.43**)、およびビデオメモリー(**P.63**)など記憶していたすべてのメモリーも同時に消去されます。操作を行う前に十分にご注意ください。

その他

使用上の注意

■ 再生中は本機を絶対に動かさない

再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

■ 本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに **電源ボタン**を押し、表示窓の**「--OFF--」**表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

■ 次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

■ 上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

■ 熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

■ ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ラックのガラスドアを閉めたままリモコンの**オープン/クローズ(≜)ボタン**を押して、ディスクテーブルを開けないでください。ディスクテーブルの動きが妨げられ、故障の原因になります。

■ 本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

ディスクの取り扱いかた

■ 取り扱いかた

- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。

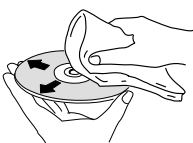
- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。

- ディスクを2枚重ねて再生しないでください。

■ 保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

■ ディスクのお手入れ

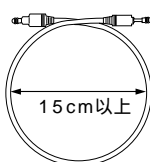
- ディスクに指紋やホコリが付いた場合、音質や画質が低下することがあります。柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください(円周に沿って拭かないでください)。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などはご使用できません。
- ディスクの清掃には別売りのディスククリーニングセット(JV-D11)の使用をおすすめします。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。

■ 特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり、画像が乱れることがあります。このような場合は『**保証とアフターサービス**』(**P.83**)をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクは、レンズを破損する恐れがありますのでご使用にならないでください。

光デジタルケーブル(別売り)取り扱い上のご注意

- 急な角度に折り曲げないでください。保管するときは、直径が15cm以上になるようにしてください。
- 接続の際はしっかり奥まで差し込んでください。
- 長さは3m以下のものを使用してください。
- プラグに傷やほこりが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。

製品のお手入れについて

- 本体は通常、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭きとった後乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その他

困ったとき！？

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビ、AVアンプまたはスピーカーなども合わせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

症状	原因 / 対策	ページ
電源が入らない。	電源コードをコンセントに正しく接続してください。	15, 16
ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう。	• ディスクをディスクテーブルに正しくセットしてください。 • ディスクをクリーニングしてください。 • リージョン No. が一致しているか確認してください。	25 77 7, 82
画面が映らない。	• 接続が正しいか確認してください。 • テレビ、または AV アンプなどの設定を、DVD 再生の設定にしてください。	19, 20
再生できない。	• ディスクをクリーニングしてください。 • ディスクをディスクテーブルに正しくセットしてください。 • 本機の内部の結露を除去してください。 • ディスクの表裏を正しくセットしてください。	77 25 76 25
DVD-RW が再生できない。	画面に**「COPY PROTECT PROGRAM ,UNPLAYABLE」**と表示されていないか確認してください。この場合は、一回だけ録画可能な映像素材を録画した部分であり、本機では再生できません。	
DVD-オーディオを再生すると途中で停止してしまう。	違法に複製されたディスクの可能性があります。	
設定内容が消える。	電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源コードは必ず本体の⏻**スタンバイ / オンボタン**、またはリモコンの**電源ボタン**を押して、表示窓の**「--OFF--」**表示が消えてから、抜いてください。	
画面が止まり、操作ボタンを受け付けない。	**停止(■)ボタン**を押してから、もう一度再生してください。	
マークが画面に出る。	ディスクがその操作を禁止しています。	7
マークが画面に出る。	プレーヤーがその操作を禁止しています。	7
セットアップ中に DVD マークが画面に表示される。	CD やビデオ CD、MP3 ファイルを記録したディスクが入っているとき、DVD でしか働かない項目を設定しようとすると表示されます。	50
リモコンで操作できない。	• 本体後面のコントロール入力端子が他の機器と接続されているときは、その機器のリモコン受光部に向けて操作してください。 • リモコンの使用範囲で操作してください。 • リモコンの電池を新しいものと交換してください。	14 9 9
初期設定画面に設定項目が出てこない。	初期設定モードの設定で**[ベーシック]**を選択しているときは**[エキスパート]**に変更してください。	50

症状	原因 / 対策	ページ
スピーカーから音が出ない、音が歪む。	• 音声ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 • デジタル接続しているときは**[デジタル出力]**の設定を**[オン]**にしてください。 • **[音声 1]**の設定により、音が出ない場合があります。 •ディスクをクリーニングしてください。 • 一時停止、またはスロー再生になっていたら再生にしてください。 • テレビ、またはAVアンプなどの音量が最小になっているときはボリュームを上げてください。 • 接続プラグの差し込み方が不十分、または外れていないか確認してください。 • 接続プラグや端子が汚れていたら拭いてください。	**18** **52** **52**
スピーカーからマルチチャンネル音声が出力されない。	• **[音声 2]**の**[音声出力]**の設定を**[5.1 チャンネル]**にしてください。 • **[音声 2]**の**[スピーカー設定]**を行ってください。 • ディスクのメニュー画面、またはリモコンの**音声ボタン**でディスクの音声をマルチチャンネルに切り換えてください。	**54** **55, 56** **26, 28**
デジタル音声が出力できない。	• **[デジタル出力]**の設定を**[オン]**にしてください。 • DVD オーディオの中にはデジタル音声を出力できないディスクがあります。	**17, 52**
マルチチャンネル音声がデジタル出力できない。	DVDオーディオのマルチチャンネル音声はデジタル出力できません(ドルビーデジタル、または DTS 音声はデジタル出力できます)。	**17**
192/176.4kHz 音声がデジタル出力できない。	DVD オーディオの 192/176.4kHz 音声はデジタル出力できません。	**17, 52**
96/88.2kHz 音声でデジタル出力できない。	• 初期設定画面の**[音声1]**の**[リニアPCM出力]**の設定が**[ダウンサンプルオン]**になっていないか確認してください。 • 著作権保護がされているディスクでは96/88.2kHz音声のデジタル出力が禁止されています。	**52** **52**
DTS 音声が出ない。	• 本機とDTS音声に対応していないアンプ、またはデコーダーをデジタル音声ケーブルで接続しているときは、**[DTS出力]**の設定を**[DTS ► PCM]**にしてください。**[DTS]**を選択しているとノイズが発生することがあります。 • DTS音声対応アンプ、またはデコーダーとデジタル接続しているときは、アンプの設定、およびデジタル音声ケーブルが正しく接続しているか確認してください。	**51**
画面が縦または横に伸びている。	• **[テレビ画面]**の設定でアスペクト比を合わせてください。 • 本機とテレビをS1/S2映像端子で接続しているとき、テレビ側の信号処理により映像が横方向に伸びてしまうことがあります。このときは**[S映像出力]**の設定を**[S1]**にしてください。	**59** **62**
DVD と CD で音量差を感じる。	ディスクの記録方式の違いによりものです。	
DVD 再生中に画像が乱れる、または暗い。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあります。そのようなディスクを再生した場合、一部画像に横縞が入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません。	
DVD映像をVTRに録画したり、VTR を通して再生すると再生画面が乱れる。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを VTR を通して再生したり、VTR に録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。	

その他

症状	原因 / 対策	ページ
テレビなどが誤動作する。	ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してご使用ください。	
MP3 ファイルを記録したディスクを再生することができない。	MP3 ファイルを記録したディスクがファイナライズされていることを確認してください。画面に**「UNPLAYABLE MP3 FORMAT」**と表示されていないか確認してください。この場合、以下のような原因が考えられます。 • MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 44.1kHz、または 48kHz の固定ビットレートで記録されていない。	
ディスクに記録されているトラック(MP3 ファイル)を選択することができない。	• 本機では「.mp3」、または「.MP3」以外の拡張子がついているファイルを認識するこてはできません。拡張子を「.mp3」、または「.MP3」に変更してください。 • 本機では 251 以上のフォルダー、またはトラックを認識することはできません。 • 本機はマルチセッションに対応していません。再生するディスクがマルチセッションディスクのときは最初のセッションのみ再生します。	

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにご相談ください。

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

インターレース（飛び越し走査）
映像の１画面を半分ずつ２回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、目の残像を利用して、次に偶数番目の走査線を描いて1画面(フレーム)を表示します。従来のテレビの走査方式として採用されています。本機の取扱説明書では解像度の数字の後ろに「i」を付けて(525iなど)表記してあります。

拡張子
OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号です。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。

コンポーネント映像出力
Y/CB/CRの3つの信号からなり、コンポーネント入力付きのテレビと接続することにより、よりきれいな映像が得られる映像出力です。

視聴制限
暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベル(大小)が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル(dB)単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する(オーディオDRC)と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

ドルビーデジタル
ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です(アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります)。

ビデオレコーディングフォーマット記録
映像、および音声信号をDVD-RWレコーダーでDVD-RWディスクの不特定な位置に即時書き込み*することをいいます。(*即時書き込み＝パソコンでは、入力されたデータをすぐにハードディスク(リムーバブルメディア)に書き込まず、一度メモリーに記憶します。その後、CPU(OS)が順番を整理してハードディスクに書き込みます。これに対して、データが入力された順にハードディスクに書き込んでいくことを即時書き込みといいます。)
DVDレコーダーではこれをVRモード記録といいます。VRモードには、「標準モード」とよばれる標準な画質で録画するモード(録画時間：2時間)と、「マニュアルモード」とよばれる画質、および録画時間を自由に設定して録画するモード(録画時間：1〜6時間)があります。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

プログレッシブ(順次走査)
映像の１画面を２回に分けずに１画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像がご覧になれます。本機の取扱説明書では、解像度の数字の後ろに「p」を付けて(525pなど)表記してあります。

ボーナスグループ
DVDオーディオでは、4桁の番号(キーナンバー)を入力することによってアクセス可能となる、「ボーナスグループ」とよばれるグループが存在するディスクがあります。ボーナスグループを再生しようとすると入力画面が自動的に現れるので、ディスクのパッケージやディスクジャケットに示してあるキーナンバーを入力すると再生が開始されます。また、前もって本機の初期設定画面でキーナンバーを設定しておくこともできます。

その他

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の1つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っています。すべてのカメラの映像が同時に送られて視聴者側で視点(カメラ)を選べれば、見たい視点で映像が見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。

マルチ音声言語
DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDでは音声を最大8言語(8ストリーム)まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション
CD-RやCD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン No.
DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号(リージョンNo.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です(本体後面部に表記されています)。

リニア PCM
Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。リニアPCMとは圧縮していないPCM信号のことです。DVDの音声記録方式の1つです。CDの音声と同じ方式ですが、サンプリング周波数が48kHzや96kHzで記録されており、CDよりも高音質の音声が楽しめます。

D 端子
デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号(Y/CB/CR)と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を1つのコネクタで接続する端子です。

DTS
Digital Theater Systems の略です。DTS はドルビーデジタルと異なるサラウンドシステムの 1 つです。
本機はDTSデコーダーを搭載していますので、5.1 チャンネルアナログ音声入力端子のある AV アンプにつなぐことで、すぐに DTS ディスクを楽しむことができます。

DVD オーディオ / ビデオの静止画
DVDには、音声や動画だけでなく静止画が入っている場合があります。DVDオーディオの静止画には2種類あります。スライドショーは、ディスクの設定にしたがって自動的に静止画が切り換わります。
ブラウザブル静止画は、プレーヤーの操作で好きな静止画を選択して再生することができます。また、ブラウザブル静止画では、その静止画の番号「ページ」を指定して見たい静止画を探すこともできます。
なお、DVD ビデオの静止画はスライドショーのみです。

DVDビデオフォーマット記録
DVD VIDEO、またはDVD VIDEOマークの付いている市販のDVDビデオディスクと同じ方式(フォーマット)でDVD-R/DVD-RWディスクに一筆書きのように記録することをいいます。
DVDレコーダーではこれをビデオモード記録といいます。
ビデオモードには、「V1」とよばれる高画質で録画するモード(録画時間:1時間)と、「V2」とよばれる長時間で録画するモード(録画時間:2時間)があります。

F-Disc(エフディスク)
8mmフィルムで撮った映像をDVDディスクに記録したものです。
お問い合わせ先:(株)フジカラーサービス
コンシューマーフォト部
電話:03-5571-5333

GUI
Graphical User Interfaceの略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

MP3
MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」, または「.MP3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。

MPEG
Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。
DVDの映像やビデオCDの映像/音声は、この方式で記録されています。DVDの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

S1 映像出力
S1とは映像のアスペクト比(4:3、16:9)との識別信号の入ったS映像信号です。

S2 映像出力
S1に加え画像信号形態(レターボックス、パンスキャン)の識別信号の入ったS映像信号です。S2対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

5.1ch
フロント左/右、センター、サラウンド左/右の5チャンネルに低音域専用の0.1チャンネルを加えたマルチチャンネル音声のことです。ドルビーデジタル、DTS、またはDVDオーディオといったサラウンドシステムで採用されています。

保証とアフターサービス

保証書(別添)
保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間
当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談
お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき
P.78-80に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容
•ご住所　「付近の目印も合わせてお知らせください」
•お名前
•お電話番号
•製品名　DVD プレーヤー
•型番　DV-S646A
•お買い上げ日
•故障または異常の内容　「できるだけ具体的に」
「ディスクのタイトル」
•訪問ご希望日
•ご自宅までの道順と目標(建物・公園など)

保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

その他

仕様

形式 ... DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCD、CD、DVD-RW、MP3ファイル

電源 .... AC 100 V、 50/60 Hz

消費電力 .... 13 W
0.3 W(待機時)

本体質量 .... 2.9 kg

外形寸法 .... 420(幅)×95.5(高さ)×277(奥行) mm

許容動作温度 .... ＋5℃〜＋35℃

許容動作湿度 .... 5 %〜85 %(結露のないこと)

S1/S2映像出力(2系統)

Y出力レベル .... 1 Vp-p(75 Ω)

C出力レベル .... 286 mVp-p(75 Ω)

出力端子 .... S端子

映像出力(2系統)

出力レベル .... 1 Vp-p(75 Ω)

出力端子 .... RCA端子

コンポーネント映像出力(Y、CB/PB、CR/PR)

Y出力レベル .... 1 Vp-p(75 Ω)

CB/PB、CR/PR出力レベル .... 0.7 Vp-p(75 Ω)

出力端子 .... RCA端子

D1/D2端子(Y、CB/PB、CR/PR)

Y出力レベル .... 1 Vp-p(75 Ω)

CB/PB、CR/PR出力レベル .... 0.7 Vp-p(75 Ω)

出力端子 .... D端子

音声出力(2CH)(2系統)

音声出力レベル........ 200 mVrms(1 kHz、−20 dB)

チャンネル数 2

出力端子 .... RCA端子

音声出力(マルチチャンネル：フロントL/R、サラウンドL/R、センター、サブウーファー)

音声出力レベル......... 200 mVrms(1kHz、−20 dB)

出力端子 .... RCA端子

デジタル音声出力特性

周波数特性
.... 4 Hz〜88 kHz(DVDオーディオ、192 kHz)

S/N比 .... 118 dB

ダイナミックレンジ .... 108 dB

全高調波歪率 .... 0.001 %

ワウ・フラッター .... 測定限界以下
(±0.001%W.PEAK)(EIAJ)

デジタル出力

光デジタル出力...................................... 光デジタル端子

同軸デジタル出力.. RCA端子

その他の端子

コントロール入力/出力 .... ミニジャック(3.5φ)

付属品

音声ケーブル 1

映像ケーブル 1

電源コード 1

リモートコントロールユニット 1

単3形乾電池(R6P) 2

取扱説明書、保証書、
ご相談窓口・修理窓口のご案内 各1

● 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

初期設定画面の項目別さくいん

初期設定画面では、さまざまな設定を行うことができます。項目名や選択肢からではどんな設定を行うのか分からないとき、本書で説明しているページを、このさくいんで知ることができます。

音声1 | 音声2 | 映像1 | 映像2 | 言語 | 一般

項目	選択肢	ページ
オーディオDRC	▮オフ オン	P.51
Dolby Digital出力	▮Dolby Digital Dolby Digital▶PCM	P.51
DTS出力	▮DTS DTS▶PCM	P.51
リニア PCM出力	▮ダウンサンプルオン ダウンサンプルオフ	P.52
MPEG出力	MPEG ▮MPEG▶PCM	P.52
デジタル出力	▮オン オフ	P.52

音声1 | **音声2** | 映像1 | 映像2 | 言語 | 一般

項目	選択肢	ページ
Virtual Surround	▮オフ TruSurround	P.53
レガートPRO	▮オフ スタンダード エフェクト1 エフェクト2 エフェクト3	P.53
音声出力	▮2チャンネル 5.1チャンネル	P.54
スピーカー設定	開始	P.55
ゲイン設定	▮固定 可変	P.56
Hi-Bit	▮オン オフ	P.58
CDデジタルダイレクト	オン ▮オフ	P.58

音声1 | 音声2 | **映像1** | 映像2 | 言語 | 一般

項目	選択肢	ページ
テレビ画面	4:3(レターボックス) 4:3(パンスキャン) ▮16:9(ワイド) 16:9(シュリンク)	P.59
コンポーネント出力	プログレッシブ ▮インターレース	P.59
S映像出力	S1 ▮S2	P.62
スクリーンセーバー	オン ▮オフ	P.62

音声1 | 音声2 | 映像1 | **映像2** | 言語 | 一般

項目	選択肢	ページ
背景	▮パイオニアロゴ 黒	P.66
画質調整	開始	P.63
ポーズモード	フィールド フレーム ▮オート	P.66
画面表示	▮オン オフ	P.66
アングルインジケーター	▮オン オフ	P.66

音声1 | 音声2 | 映像1 | 映像2 | **言語** | 一般

項目	選択肢	ページ
画面表示言語	▮日本語 English	P.67
音声言語	▮日本語 英語 他	P.67
字幕言語	▮日本語 英語 他	P.67
言語設定オート	▮オン オフ	P.68
DVD言語	▮字幕言語に連動 日本語 英語 他	P.70
字幕表示	▮オン オフ アシスト字幕	P.70
字幕オフ時	音声連動 ▮選択字幕	P.70

音声1 | 音声2 | 映像1 | 映像2 | 言語 | **一般**

項目	選択肢	ページ
初期設定モード	エキスパート ▮ベーシック	P.50
セットアップナビゲーター	開始	P.21
視聴制限	暗証番号(変更) レベル 国コード	P.71
ボーナスグループ	▮開始	P.74
オートディスクメニュー	オン ▮オフ	P.74
グループ再生	連続 ▮単独	P.75

お知らせ

- ▮ は出荷時の設定を表わします。
- ▒▒▒ の設定は初期設定モードが[**エキスパート**]のときに表示される項目です。

お使いになる前に
各部の名称とはたらき
接続と準備
基本的な使いかた
便利な使いかた
いろいろな設定
その他

その他

さくいん

あ行

アスペクト比 59, 81
アナログコピープロテクト 15, 19
アングル切換 45
暗証番号 71
色あい 64
色の濃さ 64
インターレース 59, 81
映像出力 20
エキスパート 50
エフディスク 6, 39, 82
オーディオ DRC 51
オートディスクメニュー 74
オリジナル 27
音声言語 28, 67

か行

拡張子 7, 81
画質調整 4, 63-65
画面表示言語 22, 67
96kHz PCM 24
禁止マーク 7
国コード 73
グループ 8, 31
黒セットアップ 64
クロマディレイ 64
黒レベル 64
ゲイン設定 56
言語コード表 69
5.1 チャンネル 22, 54, 83
コマ送り 33, 35
コンディションメモリー 43
コントロール入力 / 出力 14
コンポーネント映像出力 16, 19, 81

さ行

再生 25
サーチ 31
サブウーファー 23, 55-57
サラウンドスピーカー 23, 55-57
視聴制限 71
字幕言語 28, 67
白レベル 64
シャープネス High 64
シャープネス Mid 64
シュリンク(16:9) 59
初期設定 49
スキップ 30
スキャン 30, 33
スクリーンセーバー 62
スピーカー設定 55
スモール 55
スライドショー 82
スロー再生 33, 35
静止画 29, 37
接続 .... 15~20
セットアップナビゲーター 21
センタースピーカー 23, 55-57

た行

タイトル 8
ダイナミックレンジ 51, 81
タイムサーチ 31
ダイレクトサーチ 31
ダウンミックス 17, 54
デジタル出力 17, 52
テストトーン 57
チャプター 8
ディスクの情報 46-48
デコーダー 17
転送レート 46, 47
トラックサーチ 31
ドルビーデジタル 4, 23, 51, 81

な行

2 チャンネル 22, 54

は行

パイオニアロゴ 66
背景 66
早送り 30
早戻し 30
パンスキャン 59-61
光デジタル出力 17, 81
ビデオ CD 8
ビデオレコーディングフォーマット 81
ピュアシネマ 65
表示窓 10
標準(4:3) 22, 59-61
ファンクションメモリー 44
フィールド 66
フォルダー 8, 32, 40
プレイバックコントロール 27, 81
プレイリスト 27
プログラム再生 37-40
プログラムメモリー 39
プログレッシブ 59, 61, 81
プログレモーション 64
ベーシック 49
ポーズモード 66
ボーナスグループ 74

ま行

マルチアングル 45, 66
マルチ音声言語 67
マルチ字幕言語 67
マルチセッション 7, 82

ら行

ラージ 55
ラストメモリー 42
ランダム再生 41
リージョン No. 6, 82
リジューム 29
リターンボタン 12
リニア PCM 52
リピート再生 82
レターボックス 59-61

わ行

ワイド(16:9) 22, 59-61

アルファベット

AV アンプ 17, 18
BNR 64
CD 8
CD デジタルダイレクト 58
CNR 64
D1/D2 端子(D 端子) 19, 82
DTS 23, 51, 82
DVD-RW 6, 8, 27
DVD オーディオ 8
DVD ビデオ 8
DVD ビデオフォーマット 82
F-Disc 6, 39, 82
GUI 82
ISO9660 フォーマット 7
MNR 64
MP3 ..... 7, 8, 32, 40, 82
MP3 ナビゲーター 32
MPEG 23, 52, 83
MPEG オーディオレイヤー 3 7
PBC 27, 81
PCM 23, 52, 82
S2/S1(S)映像出力 14, 20, 62, 83
Y、C_B/P_B、C_R/P_R 14, 19
Virtual Surround 4, 53

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

- 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞｼﾞｭｱﾙ製品のお問い合わせ窓口　　0070-800-8181-22
- カタログのご請求窓口　　0070-800-8181-33

＜ご注意＞ ● ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
● 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html

愛情点検

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか?

- **電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **電気が入ったり切れたりする。**
- **本体から異常な音、熱、臭いがする。**

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または、お近くのパイオニアサービスステーションに点検(有料)をご依頼ください。

お客様メモ

● おぼえのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住所 電話番号	お近くのご相談窓口	住所 電話番号
ご購入年月日	年　月　日	型番	DV-S646A

パイオニア株式会社 〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<TWKZW/01C00000>　　<VRA1205-A>